

2 0 1 9

伊東市の教育

伊東市教育委員会

伊 東 市 教 育 大 綱

平成 27 年 5 月 18 日策定

平成 29 年 12 月 25 日改定

これからの伊東市を担う子どもたちが健やかに成長できるよう、また市民一人ひとりが自己の人格を磨き生涯にわたり美しいふるさと伊東で学び続けることができるよう、市民と行政が志を持って“対話と融和で「未来を拓く」”教育行政を目指します。

1 知・徳・体のバランスの取れた子どもの育成

- (1) 主体的に学ぶ意欲の向上と適切な学習習慣の定着を図り「学びを楽しむ力」を高めます。
- (2) 規範意識や忍耐力、思いやりの心といった「人として備えたい力」を身に付けさせます。
- (3) 生活習慣を整え、丈夫で健康な体を育成するとともに「命を守る力」の向上を図ります。

2 夢と希望を育む園・学校の基盤整備

- (1) P D C A サイクルの活用による信頼される学校づくりを推進します。
- (2) 学校・家庭・地域社会が連携・協働する体制を築きます。
- (3) 子どもたちが豊かな情操を育める環境を整備します。
- (4) 現場のニーズに対応した良好な学校施設の整備と学習環境の充実を図ります。
- (5) 少子化や地域の特性を考慮した適切な園・学校施設の管理に努めます。
- (6) 学校給食センターを最大限に活用した食育と地産地消の推進を図ります。

3 生涯学習の場の充実と質の向上

- (1) ジオパークを活用し、ふるさと伊東の良さを再発見するとともに地域の自然を愛する心を育てます。
- (2) 「市民一人一スポーツ」を目指し、生涯スポーツの推進及び環境整備に努めます。
- (3) 「市民一人一文化」による活力ある地域社会をつくるため、文化の情報発信や効果的な支援に努めます。
- (4) 人間形成の基盤となる家庭教育の充実を図るとともに、青少年の健全育成及び社会教育活動に対し積極的に支援します。
- (5) 地域コミュニティの充実及び生涯学習活動の活性化を支援します。

4 社会の変化に対応した教育行政の展開・職員の人材育成

- (1) 「報告・連絡・相談」を徹底し、迅速で的確な事業展開に努めます。
- (2) ボトムアップ方式による行政運営を推進するとともに、職員自らが事業や予算の見直しに積極的に関わることで、市の将来を担う職員の人材育成に努めます。

以 上



伊 東 市

○市 章

昭和23年4月20日制定。いとうの「い」の字を10個配し図案化した。

太陽に恵まれた豊かな自然と円満な市民性、平和な街を望む市民の願いを象徴している。

市制施行	昭和22年8月10日	市町村コード	22208
所在地	静岡県伊東市大原二丁目1番1号	市町村別類型	Ⅱ-3
郵便番号	414-8555	交通機関	伊東線伊東駅からバスで10分
代表電話番号	0557-36-0111	FAX	37-8117

教 育 長

教 育 部 長

次長兼教育総務課長

教育総務課 教育総務係 32-1901 教育政策係 32-1912

伊東市学校給食センター 52-6910

教育指導課 教育指導係 32-1911

幼児教育課 幼児教育係 幼稚園担当 32-1952 保育園担当 32-1951

生涯学習課 生涯学習係 32-1961、32-1962 文化・スポーツ係 32-1963、32-1964

*図書館 36-7433 *文化財管理センター 36-2182

*市民体育センター36-1178 *かどの球場 36-8900 *大原武道場 35-2100

伊 東 市 民 憲 章

(昭和42年8月10日制定)

わたくしたちの住む伊東は、「西に山、東に海、美しいかなこの岡、われらが里」と郷土の生んだ詩人木下杢太郎によってうたわれたように、恵まれた自然と先人のたゆまぬ努力とによって、発展してきました。

わたくしたち伊東市民は、この自然と伝統の上にきずかれた国際観光温泉文化都市の市民としての誇りをもって、わたくしたちの伊東を、より美しく、豊かで、住みよいまちにするために、市民の守るべき基本的な定めとして、ここに憲章を制定します。

この憲章は、わたくしたち市民のひとりひとりが、まちを愛し人間を尊重する精神にたち、おたがいのしあわせを願うという自覚のもとに、各自がその行動を規律しようとするものです。

わたくしたち伊東市民は、

一、文化を高め、教養を豊かにしましょう

それは、わたくしたちが、伊東市民としての誇りをもち、文化都市をきずきたいからです。

一、自然を愛し、清潔な環境をつくりましょう

それは、わたくしたちのまちを住みよくし、美しい観光地にしたいからです。

一、きまりを守り、良い風習を育てましょう

それは、わたくしたちの生活を平和にし、秩序ある社会をつくりたいからです。

一、おたがいに助け合い、親切をつくしましょう

それは、わたくしたちが、おたがいのしあわせをねがい、不幸な人をなくしたいからです。

一、元気で働き、楽しい家庭をつくりましょう

それは、わたくしたちの生活を豊かにし、未来をになう子どもたちを立派に育てたいからです。

目 次

I	伊東市の概要	
1	伊東市の位置・面積・広ぼう	1
2	伊東市の沿革・風土・気象・人口	1
3	伊東市の財政	5
II	教育委員会	
1	教育委員会	6
2	歴代教育委員	7
3	歴代教育長	8
4	歴代教育委員長・委員長職務代理者	9
5	平成30年度 教育委員会定例会等議題	11
6	総合教育会議	13
III	教育行財政	
1	令和元年度 伊東市教育行政の基本方針及び主要事業	14
2	令和元年度 伊東市教育委員会の組織機構	20
3	教育委員会業務分掌	21
4	教育予算	24
5	令和元年度 教育関係主要事業	26
6	伊東市育英奨学制度	30
IV	学校施設管理	
1	学校施設管理	31
2	幼稚園、保育園、小・中学校建設のあゆみ	32
3	教育施設一覧	36
4	教職員住宅	38
5	学校給食センター	38
V	学校教育	
1	令和元年度 伊東市教育委員会 教育指導課 指導の重点	39
2	小・中学校・幼稚園・保育園一覧	40
3	令和元年度 教職員配置数	41
4	園児・児童・生徒数の推移	44
5	令和元年度 児童・生徒・園児数及び学級数集計表	45
6	平成30年度 中学校等卒業生の進路	48
7	平成30年度 就学猶予・免除・死亡	49
8	平成30年度 転入・転出児童生徒数	49
9	学校給食	49
10	特別支援学級	50
11	研究指定校	50
12	平成30年度 教育相談室利用状況	51

13	平成30年度 就学援助費及び奨励費	52
14	平成30年度 日本スポーツ振興センター掛金及び給付金	52
15	令和元年度 使用教科書一覧	53
16	令和元年度 教科指導員	54
17	令和元年度 学校関係団体	54
18	令和元年度 伊東市校長会組織分担表	55
19	大規模・突発地震発生による学校・家庭の対応	56
VI 生涯学習		
1	生涯学習の主要施策	57
2	平成30年度 生涯学習講座参加実績	63
3	伊東の文化財	65
4	生涯学習センター	69
5	図書館	72
6	コミュニティ	75
7	社会教育関係委員・団体	77
VII スポーツの振興		
1	スポーツ振興の重点施策	80
2	令和元年度 スポーツ振興事業計画	82
3	平成30年度 スポーツ振興事業	83
4	平成30年度 スポーツ施設等の利用状況	83
5	スポーツ施設	86
6	スポーツ推進委員会	86
VIII 所轄外学校等		
1	所轄外学校等	88

構成比は、小数点以下第二位を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合があります。

I 伊東市の概要

1 伊東市の位置・面積・広ぼう

(1) 位 置

東経 139 度 6 分 18 秒 北緯 34 度 57 分 43 秒

(2) 面 積

124.100 平方キロメートル（平成 27 年 3 月 6 日建設省国土地理院公表）

(3) 広ぼう

東西 10,450 メートル 南北 20,450 メートル

2 伊東市の沿革・風土・気象・人口

(1) 沿 革

「伊東」の地名は、「伊豆国の東にあたる」からとか「よい磯に恵まれた土地」を意味するなどの諸説があるが、いずれにしても相模灘と自然湧出の温泉に恵まれた温暖な土地である。

伊東市の広い丘陵地形は、伊豆単成火山群の噴出物によって形成された。この丘陵上には旧石器時代の遺跡が立地するが、最下層の遺跡は単成火山群からの厚い堆積物に阻まれて明瞭にはわかっていない。続く縄文時代には早期（約 1 万 2,000 年前以降）から中期（約 4,000 年前）にかけて多くの集落遺跡が台地上に営まれた。縄文時代後期には海岸に面した低地に集落がつくられ、外洋性の魚介類など黒潮の恵みを活用する生活が続けられた。弥生時代には、伊東大川（通称「松川」）の近くに集落が立地するようになり、今日の伊東の原型が形成されたものと見られる。続く古墳時代には、伊豆半島の他の地区と同様に濃密な祭祀遺物を伴う遺跡が見られる。中でも、川奈などの海岸線にある海食洞穴を利用した祭祀遺跡は日本人の神祭りの淵源に触れる遺跡として注目される。律令制の時代には、市内の遺跡から、その官制につながる身分の者が持つ腰帯金具が複数出土しており、市域から国府へ出仕する官人がいたことが判明している。

藤原氏の繁栄期から平家の全盛時代になると、中央での覇権争いに敗れた源頼朝が伊豆に流される。頼朝の 20 年に及ぶ配流中の前半期は伊東にいたものと見られており、藤原氏から分かれて伊東を名字の地としていた伊東一族が、この監視役であったものと見られる。こうした中で、伊東祐親の娘と頼朝との間の恋物語や後に曾我兄弟のあだ討ちにつながる初期武士団の所領争いをめぐる伝承も多く残されている。

源頼朝の旗揚げによって武士政権が誕生するが、この過程で伊東市内からは宇佐美氏と伊東氏が有力御家人として成長する。この結果、鎌倉時代から伊東氏・宇佐美氏は全国に地頭職を認められて拡散し、各地に有力な武士団として成長を重ねる。今日、伊東姓・宇佐美姓を名乗る方の先祖は、すべてこの伊東市域が出身地であるということができる。戦国時代には、伊豆は北条早雲の本拠地とされて約100年の比較的平穏な時代を迎えた。しかし、早雲が伊豆を占領する過程では激しい戦闘が半島内の各地にあったものと見られ、近年発掘調査された鎌田城もその一つと見られている。豊臣秀吉によって北条氏が滅ぼされると、間もなく江戸幕府を開いた徳川氏の時代になる。伊豆半島の約8万4,000石の領地はおよそ、韮山の江川代官領・沼津藩領・小田原藩領の三分割を受ける。伊東市内には江戸時代の村として16カ村が成立するが、これらの村々もおおむね3つの領主に分割支配されて幕末に至る。史上最大の城と言われる江戸城は、その莫大な量の石垣用の石材を伊豆から運んで築城した。石材の中心的な産地の一つは伊東に求められ、毎月2度3,000艘の船が江戸との間を往復したという。また、江戸城の築城が始まる直前には、家康の外交顧問の英国人ウィリアム・アダムスが日本初の洋式帆船を松川河口で建造したと言われる。魚介・木材・薪炭などは伊東の名産として巨大都市「江戸」の生活を根底から支えたのであるが、中でも「温泉」は将軍家にも愛用され、樽詰めされ、船で運ばれて江戸城の大奥で珍重された。

伊東は明治維新直後、韮山県に属したが明治4年の廃藩置県で足柄県となり、明治9年以降は静岡県に属する。明治22年町村制の施行により、江戸時代の16カ村は伊東・小室・宇佐美・対島の4カ村に統合され、さらに明治39年伊東村は町制に移行した。

伊東は明治末年ころから次第に保養地としての名声が高まり、北里柴三郎・東郷平八郎・若槻礼次郎など著名人の別荘が多数構えられた。また、市内の旅館には木造三階建ての建築が取り入れられて、多くの来遊客に対応する温泉地伊東の姿が形成されていった。昭和13年には国鉄伊東線が開通し、南国風の駅舎が建築された。昭和22年に伊東町と小室村が合併して市制に移行。さらに昭和30年に宇佐美村と対島村を合わせて今日の伊東市の市域が成立し、富士箱根伊豆国立公園に指定された。くしくも、現在の市域は古代以来伝統のある玖須美荘の領域と一致しているものと見られている。

(2) 風 土（位置及び地勢）

伊豆半島は、かつて南洋にあった海底火山や火山島が、フィリピン海プレートとの移動ともに北上し、約１００万年前に本州と衝突してできた半島である。現在のような半島になったのは約６０万年前で、半島となってからも火山活動が続き、天城山や宇佐美火山といった大型の複成火山の活動により伊豆半島の骨格が形づくられた。２０万年前以降は、半島の東部とその沖の相模灘で単成火山（一回の噴火でできた火山）の集まりである伊豆東部火山群が活動している。このような成り立ちを持つ伊豆半島は、「伊豆半島ジオパーク」として地球活動によってもたらされた地質遺産をはじめとする恵みを保全するとともに、教育や観光などに活用した地域づくりを進めており、一連の活動が評価され、平成３０年４月１７日に「世界ジオパーク」に認定された。

伊豆半島の中でも私たちの住む伊東は、半島の東に位置し相模灘に面しており、南北２０．４５km、東西１０．４５kmの面積を有する。宇佐美火山と伊豆東部火山群が流した溶岩台地上にあるため、山がちで険しい地形の多い半島の中にあってなだらかな地形が広がっていることがわかる。水はけのよい溶岩が広く分布するため河川は少なく、目立った河川としては宇佐美を流れる鳥川と市街地を流れる伊東大川くらいで、それらの河川沿いにわずかな沖積平野が広がる。伊東大川沿いには７００余りの温泉井があり、伊東温泉の根源をなしている。

(3) 気 象

私たちの郷土は「常春の伊豆」と言われるように、夏涼しく冬暖かい避暑、避寒の最適地であることは、伊東の年平均気温１６．７℃で示されている。これは、伊豆半島が太平洋に突き出た海洋性気候の代表的地域であり、常に海岸を暖かい黒潮に洗われていることや、背後に天城、宇佐美などの火山によってつくられた山地に抱かれて、冬の季節風（北西風）から守られ南からの湿った暖かい風を受けやすい地形からの影響である。降水量は県内でも多雨地帯に属し、これは、季節風と背後にある天城連峰との関係が大きく影響しているためで、特に６～７月にかけて多くなっており、冬季は晴れの日が多く、温暖な気温と相まって市街地での降雪はごくまれである。

(4) 人口

人 口 の 推 移

年次	世帯数	人 口			1世帯当 たり人口	1㎢当た り人口
		男	女	計		
昭和15年	4,519	10,550	11,441	21,991	4.9	695.5
22	7,306	16,152	18,491	34,643	4.7	608.0
25	7,697	16,922	19,215	36,137	4.7	634.2
30	10,437	23,653	26,516	50,169	4.8	404.4
35	12,724	26,032	28,532	54,564	4.3	439.8
40	15,406	28,065	31,339	59,404	3.9	478.1
41	16,089	28,864	32,011	60,875	3.8	490.1
42	16,620	29,461	32,485	61,946	3.7	499.1
43	16,991	29,606	32,643	62,249	3.7	501.5
44	17,567	30,207	33,070	63,277	3.6	509.8
45	17,973	29,817	33,186	63,003	3.5	507.6
46	18,590	31,261	33,987	65,248	3.5	525.5
47	19,186	31,744	34,717	66,461	3.5	535.2
48	20,273	32,458	35,363	67,821	3.3	546.4
49	20,737	32,907	35,753	68,660	3.3	553.2
50	20,766	32,263	35,809	68,072	3.3	548.2
51	21,640	33,628	36,562	70,190	3.2	565.2
52	21,867	33,717	36,769	70,486	3.2	567.6
53	22,040	33,707	36,837	70,544	3.2	568.0
54	22,642	33,919	37,142	71,061	3.1	572.2
55	22,975	32,853	36,785	69,638	3.0	560.7
56	24,474	33,937	37,507	71,444	2.9	575.2
57	24,457	33,687	37,478	71,165	2.9	573.0
58	24,809	33,753	37,553	71,306	2.9	574.1
59	25,089	33,723	37,599	71,322	2.8	574.3
60	23,655	32,828	37,367	70,195	3.0	564.8
61	25,820	33,876	37,816	71,692	2.7	576.8
62	26,526	34,205	38,248	72,453	2.7	582.9
63	27,018	34,346	38,620	71,966	2.7	587.1
平成元年	27491	34465	38789	73254	2.7	590.3
2	25715	33305	37918	71223	2.8	573.9
3	28405	34858	39075	73923	2.6	595.7
4	28851	34930	39140	74070	2.6	596.9

年次	世帯数	人 口			1世帯当 たり人口	1㎢当た り人口
		男	女	計		
5	29,549	35,212	39,593	74,805	2.5	602.8
6	29,623	35,166	39,526	74,692	2.5	601.9
7	27,722	33,875	38,410	72,285	2.6	582.5
8	30,746	35,447	39,891	75,338	2.5	607.1
9	30,923	35,411	39,679	75,090	2.4	605.0
10	31,227	35,411	39,647	75,058	2.4	604.7
11	31,837	35,414	40,021	75,435	2.4	607.8
12	28,539	33,406	38,314	71,720	2.5	577.8
13	32,314	35,283	39,917	75,200	2.3	605.9
14	32,069	35,167	39,554	74,721	2.3	602.0
15	32,696	35,254	39,594	74,848	2.2	603.0
16	33,174	35,356	39,766	75,122	2.3	605.2
17	29,949	33,830	38,605	72,435	2.4	583.5
18	33,971	35,381	39,759	75,140	2.2	605.3
19	34,073	35,205	39,581	74,786	2.2	602.5
20	34,369	35,016	39,476	74,492	2.2	600.1
21	34,575	34,841	39,357	74,198	2.1	597.7
22	30,636	33,279	38,158	71,437	2.3	575.5
23	34,884	34,619	38,946	73,565	2.1	592.6
24	34,860	34,321	38,530	72,851	2.1	586.9
25	34,927	34,071	38,153	72,224	2.1	581.8
26	35,092	33,856	37,838	71,694	2.0	577.6
27	30,478	31,828	36,517	68,345	2.2	550.7
28	35,134	33,143	37,050	70,193	2.0	565.6
29	35,139	32,842	36,645	69,487	2.0	559.9
30	35,109	32,615	36,421	69,036	2.0	556.3
31	35,123	32,256	36,009	68,265	1.9	550.1

(平成31年は4月30日現在)

昭和22年8月10日小室村と合併。

昭和30年4月1日宇佐美村、対島村と合併。

昭和5, 10, 15, 22, 25, 35, 40, 50, 55, 60, 平成2, 7, 12, 17, 22, 27年は国勢調査日（10月1日現在）

その外は、毎年12月31日現在。

3 伊東市の財政

令和元年度 一般会計予算総括表

(単位：千円)

歳 入				歳 出			
款	本年度予算額 (a)	前年度予算額 (b)	対前年 度伸率	款	本年度予算額 (a)	前年度予算額 (b)	対前年 度伸率
1 市税	11,135,154	11,034,552	0.9	1 議会費	212,130	209,652	1.2
2 地方譲与税	148,000	142,000	4.2	2 総務費	2,888,765	2,454,949	17.7
3 利子割交付金	10,000	10,000	0.0	3 民生費	9,760,862	9,500,147	2.7
4 配当割交付金	30,000	31,000	△ 3.2	4 衛生費	3,557,293	3,313,894	7.3
5 株式等譲渡所得割交付金	35,000	40,000	△ 12.5	5 労働費	104,097	102,153	1.9
6 地方消費税交付金	1,240,000	1,230,000	0.8	6 農林水産業費	176,446	549,782	△ 67.9
7 ゴルフ場利用 税交付金	70,000	70,000	0.0	7 観光商工費	898,615	645,287	39.3
8 自動車取得税 交付金	20,000	50,000	△ 60.0	8 土木費	2,776,979	2,690,222	3.2
9 環境性能割 交付金	10,000	—	皆増	9 消防費	1,261,077	1,244,101	1.4
10 地方特例 交付金	30,000	30,000	0.0	10 教育費	2,160,208	2,171,792	△ 0.5
11 地方交付税	2,800,000	2,400,000	16.7	11 災害復旧費	75	75	0.0
12 交通安全対策 特別交付金	14,000	14,000	0.0	12 公債費	2,568,993	2,673,250	△ 3.9
13 分担金及び 負担金	251,088	257,779	△ 2.6	13 諸支出金	4,460	4,696	△ 5.0
14 使用料及び 手数料	717,188	756,318	△ 5.2	14 予備費	50,000	50,000	0.0
15 国庫支出金	4,070,175	3,823,039	6.5				
16 県支出金	1,857,424	1,903,808	△ 2.4				
17 財産収入	37,405	37,263	0.4				
18 寄附金	228,544	206,840	10.5				
19 繰入金	1,357,159	1,153,167	17.7				
20 繰越金	100,000	100,000	0.0				
21 諸収入	318,163	300,034	6.0				
22 市債	1,940,700	2,020,200	△ 3.9				
歳入合計	26,420,000	25,610,000	3.2	歳出合計	26,420,000	25,610,000	3.2

※ 対前年度伸率 $[(a)-(b)] \div (b)$

Ⅱ 教育委員会

1 教育委員会

令和元年5月1日現在

役 職	氏 名	任 期
教 育 長	たかはし ゆうこう 高 橋 雄 幸	令和元年8月31日
教 育 長 職務代理者	いのうえ やすし 井 上 靖 史	令和3年10月8日
委 員	やまもと かおり 山 本 香 織	令和4年7月31日
委 員	ぬまた よしみ 沼 田 芳 美	令和元年12月24日
委 員	むらかみ やすひろ 村 上 恵 宏	令和2年9月30日

伊東市教育委員会は法令に基づき、教育長及び4人の委員で構成されている。会議は、毎月1回定例会が、また必要に応じて臨時会が開催され、これによって所管の学校やその他の教育機関の管理、学校教育施設に関する全般的な事務、社会教育、社会体育、学術、文化に関する事務の管理、執行等について本市の実情に即した教育行政が推進されている。これらの教育事務を処理する教育委員会事務局は教育長の指揮監督のもと組織構成され、それぞれの事務を分掌している。



教育長
高橋 雄幸



教育長職務代理者
井上 靖史



委 員
山本 香織



委 員
沼田 芳美



委 員
村上 恵宏

2 歴代教育委員

氏 名	就任年月日	退任年月日
武 見 次 郎	昭和 27 年 10 月 6 日	昭和 38 年 10 月 8 日
沼 田 元 弼	昭和 27 年 10 月 6 日	昭和 31 年 9 月 30 日
山 田 正 美	昭和 27 年 10 月 6 日	昭和 31 年 9 月 30 日
三 枝 な か	昭和 27 年 10 月 6 日	昭和 31 年 9 月 30 日
小 川 徳太郎 (議 会 選 出)	昭和 27 年 10 月 6 日	昭和 28 年 12 月 7 日
斎 藤 哲 三 (議 会 選 出)	昭和 28 年 12 月 17 日	昭和 29 年 12 月 23 日
山 本 増 衛 (議 会 選 出)	昭和 29 年 12 月 27 日	昭和 30 年 9 月 29 日
森 米次郎 (市村合併宇佐美村)	昭和 30 年 4 月 1 日 昭和 30 年 10 月 12 日	昭和 30 年 9 月 11 日 昭和 31 年 9 月 30 日
石 井 行 雄 (市村合併対島村)	昭和 30 年 4 月 1 日	昭和 31 年 9 月 30 日
山 田 義 郎	昭和 31 年 10 月 1 日	昭和 35 年 9 月 30 日
佐 藤 き ぬ	昭和 31 年 10 月 1 日	昭和 33 年 9 月 30 日
	昭和 33 年 10 月 9 日	昭和 37 年 10 月 8 日
福 本 熊 治	昭和 31 年 10 月 1 日	昭和 32 年 9 月 30 日
石 田 政 治	昭和 32 年 10 月 1 日	昭和 36 年 9 月 30 日
	昭和 36 年 10 月 3 日	昭和 44 年 10 月 2 日
上 原 正 也	昭和 35 年 10 月 1 日	昭和 43 年 9 月 30 日
稲 葉 芳 枝	昭和 38 年 7 月 1 日	昭和 42 年 6 月 30 日
塩 地 正 徳	昭和 38 年 12 月 20 日	昭和 46 年 12 月 24 日
戸 塚 好 子	昭和 42 年 7 月 1 日	昭和 50 年 6 月 30 日
石 田 俊	昭和 43 年 10 月 1 日	昭和 51 年 9 月 30 日
柴 田 武	昭和 44 年 10 月 9 日	昭和 48 年 10 月 8 日
宮 下 俊一郎	昭和 46 年 12 月 25 日	昭和 54 年 12 月 24 日
稲 葉 利 勝	昭和 48 年 10 月 9 日	昭和 56 年 10 月 8 日
日 吉 み つ	昭和 50 年 8 月 1 日	昭和 58 年 7 月 31 日
山 田 順 一	昭和 51 年 10 月 1 日	昭和 59 年 9 月 30 日
萩 原 恒 哉	昭和 54 年 12 月 25 日	昭和 62 年 12 月 24 日
大 川 保太郎	昭和 56 年 10 月 9 日	平成 5 年 10 月 8 日
高 橋 た か	昭和 58 年 8 月 1 日	平成 3 年 7 月 31 日
片 山 郁 朗	昭和 59 年 10 月 1 日	平成 4 年 9 月 30 日
外 岡 壮 亮	昭和 62 年 12 月 25 日	平成 7 年 12 月 24 日

氏 名	就任年月日	退任年月日
高 野 ハマ子	平成 3 年 8 月 1 日	平成 11 年 7 月 31 日
遠 山 博 文	平成 4 年 10 月 1 日	平成 12 年 9 月 30 日
北 岡 貴 人	平成 5 年 10 月 9 日	平成 13 年 10 月 8 日
齊 藤 洋	平成 7 年 12 月 25 日	平成 19 年 12 月 24 日
井 原 優 子	平成 11 年 8 月 1 日	平成 19 年 7 月 31 日
太 田 功	平成 12 年 10 月 1 日	平成 20 年 9 月 30 日
石 和 衛	平成 13 年 10 月 9 日	平成 15 年 12 月 31 日
田 中 智 海	平成 16 年 1 月 1 日	平成 25 年 10 月 8 日
杉 田 純 子	平成 19 年 8 月 1 日	平成 27 年 7 月 31 日
佐 藤 潤 一	平成 19 年 12 月 25 日	平成 27 年 12 月 24 日
上 村 昌 延	平成 20 年 10 月 1 日	平成 28 年 9 月 30 日
井 上 靖 史	平成 25 年 10 月 9 日	
山 本 香 織	平成 27 年 8 月 1 日	
沼 田 芳 美	平成 27 年 12 月 25 日	
村 上 恵 宏	平成 28 年 10 月 1 日	

3 歴代教育長

氏 名	就任年月日	退任年月日
日 吉 眞 一	昭和 28 年 4 月 1 日	昭和 43 年 9 月 30 日
飯 島 謙 吾	昭和 43 年 10 月 1 日	昭和 50 年 8 月 31 日
杉 本 寅 作	昭和 50 年 9 月 1 日	昭和 58 年 3 月 31 日
渡 邊 武 男	昭和 58 年 4 月 1 日	平成 3 年 3 月 31 日
望 月 修	平成 3 年 4 月 1 日	平成 14 年 12 月 31 日
佐 藤 悠	平成 15 年 1 月 1 日	平成 20 年 3 月 31 日
佐々木 誠	平成 20 年 4 月 2 日	平成 24 年 9 月 30 日
内 山 義 夫	平成 24 年 10 月 1 日	平成 28 年 7 月 4 日
高 橋 雄 幸	平成 28 年 9 月 1 日	

4 歴代教育委員長・委員長職務代理者

教育委員長		教育委員長職務代理者	
武見 次郎	S27. 11. 1～30. 11. 7		
武見 次郎	S30. 11. 8～31. 9. 30		
山田 義郎	S31. 10. 1～33. 9. 30	武見 次郎	S31. 10. 1～33. 9. 30
武見 次郎	S33. 10. 1～34. 10. 2	山田 義郎	S33. 10. 1～34. 10. 2
山田 義郎	S34. 10. 3～35. 9. 30	石田 政治	S34. 10. 3～35. 9. 30
武見 次郎	S35. 10. 1～36. 9. 30	石田 政治	S35. 10. 1～36. 9. 30
武見 次郎	S36. 10. 3～38. 11. 6	上原 正也	S36. 10. 3～38. 11. 6
上原 正也	S38. 11. 7～39. 9. 30	石田 政治	S38. 11. 7～39. 9. 30
石田 政治	S39. 10. 1～40. 9. 30	塩地 正徳	S39. 10. 1～40. 9. 30
石田 政治	S40. 10. 3～41. 10. 2	塩地 正徳	S40. 10. 1～41. 10. 2
塩地 正徳	S41. 10. 11～42. 10. 10	上原 正也	S41. 10. 11～42. 10. 10
上原 正也	S42. 10. 11～43. 9. 30	石田 政治	S42. 10. 12～43. 9. 30
石田 政治	S43. 10. 1～44. 9. 30	塩地 正徳	S43. 10. 1～44. 9. 30
塩地 正徳	S44. 10. 11～45. 10. 10	戸塚 好子	S44. 10. 11～46. 6. 30
塩地 正徳	S45. 10. 11～46. 10. 10	石田 俊	S46. 7. 1～46. 10. 10
石田 俊	S46. 10. 11～47. 10. 10	柴田 武	S46. 10. 11～47. 10. 10
石田 俊	S47. 10. 11～48. 9. 30	柴田 武	S47. 10. 11～48. 9. 30
宮下 俊一郎	S48. 10. 9～49. 10. 8	石田 俊	S48. 10. 9～49. 10. 8
宮下 俊一郎	S49. 10. 9～50. 10. 8	石田 俊	S49. 10. 9～50. 10. 8
石田 俊	S50. 10. 9～51. 9. 30	稲葉 利勝	S50. 10. 9～51. 9. 30
稲葉 利勝	S51. 10. 1～52. 10. 8	宮下 俊一郎	S51. 10. 1～52. 10. 8
宮下 俊一郎	S52. 10. 9～53. 10. 8	山田 順一	S52. 10. 9～53. 10. 8
山田 順一	S53. 10. 9～54. 10. 8	稲葉 利勝	S53. 10. 9～54. 10. 8
稲葉 利勝	S54. 10. 9～55. 10. 8	山田 順一	S54. 10. 9～55. 10. 8
山田 順一	S55. 10. 9～56. 10. 13	萩原 恒哉	S55. 10. 9～56. 10. 13
萩原 恒哉	S56. 10. 14～57. 10. 13	山田 順一	S56. 10. 14～57. 10. 13
山田 順一	S57. 10. 14～58. 10. 13	大川 保太郎	S57. 10. 14～58. 10. 13
大川 保太郎	S58. 10. 14～59. 10. 13	萩原 恒哉	S58. 10. 14～59. 10. 13
萩原 恒哉	S59. 10. 14～60. 10. 13	高橋 たか	S59. 10. 14～60. 10. 13
大川 保太郎	S60. 10. 14～61. 10. 13	片山 郁朗	S60. 10. 14～61. 10. 13
片山 郁朗	S61. 10. 14～62. 10. 13	萩原 恒哉	S61. 10. 14～62. 10. 13
高橋 たか	S62. 10. 14～63. 10. 13	大川 保太郎	S62. 10. 14～63. 10. 13
大川 保太郎	S63. 10. 14～H元10. 13	外岡 壮亮	S63. 10. 14～H元10. 13
外岡 壮亮	H元. 10. 14～ 2. 10. 13	片山 郁朗	H元. 10. 14～ 2. 10. 13
片山 郁朗	H 2. 10. 14～ 3. 10. 13	高橋 たか	H 2. 10. 14～ 3. 7. 31
		大川 保太郎	H 3. 8. 19～ 3. 10. 13

教育委員長		教育委員長職務代理者	
大川 保太郎	H 3. 10. 14～ 4. 10. 21	外岡 壮亮	H 3. 10. 14～ 4. 10. 21
外岡 壮亮	H 4. 10. 22～ 5. 10. 21	高野 ハマ子	H 4. 10. 22～ 5. 10. 21
高野 ハマ子	H 5. 10. 22～ 6. 9. 30	遠山 博文	H 5. 10. 22～ 6. 9. 30
遠山 博文	H 6. 10. 1～ 7. 9. 30	北岡 貴人	H 6. 10. 1～ 7. 9. 30
北岡 貴人	H 7. 10. 1～ 9. 9. 30	外岡 壮亮	H 7. 10. 1～ 7. 12. 25
		高野 ハマ子	H 8. 1. 17～ 9. 9. 30
高野 ハマ子	H 9. 10. 1～11. 7. 31	遠山 博文	H 9. 10. 1～11. 7. 31
遠山 博文	H11. 8. 1～12. 9. 30	齊藤 洋	H11. 8. 1～12. 9. 30
齊藤 洋	H12. 10. 1～14. 9. 30	井原 優子	H12. 10. 1～14. 9. 30
井原 優子	H14. 10. 1～16. 9. 30	太田 功	H14. 10. 1～16. 9. 30
太田 功	H16. 10. 1～18. 9. 30	田中 智海	H16. 10. 1～18. 9. 30
田中 智海	H18. 10. 1～23. 9. 30	齊藤 洋	H18. 10. 1～19. 9. 30
		太田 功	H19. 10. 1～20. 9. 30
		杉田 純子	H20. 10. 1～23. 9. 30
杉田 純子	H23. 10. 1～25. 9. 30	佐藤 潤一	H23. 10. 1～25. 9. 30
佐藤 潤一	H25. 10. 1～26. 9. 30	上村 昌延	H25. 10. 1～26. 9. 30
上村 昌延	H26. 10. 1～27. 9. 30	井上 靖史	H26. 10. 1～27. 9. 30
井上 靖史	H27. 10. 1～28. 7. 4	上村 昌延	H27. 10. 1～28. 7. 4

教育長		教育長職務代理者	
		井上 靖史	H28. 7. 5～28. 8. 31
高橋 雄幸	H28. 9. 1～	井上 靖史	H28. 9. 1～

※ 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」（平成26年法律第76号。平成27年4月1日施行）により、本市では平成28年7月5日から、教育長が教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表することとなった。

ただし、平成28年7月5日から平成28年8月31日まで教育長が不在だったため、その間は教育長職務代理者が教育長の職務を代理した。

5 平成30年度教育委員会定例会等議題

(平成30年4月～平成31年3月)

開催年月日	定例会・臨時会の議題及びその他報告事項等
4月定例会 30年4月19日(木)	1 伊東市文化財の市指定について 2 伊東市立学校・園の適正規模及び配置に関する建議書(概要)について 3 平成30年度教育指導課指導の重点について 4 平成30年度 伊東市教育委員会の組織機構等について 5 平成30年度 小中学校、幼稚園・保育園一覧表について 6 平成30年度 児童・生徒・園児数について 7 各課報告
5月定例会 30年5月23日(水)	1 教育問題懇話会への諮問案について 2 平成30年度実施 伊東市教育機関職員採用試験について 3 図書館・文化ホール建設に向けた整備の方向性について 4 各課報告
6月定例会 30年6月28日(木)	1 平成31～32年度使用の中学校教科用図書の採択について 2 平成31年度使用の小学校教科用図書の採択について 3 平成30年度夏季休業中における幼児及び児童生徒の指導上の留意事項について 4 平成30年度夏季休業期間中における学校施設等の管理及び教職員の服務について 5 各課報告
7月定例会 30年7月23日(月)	1 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について 2 伊東市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例について 3 平成31年度から32年度使用の中学校教科用図書の同意について(報告) 4 平成31年度使用の小学校教科用図書の同意について(報告) 5 市議会6月定例会の報告について(一般質問・補正予算) 6 平成29年度伊東市教育委員会自己点検・評価報告書の作成について 7 各課報告
8月定例会 30年8月20日(月)	1 伊東市子ども・子育て支援法施行細則の一部を改正する規則について 2 平成29年度伊東市教育委員会自己点検・評価報告書の作成について 3 各課報告
9月定例会 30年9月25日(火)	1 平成31年度重点化事業及び新規事業について 2 平成29年度伊東市教育委員会の自己点検・評価シートについて 3 伊東市立学校教職員の評価結果に対する相談及び意見の申出に関する取扱要領について 4 各課報告
10月定例会 30年10月18日(木)	1 市議会9月定例会の報告について(大綱質疑・一般質問・補正予算) 2 第3回課長会議(「未来を拓く」マネジメントディスカッション)の報告について 3 各課報告
11月定例会 30年11月20日(火)	1 平成29年度伊東市教育委員会自己点検・評価報告書について 2 平成30年度実施伊東市教育機関職員採用試験の結果について 3 伊東市立宇佐美中学校室内プールの貸出しについて 4 各課報告

開催年月日	定例会・臨時会の議題及びその他報告事項等
12月定例会 30年12月17日(月)	1 平成31年度教職員人事異動の重点について 2 平成30年度冬季休業中における幼・小・中学校(園) 幼児、児童生徒の生徒指導上の留意事項について 3 平成30年度冬季休業中における学校施設等の管理及び教職員の服務について 4 市議会12月定例会(一般質問・補正予算)の報告について 5 平成31年成人式について 6 各課報告
1月定例会 31年1月21日(月)	1 各課報告
2月定例会 31年2月18日(月)	1 県費負担教職員人事に関する内申について 2 平成31年度小・中学校の児童及び生徒数について 3 平成31年度保育園・幼稚園の園児数について 4 伊東市立図書館の特別開館について 5 各課報告
3月定例会 31年3月18日(月)	1 平成31年度伊東市教育行政の基本方針について 2 伊東市公立学校管理規則の一部を改正する規則について 3 伊東市江戸城石垣石丁場跡保存活用委員会規則について 4 伊東市立小・中学校における適正な学校規模及び配置のあり方について(答申) 5 平成31年度伊東市一般会計教育費当初予算(案)及び伊東市教育行政の主要事業(案)について 6 平成31年度小中学校教職員の人事異動(案)について 7 平成31年度小・中学校職員(市職員)及び幼稚園・保育園職員の人事異動(案)について 8 春季休業中における教職員の服務及び学校(園)施設等の管理について 9 平成30年度学年末休業及び平成31年度学年始休業における小中学校の児童生徒指導上の留意事項について 10 伊東市立幼稚園の貸出し延長について 11 伊東市立竹の台幼稚園の貸出しについて 12 市議会3月定例会の報告について(予算大綱質疑、一般質問、補正予算) 13 各課報告

6 総合教育会議

総合教育会議は、平成27年4月1日に改正された地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により設置が定められたもので、市長が招集し市長と教育委員会により構成される。

総合教育会議は市長と教育委員会という対等な執行機関同士の協議調整の場であり、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的としている。

総合教育会議の主な役割は、教育行政の大綱の策定、教育の条件整備等の重点的に講ずべき施策の協議及び児童・生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき施策の協議とされており、平成30年度は4月19日に開催した。

- (1) 日 時 平成30年4月19日（木） 午後4時～午後5時15分
- (2) 場 所 伊東市役所高層棟 4階中会議室
- (3) 出席者 伊東市長 小野達也 教 育 長 高橋雄幸
教育長職務代理者 井上靖史 教育委員 山本香織
教育委員 沼田芳美 教育委員 村上恵宏
- (4) 事務局 教育部長 富士一成 次長兼教育総務課長 岸 弘美
教育指導課長 操上俊樹 幼児教育課長 稲葉 祐人
生涯学習課長 杉山宏生
企画部長 中村一人 行政経営課長 小川真弘
教育総務課課長補佐 鈴木慎一 同課長補佐 太田靖久
同主事 杉山詩乃
- (5) 議 題 (1) 伊東市立学校の適正規模及び配置について
(2) その他
- (6) 傍 聴 者 0人

Ⅲ 教育行財政

1 令和元年度 伊東市教育行政の基本方針及び主要事業

(1) 基本方針

伊東市教育委員会は、第四次伊東市総合計画の政策目標である「心豊かな人を育み、生涯にわたって学習できるまち」の実現を目指し、国際的な視野を持ち、自ら学ぶ生涯学習の理念に立った基本方針を次のように定めます。

また、地域住民の意向を反映した教育行政の推進に向け、総合教育会議における市長との協議、県教育委員会や関係機関等との連携、さらには、伊東市教育大綱を踏まえた夢と希望を育む様々な施策の推進を通じ、本市教育の活性化と発展に一層力を入れ、市民の期待と信頼に応えるよう努めます。

① 夢や希望をもつ子どもの育成に努めます。

ア 子どもたちに主体的に学ぶ意欲を育み、基礎基本の知識及び技能と発達段階に即した適切な学習習慣の定着を図ることで、「学びを楽しむ力」を高めます。

イ 子どもたちの自己肯定感・自己有用感を高め、社会性を育むとともに、規範意識や忍耐力、思いやりの心など、「人として備えたい力」が確実に身に付くようにします。

ウ 子どもたちの生活習慣及び食習慣を整え、丈夫で健康な体を育成するとともに、緊急時には迅速に対応するなど「命を守る力」の向上を目指します。

② 夢や希望を育む園・学校の基盤を大切にします。

ア 地域の特性や特色を生かし、創意工夫した教育課程を編成するとともに、PDCAサイクルを機能させ、信頼される学校づくりを進めます。

イ 積極的に広報・広聴活動を行い、家庭や地域の学校に対する理解を深め、学校・家庭・地域社会が連携・協同する体制を構築します。

ウ 美しく整った校内環境と明るい挨拶の習慣化を特に重視し、子どもたちに豊かな情操を育てる環境（物的・人的）を整備します。

エ 良好な教育環境を確保するため、小中学校施設の維持管理や計画的な施設改修・整備、耐震化、情報教育等を推進するとともに、長期的視点に立った学校施設の適正な配置のあり方についての検討を進めます。

オ 安心・安全で魅力のある学校給食を実施し、給食を通じた食育の推進を図ります。

カ 質の高い幼児教育、保育サービスを提供するとともに、安心して楽しく子育てができるよう子育て環境の向上を図ります。

③ 文化を高め教養を豊かにする生涯学習の場の充実と質の向上を目指して、地域、家庭、学校が相互につながって活性化していくよう支援するとともに、各施設等の整備を進めます。

ア 市民の要望に応じた学習機会の提供と地域拠点施設の充実を図ります。

イ 人間形成の基盤となる家庭教育の充実を支援します。

ウ 幅広い分野の情報提供に向け図書館運営事業の充実・推進を図ります。

エ 「市民一人一スポーツ」を目指し、健康・体力づくりの充実に努めます。

- オ 市と市民の役割を明確にするとともに、市民の自主的な文化活動を促進し、「市民一人一文化」の実現を目指します。
- カ 後世へ伝えるべき貴重な文化財の保護と歴史を伝えるための市史資料整理事業を推進し、郷土への愛着を育みます。
- キ 地域、家庭、学校が連携して行う青少年の健全育成活動等の充実を支援します。
- ④ 目的指向の行財政運営に努め、社会の変化に対応した活気ある教育行政の展開、職員の人材育成を目指します。
- ア 事務局組織の機動力を高めるため、市長部局及び関係機関との連携、組織内の「報告・連絡・相談」の充実等を図り、迅速で的確な事業推進に努めます。
- イ 事務局内組織や事業、予算の執行・編成等の見直しを絶えず図り、市の将来を担う人材育成に努めます。
- ⑤ 上記①～④の方針について、評価の観点を明確にした自己点検と学識経験者の知見を活用した年度末評価を行います。その評価を踏まえ、次年度の教育課題や方向性を明確にします。

(2) 主 要 事 業

- ① 小・中学校施設等充実事業
- ア 旭小学校校舎トイレ改修工事
- イ 宇佐美小学校屋上防水工事
- ウ 小・中学校空調設備設置工事（全小中学校）
- ② 小中学校施設長寿命化計画策定事業
- 老朽化が進んでいる小中学校施設の現況を調査し、今後の維持管理費や更新費用の平準化等を図るため、計画的・戦略的な中長期計画を策定する。
- ③ 小中学校校務支援システム運用事業
- 教職員の多忙化解消のために導入した校務支援システムの運用
- ④ 小・中学校情報教育推進事業
- 全小学校の教育用パソコン・周辺機器等の更新 及び モデル校として小学校1校に無線LANの整備を行い、教育のICT化の推進を図る。
- 中学校の教育用パソコンの更新に向け、学校の意見を踏まえたICT機器の導入の検討を行う。
- ⑤ 長期的視点に立った教育施設の再編
- 学校規模及び配置の適正化に向けた基本方針の策定
- ⑥ 学校給食事業
- ア 安心・安全で魅力のある給食を実施するとともに、給食を通じ食育及び地産地消の推進を図る。
- イ 学校給食センターを核に本市の学校給食の更なる魅力向上と将来に渡って安全で安定的に提供できる体制の実現を図る。
- ⑦ 子どもたちの学びへの支援の充実

- ア 小学校低学年学級支援
- イ 特別支援教育支援
- ウ 学校司書配置
- エ 通級指導教室支援
- オ 幼児ことばの教室
- カ 多人数学級支援
- キ 外国人英語指導者配置
- ク ICT支援員配置
- ⑧ いじめや不登校等の悩みを受けとめる教育相談の充実
 - ア 教育相談室
 - イ 適応指導教室「なぎさ」
 - ウ スクールソーシャルワーカー
 - エ 学校心理士
- ⑨ 教職員の資質向上、授業改善の推進
 - ア 教科等指導員・研究員・アドバイザー制度
 - イ 教育研究奨励賞
 - ウ 研究指定校
 - エ 特別支援教育
 - オ 特別支援教育アドバイザー配置
- ⑩ 書道教育推進事業
 - 全10小学校で実施
- ⑪ 教育の機会均等の確保
 - ア 就学援助
 - イ 特別支援教育就学奨励
 - ウ 育英奨学金事業
- ⑫ 保育園事業
 - ア 市内の保育園
 - ・ 市立保育園 5園（指定管理者：八幡野保育園を含む。）
 - ・ 私立保育園 5園
 - ・ 私立小規模保育事業所 3園
 - イ 保育の内容
 - ・ 通常保育 月曜日～土曜日
 - 7時30分～18時（公設公営保育園4園）
 - 7時～18時（私立保育園5園、指定管理者1園、小規模保育事業所3園）
 - ・ 特別保育 休日保育事業、一時預かり事業、延長保育事業、地域子育て支援拠点事業、病児保育事業
 - ウ 給食事業
 - 衛生やアレルギー食等に配慮し、園児が元気に生活できるように正しい食生活と栄養バランスのとれた食育を目指す。

⑬ 地域子育て支援拠点施設の充実

ア 市内の地域子育て支援拠点

- ・ 健康福祉センター内 1 箇所
- ・ 商業施設内 1 箇所
- ・ 公立保育園 2 箇所（指定管理者：八幡野保育園含む。）
- ・ 私立保育園 3 箇所

イ 事業内容

- ・ 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
- ・ 子育て等に関する相談、援助の実施
- ・ 地域の子育て関連情報の提供
- ・ 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施（月 1 回以上）

⑭ 放課後児童クラブ

ア 昼間、保護者が就労等で不在である小学校に就学している児童を対象に、遊びを主体とする健全育成活動を行う児童クラブ

イ 市内に 8 クラブ（児童数 20 人～80 人）

ウ 管理運営は育成会等により実施

⑮ 幼稚園事業

ア 市立幼稚園の保育内容の充実

イ 市立幼稚園の子育て支援機能の向上（預かり保育実施園：宇佐美、八幡野、荻、富士見、伊東）

ウ 私立幼稚園の支援

エ 特別支援教育の充実

オ 市立幼稚園のあり方の検討

⑯ 生涯学習施策の総合的な推進及び施設整備

ア 生涯学習についての広報及び推進

- ・ 「まなびのとびら」の発行

イ 学習相談の実施、学習指導者の確保

- ・ 社会教育指導員の配置

ウ 生涯学習の拠点施設として、生涯学習センターやコミュニティセンターの活用を推進し、地域の特色を活かした効率的な管理運営を図る。

- ・ 指定管理者による施設の管理運営

エ 生涯学習センター及びコミュニティセンターの計画的な修繕及び施設の充実

- ・ 小室コミュニティセンターの照明 LED 化及びエレベーター更新
- ・ ひぐらし会館ホールの空調改修

オ 図書館・文化ホール建設に向けた取り組み

- ・ 「図書館・文化ホール建設に向けた検討会」において、図書館・文化ホール建設に向けた検討を進める。

⑰ 心豊かな人生をつくり出す成人の学習機会の充実

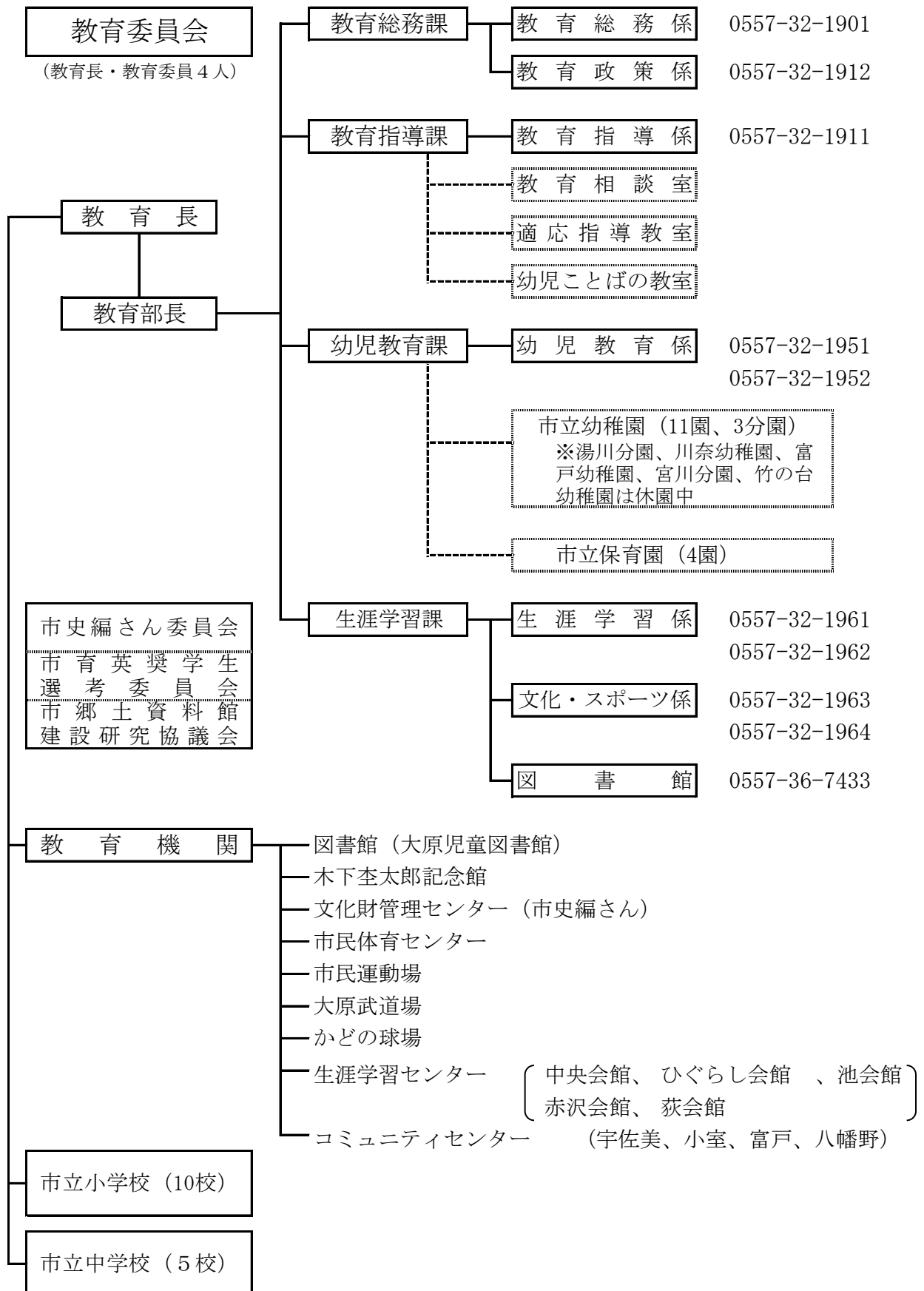
ア 多様化する市民の学習意欲に応えるための「市民大学講座」の開設

- イ 高齢者を対象とした講座「いでゆ大学」の開設
- ウ 市民の自主グループ学習活動の奨励
- ⑱ 人間形成の基礎を培う家庭教育の充実
 - ア 家庭教育向上のための保護者の学習機会の拡充及び学習内容の充実
 - ・ 「楽しく学ぶ子育て講座」の開設
 - イ 家庭教育支援員との連携による家庭教育に関する相談事業の推進
 - ・ 幼保、小中学校での「家庭教育支援及び親学講座」の実施
 - ウ 家庭教育に関する資料の編集及び配付
- ⑲ 生涯学習施設として魅力ある図書館事業の推進
 - ア 子どもの読書推進を図るため、講演会、ワークショップを開催し、出張読み聞かせや読書通帳の配付、ぬいぐるみお泊り会の実施
 - イ 毎週土曜日の読み聞かせ会、季節ごとのおはなし会等の実施とボランティア育成のための読み聞かせ講座の開催
 - ウ 赤ちゃんと保護者がゆっくりと向き合い、心ふれあうひと時を持つきっかけを作るブックスタート事業の充実
 - エ 月曜祝日の振替火曜休館日及びゴールデンウィーク中の特別開館を実施
 - オ 企画展の開催、一般書・児童書特集コーナーの設置
 - カ 遠隔地への移動図書館車の運行
 - キ 郷土に関する図書資料の収集
 - ク DVD、CD等の視聴覚資料及び大活字本や点字図書の充実
 - ケ インターネット蔵書公開システムの運用
 - コ 情報検索のための利用者用インターネット端末開放
- ⑳ 市民一人一スポーツの振興
 - ア 市民の自主的スポーツ活動の奨励とスポーツ関係団体の育成支援
 - イ スポーツ推進委員の資質向上と活動強化
 - ウ 市民の体力向上を目指すスポーツ祭、オレンジビーチマラソン大会及び駅伝競走大会等の開催
 - エ スポーツ施設の計画的な整備と有効利用の促進
 - ・ 市民運動場整備実施設計等業務
 - オ 学校体育施設開放の利用環境の整備
 - ・ 南中学校夜間照明設備設置工事
 - カ 静岡県市町対抗駅伝競走大会への参加及び選手の強化
 - キ 体育施設整備基金積立事業
- ㉑ 郷土に根ざした香り高い芸術文化と歴史文化の振興と継承
 - ア 芸術文化の鑑賞と市民の芸術文化活動の発表の場である芸術祭の開催
 - イ 木下杢太郎記念館の施設整備と資料収集の充実及び特別展の開催
 - ウ 市内所在の文学碑を対象とした全国公募の拓本コンクールの開催
 - エ 文化財の保存・活用と愛護精神の普及及び活動
 - ・ 江戸城石垣石丁場跡保存活用計画策定事業

- オ 開発に対する発掘調査による文化財の周知及び出土物整理作業の実施
 - カ 文化財管理センターにおける出土文化財及び歴史民俗資料の公開展示並びに保管
 - キ 伊東市文化基本構想をもとに、市民の芸術文化活動の奨励と文化団体育成の推進
 - ク 市史編さん資料の整理、保存及び活用
 - ケ 伊東市史通史編「伊東の歴史Ⅲ」の刊行
 - コ 文化施設整備基金積立事業
- ②② 地域との連携による青少年の健全育成
- ア 「青少年育成市民会議」など青少年健全育成活動団体の支援
 - イ 地域の特性を活かした体験学習や講座の充実
 - ・ 「小学生ふるさと教室」、「小学生の船」、「夢チャレンジくらぶ」の実施
 - ウ 子どもの居場所づくりのため「放課後子ども教室」の拡充
 - エ 「青少年問題協議会」や「青少年補導センター」の運営と非行防止の推進
 - オ 厳粛で温かみのある「成人式」の開催
 - カ あいさつ運動の推進
 - キ 「善行賞」の実施
 - ク 市内中学生の思いを伝える「わたしの主張発表会」の開催

2 令和元年度 伊東市教育委員会の組織機構

所在地 伊東市大原二丁目1番1号 代表電話 0557-36-0111
FAX 0557-37-8117



3 教育委員会業務分掌

(1) 教育総務課の分掌事務

教育総務係

- ① 教育委員会その他の会議の招集及び議案に関する事。
- ② 条例、規則及び規程に関する事。
- ③ 告示及び令達に関する事。
- ④ 公印の管守に関する事。
- ⑤ 褒章及び表彰に関する事。
- ⑥ 職員の人事、服務、給与、研修及び福利厚生に関する事。
- ⑦ 交際に関する事。
- ⑧ 学校基本調査に関する事。
- ⑨ 各課の連絡調整に関する事。
- ⑩ 所掌事務に係る広報及び教育行政に関する相談に関する事。
- ⑪ 教職員住宅に関する事。
- ⑫ 寄附に関する事。
- ⑬ 所管の教育財産に関する事。
- ⑭ 小、中学校の財務及び施設の維持管理に関する事。
- ⑮ 県費教職員に関わる叙勲の提出に関する事。
- ⑯ 課内の庶務及び財務に関する事。
- ⑰ 総合教育会議に関する事。
- ⑱ 小、中学校施設の危機管理に関する事。
- ⑲ その他、他の課に属さない事項に関する事。

教育政策係

- ① 通学区域の設定及び改廃に関する事。
- ② 所管の教育機関の設置廃合に関する事。
- ③ 学校給食に関する事。
- ④ 学校給食センターの管理及び運営に関する事。
- ⑤ 就学奨励に関する事。
- ⑥ 育英奨学金に関する事。

(2) 教育指導課の分掌事務

教育指導係

- ① 学籍に関する事。
- ② 学級編制に関する事。
- ③ 教育課程の作成に関する事。
- ④ 教科内容の取扱いに関する事。
- ⑤ 教科書及び教科用図書の採択に関する事。
- ⑥ 教材及び教具の選択に関する事。
- ⑦ 学校評価に関する事。
- ⑧ 学校経営に関する事。

- ⑨ 教職員の服務及び研修に関する事。
- ⑩ 学習指導及び生徒指導に関する事。
- ⑪ いじめ防止対策に関する事。
- ⑫ 学校教育各種行事に関する事。
- ⑬ 学校図書館に関する事。
- ⑭ 教育研究団体の指導及び助成に関する事。
- ⑮ 学校保健に関する事。
- ⑯ 日本スポーツ振興センターに関する事。
- ⑰ 教育相談に関する事。
- ⑱ 就学指導に関する事。
- ⑲ 退職校長の人事台帳の管理編成に関する事。
- ⑳ 課内の庶務及び財務に関する事。
- ㉑ 小、中学校の児童、生徒に対する危機管理に関する事。

(3) 幼児教育課の分掌事務

幼児教育係

- ① 保育業務の運営指導に関する事。
- ② 幼稚園の財務及び施設に関する事。
- ③ 私立幼稚園の助成に関する事。
- ④ 保育園の財務及び施設に関する事。
- ⑤ 民間保育所に関する事。
- ⑥ 保育料に関する事。
- ⑦ 所管施設の設置廃合に関する事。
- ⑧ 所管職員の人事に関する事。
- ⑨ 地域子育て支援センターの管理及び運営に関する事。
- ⑩ 放課後児童健全育成事業に関する事。
- ⑪ 伊東市幼児施設連絡調整協議会に関する事。
- ⑫ 保育園、幼稚園の施設及び園児に対する危機管理に関する事。
- ⑬ 子ども・子育て会議に関する事。
- ⑭ 子ども・子育て支援事業計画に関する事。
- ⑮ 子ども・子育て支援法(平成 24 年法律第 65 号)に係る支給認定及び教育・保育給付に関する事。
- ⑯ 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業者の確認、指導等に関する事。
- ⑰ 社会福祉法人の指導監査及び設立認可等に関する事。
- ⑱ 課内の庶務及び財務に関する事。

幼稚園

幼稚園の管理運営に関する事。

保育園

保育園の管理運営に関する事。

(4) 生涯学習課の分掌事務

生涯学習係

- ① 社会教育委員会その他の会議に関すること。
- ② 社会教育団体等の指導育成に関すること。
- ③ 生涯学習に係る調査、企画、研究並びに総合調整に関すること。
- ④ 生涯学習施設、公民館等の管理及び運営に関すること。
- ⑤ 生涯学習情報の収集及び交換並びに生涯学習情報刊行物の発行に関すること。
- ⑥ 成人教育等に関すること。
- ⑦ 視聴覚教育に関すること。
- ⑧ 家庭教育学級に関すること。
- ⑨ コミュニティ活動に関すること。
- ⑩ 女性教育並びに女性団体の指導育成及び指導者養成に関すること。
- ⑪ 青少年問題協議会に関すること。
- ⑫ 青少年補導センターに関すること。
- ⑬ 青少年教育並びに青少年団体の指導育成及び指導者養成に関すること。
- ⑭ 青少年教育施設に関すること。
- ⑮ 課内の庶務及び財務に関すること。
- ⑯ 生涯学習課所管施設の危機管理に関すること。

文化・スポーツ係

- ① 市史関係資料の調査、収集及び保存に関すること。
- ② 市史の編集及び刊行に関すること。
- ③ 伊東市史編さん委員会に関すること。
- ④ 埋蔵文化財の発掘調査及び管理に関すること。
- ⑤ 文化財の保護に関すること。
- ⑥ 芸術文化活動に関すること。
- ⑦ 木下杢太郎記念館の管理及び運営に関すること。
- ⑧ 文化財管理センターの管理及び運営に関すること。
- ⑨ 文化財保護審議会に関すること。
- ⑩ 文化振興会議に関すること。
- ⑪ 生涯スポーツの企画立案及び指導普及に関すること。
- ⑫ スポーツ推進委員に関すること。
- ⑬ スポーツ関係団体の指導育成に関すること。
- ⑭ スポーツ施設の整備、管理及び運営に関すること。
- ⑮ 学校施設の利用に関すること。
- ⑯ その他スポーツに関すること。

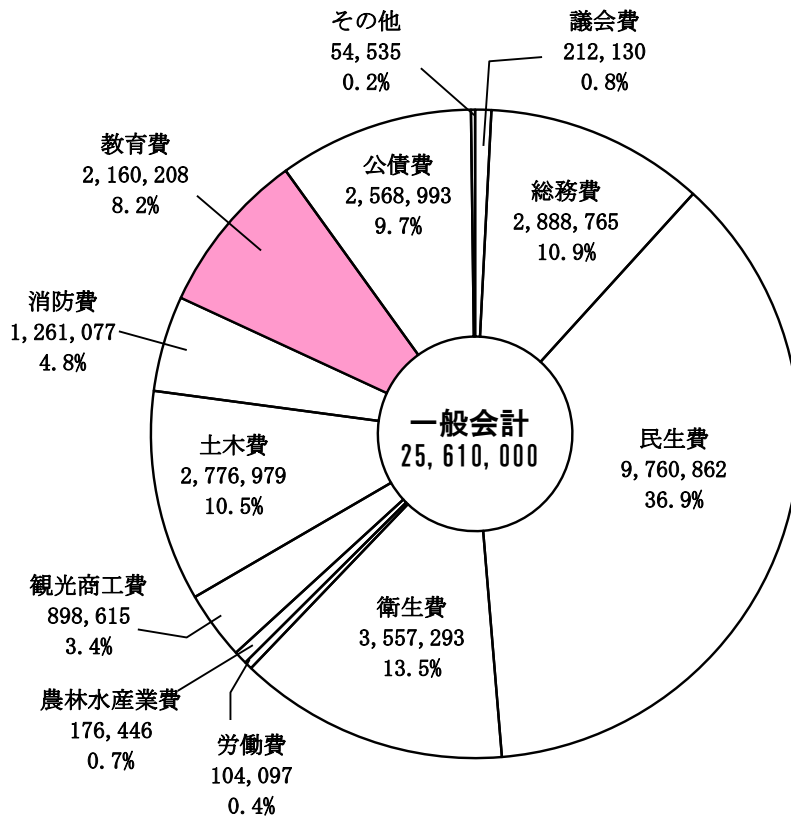
図 書 館

- ① 図書館法第3条に定める奉仕及び業務
- ② 前号に定めるもののほか、教育委員会が必要と認める業務

4 教育予算

令和元年度一般会計に占める教育費の割合（当初予算）

（単位：千円）



一般会計に占める教育費の推移（当初予算）

（単位：千円）

年 度	一 般 会 計 予 算	教 育 費 予 算	割 合 %
平成10	24,050,000	2,305,977	9.6
11	23,720,000	2,019,918	8.5
12	21,850,000	2,046,937	9.4
13	22,300,000	2,338,067	10.5
14	21,370,000	2,135,584	10.0
15	21,350,000	2,045,308	9.6
16	22,930,000	1,891,969	8.3
17	21,810,000	1,831,856	8.4
18	21,029,800	1,801,999	8.6
19	21,677,000	1,699,342	7.8
20	21,310,000	1,705,052	8.0
21	20,980,000	1,758,320	8.4
22	22,474,000	1,642,997	7.3
23	22,880,000	1,658,345	7.2
24	22,050,000	1,577,696	7.2
25	24,050,000	1,632,045	6.8
26	23,660,000	1,726,455	7.3
27	25,400,000	3,018,473	11.9
28	25,660,000	2,371,483	9.2
29	25,700,000	2,283,203	8.9
30	25,610,000	2,171,792	8.5
令和元	26,420,000	2,160,208	8.2

令和元年度教育費目別予算（当初予算）

（単位：千円）

科 目		予 算 額	左記の財源内訳		前 年 度 当初予算額	前 年 度 対 比 率
項	目		特定財源	一般財源		
教 育 総務費	教育委員会費	1,597	0	1,597	1,616	98.8
	事務局費	152,875	37	152,838	134,858	113.4
	教育指導費	208,663	119,630	89,033	194,757	107.1
	育英奨学費	48,019	47,968	51	38,681	124.1
小学校 費	学校管理費	211,546	3,579	207,967	216,323	97.8
	学校建設費	19,363	0	19,363	49,943	38.8
中学校 費	学校管理費	115,466	873	114,593	112,306	102.8
	学校建設費	3,500	0	3,500	82,000	4.3
幼稚園 費	幼稚園管理費	444,920	74,816	370,104	467,807	95.1
	幼稚園建設費	2,500	0	2,500	2,500	100.0
社 会 教育費	社会教育総務費	77,259	8,872	68,387	72,304	106.9
	生涯学習推進費	84,073	12,498	71,575	75,731	111.0
	図書館費	66,446	79	66,367	63,455	104.7
	木下奎太郎記念館費	4,090	600	3,490	3,999	102.3
	文化財保護費	33,631	6,318	27,313	26,552	126.7
	市史資料管理費	18,995	855	18,140	18,613	102.1
保 健 体育費	学校保健体育費	32,253	1,618	30,635	32,941	97.9
	社会体育費	142,745	82,496	60,249	75,980	187.9
	学校給食費	492,267	142,228	350,039	501,426	98.2
合 計		2,160,208	502,467	1,657,741	2,171,792	99.5

総務費

科 目		予 算 額	左記の財源内訳		前 年 度 当初予算額	前 年 度 対 比 率
項	目		特定財源	一般財源		
総 務 管理費	コミュニティ振興費	60,331	19,359	40,972	53,448	112.9

民生費（保育園）

科 目		予 算 額	左記の財源内訳		前 年 度 当初予算額	前 年 度 対 比 率
項	目		特定財源	一般財源		
児 童 福祉費	児童福祉施設費	1,567,553	607,389	960,164	1,446,618	108.4

5 令和元年度 教育関係主要事業

(款) 教育費

◎は、新規事業 ☆は、拡充事業

[単位：千円]

事業名	金額	事業内容等
*要保護・準要保護児童生徒 就学援助事業	27,500	・経済的理由により就学困難な児童生徒及び 入学予定者の保護者に対する支援
*適応指導教室事業	5,256	・不登校児童生徒のための適応指導教室の運 営事業
*小学校低学年学級支援事業	3,537	・支援員による低学年の学級支援
☆特別支援教育支援事業	24,582	・教育上特別の支援を必要とする児童生徒の 学習のために支援員を配置する事業
*通級指導教室支援事業	3,976	・特別な支援を必要とする園児・児童のため の通級指導教室に支援員を配置する事業
☆特別支援教育 アドバイザー配置事業	2,000	・特別な支援を必要とする児童・生徒への対 応能力向上を図るためアドバイザーを配置 する事業
*学校司書配置事業	5,218	・学校図書館を計画的に活用した教育活動を 進める事業
*中学校部活動補助事業	5,000	・市内中学校の部活動に対し、活動のための 費用に対する補助
*放課後児童健全育成委託事業	68,103	・放課後児童の健全育成を、8小学校区に設 置の児童クラブ育成会等に委託する事業
*外国人英語指導者配置事業	24,362	・幼稚園、小学校及び中学校での英語指導を 通じて、国際理解教育を推進する事業
*いじめ・不登校対策事業	771	・社会福祉士及び学校心理士の協力を得てい じめや不登校の未然防止・早期発見・早期 対応を図る事業
*ジオパーク総合学習事業	1,441	・市内小学校の児童が、総合学習や理科の校 外学習において身近なジオパークを見学 し、自然環境について学習する事業
*育英奨学金事業	48,019	・高校・大学の学費等の資金の一部を貸付け 及び給付することで、経済的な理由で修学 困難な学生を支援する事業
*小中学校校務支援システム 運用事業	13,540	・学校内の情報共有と教職員の負担軽減等を 図る校務支援システムを運用するための事 業

事業名	金額	事業内容等
◎無線 LAN 機器等整備事業	700	・新学習指導要領の実施に向けた ICT 環境を、モデル校として八幡野小学校に整備する事業
◎小中学校施設長寿命化計画策定事業	10,500	・老朽化が進んでいる小中学校施設の現況を調査し、今後の維持管理費や更新費用の平準化等を図るため、計画的・戦略的な中長期計画を策定する事業
*小学校屋上防水事業	6,000	・宇佐美小学校の屋上防水を改修することで雨漏りの防止と建物の長寿命化を図る事業
☆市立幼稚園一時預かり事業	27,346	・実施済 4 園(宇佐美・八幡野・荻・富士見)に加え、新たに伊東幼稚園で一時預かりを実施する事業
*私立幼稚園施設型給付及び一時預かり委託事業	80,748	・子ども・子育て支援新制度に基づき、市内の私立幼稚園 2 園に施設型給付と一時預かりを実施する事業
◎全国絵画公募展 IZUBI ファイナル開催事業	7,000	・「IZUBI FINAL」と題し、IZUBI 最後の審査会・展覧会を開催する事業
*伝統文化育成補助事業	1,500	・子どもたちに伝統芸能及び生活文化を体験・習得させる事業を行う市民団体等に対する補助
*青少年育成戦略応援補助事業	3,000	・青少年健全育成活動の推進及び発展を目的とする団体等に対する補助
◎生涯学習センターひぐらし会館ホール空調設備更新事業	7,560	・生涯学習センターひぐらし会館ホールの空調設備を更新し、利便性の向上を図る事業
*小学生の船体験事業	1,522	・小学生が伊豆大島での集団生活を通じ、責任や協調性を学ぶ事業
*放課後子ども教室推進事業	1,968	・放課後等に子どもが安心して活動できる場を確保し、児童の健全育成を推進する事業
◎江戸城石垣石丁場跡保存活用計画策定事業	6,449	・平成 28 年に国指定文化財に指定された江戸城石垣石丁場跡の保存活用計画を策定する事業
*市史資料管理事業	7,234	・伊東市史通史編の刊行に係る経費
*県市町対抗駅伝競走大会委託事業	1,650	・第 20 回記念静岡県市町対抗駅伝競走大会への参加に係る委託料
◎市民運動場整備実施設計等業務委託事業	40,000	・市民運動場に人工芝や周回遊歩道を整備するための実施設計及び測量・地質調査等を行う事業

事業名	金額	事業内容等
◎小荷物専用昇降機リニューアル工事業	1,500	・図書館内開架フロアと閉架書庫間において本などを運搬するための小荷物昇降機をリニューアルする事業
◎南中学校夜間照明設備設置事業	25,000	・同校及び学校開放事業での施設利・用者の利便性を向上させるため、南中学校に夜間照明設備を設置する事業
*体育協会補助事業	2,000	・地域スポーツの振興で重要な役割を担っている体育協会に対する運営補助
*学校給食センター調理運搬洗浄等委託事業	130,931	・中学校3校(南・北・対島)及び小学校5校(東・川奈・大池・南・旭)にセンター方式により給食を提供する事業
*学校給食地産地消推進事業	11,000	・地場産の食材を使用した「ふるさと給食」を提供する事業

(款) 総務費

◎は、新規事業 ☆は、拡充事業

[単位：千円]

事業名	金額	事業内容等
◎コミュニティセンターエレベーター更新事業	10,000	・老朽化した小室コミュニティセンターのエレベーター更新事業

(款) 民生費

◎は、新規事業 ☆は、拡充事業

[単位：千円]

事業名	金額	事業内容等
*保育人材育成支援事業	7,380	・市内保育園の人材不足解消のため、保育士、保育補助者を育成する事業
◎子ども・子育て支援事業計画策定事業	2,500	・第2期伊東市子ども・子育て支援事業計画を策定する事業
*八幡野保育園指定管理委託事業	130,000	・八幡野保育園の指定管理委託料(含む、地域子育て支援センター事業委託料)
*玖須美保育園一時預かり事業	4,814	・待機児童削減のため玖須美保育園で一時預かり保育を実施する事業
◎市立保育園病児保育実施事業	3,267	・保育中に体調不良となった児童を専用スペースで一時的に預かる体調不良児対応型の病児保育を実施する事業

事業名	金額	事業内容等
◎小規模保育事業所運営給付事業	29,368	・平成31年4月開設予定の小規模保育事業所への運営給付費及び病児保育を委託する事業
*待機児童削減サポート補助事業	3,240	・待機児童削減を目的に、認可外保育施設、企業主導型保育事業所の利用料軽減を図る施設に対する助成
☆地域子育て支援センター運営事業	42,619	・地域子育て支援センターの設置及び運営事業(公立保育園1か所、私立保育園3か所、伊東ショッピングプラザデュオ内、健康福祉センター内、計6か所)

6 伊東市育英奨学制度

本市の奨学金制度は、優秀でありながら学資の支弁が困難な学生（生徒）に対し、有為な人材育成を目的として、学資の一部を支弁することとしている。

国の給付型奨学金創設を受け、平成29年度からは給付型奨学生の採用を終了し、それに代えて、奨学金月額増額及び入学一時金の新設を行うとともに、卒業後伊東市内に居住している場合は返還金の2分の1を免除するインセンティブ（Uターン支援）制度を設け、制度の充実を図った。

育英奨学事業

募集時期	毎年4月
募集方法	一般募集・校長推薦
採用条件	・市内に居住する者又はその子弟で高校、大学等に在学中 ・心身健全、成績優良で学資支弁が困難
選考方法	書類選考
奨学金の種類	貸与（次の金額はいずれも上限額） 月額奨学金 高校生等 30,000円 大学生等 50,000円 入学一時金 高校生等 300,000円 大学生等 600,000円
決定人員	令和元年度新規 大学生等 19人 前年度からの継続 給付 大学生等 1人 貸与 高校生等 1人 大学生等 44人
交付期間	入学から卒業までの正規の修業期間
返還方法	卒業後1年経過後から10年割賦で返還

奨学金の改定変遷

年 度	高校生等	大学生等	備 考
昭和26年	500円	1,800円	奨学金制度開始
昭和27年	800円		
昭和29年		2,100円	
昭和35年			規則化
昭和36年	1,000円		
昭和43年	1,500円		
昭和45年		3,000円	
昭和46年	3,000円	5,000円	
昭和49年	5,000円	10,000円	
平成元年	8,000円	15,000円	
平成3年	10,000円	20,000円	基金設置、給付制度新設
平成29年	30,000円	50,000円	給付採用終了、半額免除新設

育英奨学基金（平成30年度末現在）

区 分	29年度末現在高	30年度中増減	30年度末現在高
現金預金	45,420,592円	131,965円	45,552,557円

IV 学校施設管理

1 学校施設管理

本市教育委員会の管理学校数は、幼稚園 14 園（ただし、伊東幼稚園湯川分園、川奈幼稚園、富戸幼稚園、宇佐美幼稚園宮川分園及び竹の台幼稚園は休園中）、小学校 10 校、中学校 5 校である。

市立幼稚園では、3～5 歳児の入園希望者全員の入園を実施している。

3 歳児保育については、平成 11 年 6 月に川奈幼稚園で試行実施を行い段階的に推進し、平成 12 年度は宇佐美幼稚園、富戸幼稚園の 2 園において実施したほか、平成 13 年度は宇佐美幼稚園宮川分園、南幼稚園と同園の富士見分園において実施、平成 14 年度は竹の台幼稚園で実施、平成 15 年度は鎌田幼稚園、荻幼稚園で実施、平成 16 年度は伊東幼稚園、同園湯川分園、池幼稚園で実施、平成 17 年度は吉田幼稚園において実施、平成 20 年度は八幡野幼稚園で実施され、現在は、休園中の 5 園を除いた全 9 園で行っている。

また、子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、幼稚園児の父母の就労支援を目的とした預かり保育を、平成 28 年度に宇佐美幼稚園及び八幡野幼稚園において実施し、平成 29 年度から荻幼稚園、平成 30 年度から富士見分園、令和元年 5 月から伊東幼稚園においても実施している。

園児数の動向については、依然として続く出生率の低下により、昭和 48 年度の 2,023 人から年々減少し、平成 31 年度はピーク時の 19.9%となる 403 人にまで減少し、少子化に歯止めがかかっていない。

なお、平成 6 年に休園とした竹の台幼稚園新井分園を平成 28 年 4 月 1 日を以て廃園とした。

小学校児童数は、昭和 54 年度の 7,422 人をピークに減少が続き、平成 31 年度はピーク時の 34.7%となる 2,572 人となっている。

5 年前（平成 26 年度）の児童数と比較すると、全ての小学校で生徒数が減少しており、川奈小学校 50.8%、旭小学校 25.3%、大池小学校 21.0%、富戸小学校 17.0%、南小学校 16.6%の減少となっている。

また、中学校生徒数は昭和 57 年度の 3,696 人をピークに減少が進み、5 年前との生徒数比較では、全ての中学校で生徒数が減少しており、門野中学校 26.9%、北中学校 25.1%、対島中学校 16.6%、宇佐美中学校 13.9%、南中学校が 5.9%減少し、本年度の生徒数はピーク時の 39.4%となる 1,456 人となっている。

平成 30 年度の施設工事については、宇佐美中学校の校舎トイレ改修工事、南中学校・宇佐美中学校・富戸小学校の校舎屋上防水工事、南中学校・大池小学校の屋内運動場照明 LED 化工事、旭小学校パソコン室へのエアコン設置工事を行った。

また、平成 28 年 7 月に学校給食センターが完成し、2 学期から給食の提供を開始した。これにより、小中学校全校で完全給食が実施された。

2 幼稚園、保育園、小・中学校建設のあゆみ

年度	伊 東 の あ ゆ み	幼 稚 園・保 育 園	小 学 校	中 学 校
明6			富戸小（仮校舎永昌寺）創立、宇佐美学舎（宇小）、川奈小（福西氏宅外）、克明学舎第2支校（大池小）、八幡野学舎（八小）	
7			八幡野学舎校舎新築	
19			池小廃校	
20			八幡野学舎分校（池小）創立	
22	町村制施行（伊東・小室・宇佐美・対島）			
29			伊東尋常高等小学校（西小）創立 宇佐美尋常小校舎新築	
31			八幡野小校舎新築移転	
32			川奈尋常小校舎取得（民家買収）	
39	伊東町となる			
43			八幡野小校地拡張・校舎増築	
45			川奈尋常高等小学校新築	
大8			池尋常小校舎新築	
11		私立伊東幼稚園創立		
15		私立を町立伊東幼稚園とし創立		
昭4			宇小講堂新築・校舎移築	
5			伊東尋常高等小分教場（東小）創立	
7	県立伊東高等女学校		川奈尋常高等小校舎改修・運動場拡張	
12			八幡野小校地拡張	
13	国鉄伊東線開通12月			
14			伊東尋常高等小学校（独立開校）	
15			八幡野小校舎新築	
16			伊東国民学校（東小）校舎増築	
20		伊幼分園増設（仏現寺・本然寺）		
22	伊東町小室村が合併、市制施行 市立伊東高等女学校		大池小校舎増築	伊東中創立、宇佐美中創立、八幡野教場（対島中）、富戸教場創立
23	市紋章を制定 伊東高校として開校	新井幼稚園創立 伊幼分園廃止		六三制実施
24	キティ台風来襲 キネマ通り大火	伊幼第一分園（湯川）創立 新井分園を第2分園に改称 宇佐美幼稚園創立	大池小給食室新築 八幡野小校地拡張	伊東中グラウンド・野球場完成 宇佐美中校舎新築
25	国際観光温泉文化都市の指定		大池小給食室増築 富戸小校舎増築	宇佐美中運動場拡張
26			東小講堂新築・運動場整備	宇佐美中校舎本館改修
27	市立図書館新館開館	伊幼園舎移転新築		八幡野教場校舎新築
28		伊幼第三分園（竹の台）創立 八幡野幼稚園創立	大池小運動場拡張	伊東中体育館兼講堂新築
29		富戸幼稚園・池幼稚園創立	宇佐美小給食室新築 八幡野小運動場拡張	
30	宇佐美村・対島村の2か村を合併 市立公民館新設	私立吉田幼稚園創立	川奈小校舎新築	北中学校創立、南中プール完成
31	市庁舎落成	伊幼第三分園園舎移転新築	池小校舎新築	北中校舎新築
32	伊東こどもの歌発表 第12回国体開催	川奈幼稚園創立 宇佐美幼稚園敷地拡張		南中学校校舎新築 宇佐美中校舎新築
33	狩野川台風来襲	富戸幼稚園園舎改築		
34	大川橋完成、通学橋完成	池幼稚園園舎移転新築 富士見保育園創立	池小給食室新築 東小講堂校舎補修	対中運動場拡張
35	伊東ユースホステル開設 私たちの郷土伊東発行	八幼園地拡張・園舎移転新築	大池小校舎新築 八幡野小校舎・給食室増築 宇佐美小講堂全面改修	宇佐美中校舎（技）新築
36	伊豆急行開通	第一分園を湯川分園、第二分園を新井分園、第三分園を竹の台分園に改称 吉田幼稚園新園舎	西小講堂火災	南中校舎増築、北中体育館新築、宇佐美中校舎（技機室）新築
37	交通安全都市宣言		大池小教室蛍光灯施設 池小プール完成	
38	伊東商業高等学校開校 伊東市民の歌発表		宇佐美小校舎（第1期）新築	

年度	伊 東 の あ ゆ み	幼 稚 園・保 育 園	小 学 校	中 学 校
39		伊東幼稚園鎌田分園創立 湯川保育園創立	宇佐美小校舎（第2期）新築	対島中校舎（技）増築
40	諏訪市と姉妹都市提携			北中校舎（理）増築
41			富戸小校舎新築 宇佐美小運動場整備	対島中校舎（音・美）増築 対島中富戸分校廃止
42	いでゆ橋完成、海浜プールオープン、市民憲章制定	伊幼鎌田分園園舎移転新築 玖須美保育園創立	東小校舎増築 八幡野小撒水施設設置	
43	交通災害共済制度発足	伊幼竹の台分園南小分室創立	東小プール完成 富戸小体育館完成	
44	小室山総合グラウンド完成 アスパック川奈会議	南幼稚園創立 玖須美保育園園舎増設	南小校舎完成・創立	
45	城星市民運動場完成		東小物見塚歩道橋完成 八幡野小プール・体育館完成・運動場拡張整備	宇佐美中校舎新築
46		富戸幼稚園園舎移転新築		宇佐美中体育館完成 対島中運動場拡張
47		吉田幼稚園が市立幼稚園となる 広野保育園創立	東小南校舎火災 川奈小体育館完成・南小校舎増築 宇佐美小プール完成	
48	あさひ橋完成	さくら保育園創設	旭小学校創立 宇佐美小校舎増築 川奈小プール完成	対島中体育館完成 北中運動場拡張
49	下水道共用開始	八幡野幼稚園園舎移転新築 南幼稚園富士見分園創立 鎌田幼稚園移転新築 富戸保育園創立	西小校舎新築	
50		宇佐美幼稚園宮川分園創立 荻幼稚園創立 伊幼新井分園園舎移転新築	西小体育館完成 旭小プール完成	北中校舎（美・技）増築
51	人口7万人達成	宇佐美保育園創立	富戸小プール完成	対中校舎新築・運動場整備
52	伊東高等学校新築 諏訪市「海の家」開設	富士見保育園遊戯室増設	大池小校舎新築・運動場整備 池小校地取得	南中A棟新築
53	伊豆大島近海地震 伊豆近海群発地震		富戸小校舎地震被害	南中B棟新築
54	勤労者体育センター完成	富士見保育園園舎増設	富戸小地震被害復旧、南小校舎増築、東小校舎移転新築、大池小体育館完成	
55	伊豆半島東方沖（川奈崎）群発地震、社会教育センター完成、市民運動場ナイター設備完成		富戸小群発地震校舎被害	宇佐美中運動場拡張
56	観光会館別館完成	南幼稚園園舎移転新築 玖須美保育園築工事	東・西・南小プール完成 宇佐美小体育館完成 富戸小校舎新築	北中防球ネット設置
57	イギリス・ジリングラム市と伊東市が初めて海外友好都市提携		川奈小校舎新築・運動場整備、富戸小校舎移転新築、南小東校舎新築、宇佐美小撒水栓設置	
58	城ヶ崎高等学校開校、移動図書館「ともだち号」開始		大池小校舎新築	南中体育館完成
59			池小校舎新築 富戸小運動場整備	
60	イタリアリエティ市と友好都市提携 木下奎太郎記念館オープン		八幡野小校舎移転新築	対島中部室（野・庭）新築 新設門野中学校用地造成工事開始
61			南小体育館火災・復旧 八幡野小袴線橋完成 池小運動場フェンス設置	宇佐美中防球ネット設置
62		吉田幼稚園園舎移転新築	八幡野小体育館完成 西小校舎耐震補強 大池小プール完成	宇佐美中防球ネット設置 門野中学校創立
63	宇佐美コミュニティセンター完成 松原大火		西小体育館天井改修 富戸小撒水栓設置	宇佐美中防球ネット設置 対島中校舎耐震補強
平成	伊豆東方沖群発地震 手石海丘噴火 奥野ダム完成	池幼稚園園舎移転新築 富士見保育園園舎改築	大池小校庭整備	北中校舎新築・運動場拡張整備 宇佐美中校舎耐震補強 対島中プール用地取得
2	斎場完成	幼稚園園児1学級定数35人に改定 伊東幼稚園本園焼失 さくら保育園園舎改築	南小運動場側溝改修 旭小校舎耐震補強 東小校舎内窓ガラス飛散防止	南中校舎C棟改築・門野中プール完成、北中プール完成・バックネット設置、宇佐美中運動場整備・夜間照明設置

年度	伊 東 の あ ゆ み	幼 稚 園・保 育 園	小 学 校	中 学 校
3	小室コミュニティセンター完成	川奈幼稚園園舎改築 宇佐美幼稚園園舎改築 富戸保育園移転新築	八幡野小プール完成 富戸小学校庭整備	対島中プール完成 対島中防球ネット設置
4	八幡野コミュニティセンター完成 伊東市文化功労賞設置	川奈幼稚園園庭整備 宇佐美幼稚園園庭整備	宇佐美小校舎改築 西小学校庭整備	南中学校庭整備、北中パソコン教室設置、宇佐美中多目的室設置、対島中夜間照明設置
5	新庁舎建設着工		宇佐美小校舎・屋内運動場改築 西小プール完成 川奈小学校庭整備	北中テニス・バレーボールコート整備 対島中部室完成
6	ひぐらし会館完成 かどの球場完成	伊東幼稚園園舎改築 吉田幼稚園園庭整備 南幼稚園富士見分園園庭整備 竹の台幼稚園新井分園休園	宇佐美小プール完成・運動場整備・撒水栓設置・図工室改修	北中音楽室改修
7	教育相談室開設、文化財管理センター完成、富戸コミュニティセンター完成	竹の台幼稚園改築	大池小学校屋外運動場整備 旭小学校通学路防災整備	
8	生涯学習センター池会館完成 大原武道場完成 伊東国際交流協会設立	伊東幼稚園湯川分園解体 宇佐美保育園で地域子育て支援センター開始	東小学校屋内運動場改築、大池小学校校舎増築、八幡野小学校撒水栓整備・運動場整備、旭小学校通学路防災整備	宇佐美中学校屋内運動場及び屋内水泳プール完成 門野中学校給食室新築
9	体育文化施設予約管理システム稼動、図書館コンピュータシステム導入、情報公開制度スタート	荻幼稚園園舎増築 八幡野幼稚園進入路建設	旭小学校通学路防災整備	南中学校屋外水泳プール完成 門野中学校給食開始
10	生涯学習センター赤沢会館完成 適応指導教室開設	宇佐美幼稚園宮川分園屋上防水及び外壁補修 湯川保育園移転新設 湯川保育園で地域子育て支援センター開始	小学校給食施設・設備改修 小学校空気調和設備設置 南小学校屋外運動場撒水栓設備設置	教育用コンピュータ整備（3校） 南中学校放送機器改修
11	3歳児保育の開始 市史編さん事業開始	6月1日から川奈幼稚園において3歳児保育を実施 南幼稚園浄化槽改修工事・園内部補修 富士見分園非常階段撤去	西小学校給食施設・設備改修・空気調和設備設置 川奈小学校屋内運動場改修 南小学校屋外水泳プール補修 宇佐美小学校児童用玄関ドア改修 旭小学校浄化槽解体	南・宇佐美中学校空気調和設備設置 対島中学校放送機器改修
12	総合的な学習の試行	3歳児保育を宇佐美及び富戸幼稚園で実施	富戸小学校給食施設改修 西小学校屋上防水 八幡野小学校テラス補修 旭小学校管理棟防水 東小学校給食リフト改修	南中学校部室改築 南中学校技術棟棟補修 宇佐美中学校放送設備改修 門野中学校屋内運動場渡り廊下塗装 南中学校浄化槽改修 対島中学校バスケットゴール改修 門野中学校浄化槽改修
13	生涯学習センター荻会館完成 男女共同参画プランの策定	八幡野幼稚園排水施設整備 川奈幼稚園通園路手すり等設置 3歳児保育を宇佐美宮川分園・南幼稚園及び富士見分園で実施 市立保育園全園での休日保育事業開始	池小学校プール建設 旭小学校プール塗装 南小学校給水管改修 南小学校照明器具改修 小学校パソコン教室改修 川奈小・南小学校給食用リフト改修 池小学校浄化槽改修	宇佐美中学校照明器具改修 南中学校渡り廊下等補修 宇佐美中学校トイレ改修 対島中学校渡り廊下塗装 門野中学校浄化槽改修 門野中学校高鉄棒取替え 校内LAN工事（対島、門野、北）
14	新学習指導要領始まる 教育問題懇話会設置	鎌田幼稚園改築 宇佐美幼稚園下水道接続 3歳児保育を竹の台幼稚園で実施 八幡野保育園創立 ※委託契約（休日保育事業・地域子育て支援センター・延長保育事業開始） 伊豆栄光荻保育園創立 ※私立保育園（休日保育事業・地域子育て支援センター・一時保育事業・延長保育事業開始）	川奈小学校給食施設改修 小学校校舎トイレ改修 旭小学校屋内運動場防水 宇佐美小学校下水道接続	宇佐美中学校下水道接続 対島中学校校舎トイレ改修 南中学校排水施設建設
15	第58回国民体育大会開催 伊東市民体育センター（名称変更）	伊東幼稚園湯川分園改築 3歳児保育を鎌田幼稚園及び荻幼稚園で実施 八幡野保育園で一時保育事業開始	川奈小学校プール塗装 大池小学校校舎屋根補修 小学校校舎トイレ改修 小学校門扉設置 富戸小学校倉庫設置	宇佐美中学校校舎防水 北中学校屋外運動場整備 南中学校校舎床等補修 北中学校屋内運動場床補修
16	地域子ども教室推進事業始まる	吉田幼稚園園舎増築 池幼稚園園舎屋根塗装 伊東幼稚園湯川分園園庭整備 3歳児保育を伊東幼稚園・湯川分園及び池幼稚園で実施	校内LAN工事（10校） 東小学校校舎改修 小学校門扉設置 旭小学校屋外運動場傾斜面補修	北中学校校舎防水 門野中学校浄化槽改修 南中学校排水施設整備 校内LAN工事（北、宇佐美）
17	あいさつ運動の推進	3歳児保育を吉田幼稚園で実施 川奈幼稚園テラス等改修 富戸幼稚園園舎屋根等改修 川奈愛育クラブ創立 ※私立保育園（休日保育事業・地域子育て支援センター・一時保育事業・延長保育事業・乳幼児健康支援一時預り開始）	旭小学校校舎防水 南小学校給水設備改修 川奈小学校屋内運動場防水 八幡野小学校屋外運動場整備 大池小学校給食リフト改修	対島中学校校舎防水 宇佐美中学校旧用務員宿舎解体 南中学校高架水槽改修

年度	伊 東 の あ ゆ み	幼 稚 園・保 育 園	小 学 校	中 学 校
18	伊東市書道教育特区 (南小学校を指定)	3歳児保育の2次募集で学区解消 宇佐美幼稚園宮川分園園舎改修 幼稚園園舎改修 八幡野保育園が指定管理者への委託となる(平成22年までの5年間)	大池小学校屋内運動場床改修 大池小学校トイレ改修 大池小学校給食施設改修 池小学校屋内運動場防水等 富戸小学校校舎屋上等補修 八幡野小学校校舎屋上等補修 旭小学校校舎補修	北中学校屋内運動場防水 門野中学校校舎防水 北中屋内運動場放送設備改修
19	伊東市書道教育特区 (東小学校を指定)		南小学校トイレ改修工事 旭小学校トイレ改修工事 西、富戸、南小学校防水等工事 池小学校地下ポンプ室内補修工事 宇佐美小学校給食施設改修工事	門野中学校下水道接続工事 南中学校グラウンド等改修工事 宇佐美中学校屋内運動場床補修工事 対島中学校校舎改修工事
20		幼稚園園舎改修工事(富戸、南幼稚園富士見分園) 保育まつりを幼稚園・保育園で合同開催	東・西・八幡野・池小学校トイレ改修 南小学校給食施設の改修 大池小学校校舎防水等工事 宇佐美小学校児童玄関扉改修工事	北中学校テニスコート通路舗装工事 宇佐美・対島中学トイレ改修工事 対島中学校グランドフェンス取替工事 対島中学校校舎ベランダ手摺改修工事
21		富戸保育園が指定管理者への委託となる(平成22年までの2年間) 幼稚園園舎改修工事(川奈)	池小学校屋内運動場防水工事 南小学校浄化槽改修 大池小学校給食室改修工事 南小学校屋内運動場耐震補強工事	北中学校校舎等トイレ改修工事 対島中学校校舎補修工事 南中学校プール補修工事 南中学校太陽光発電装置設置工事 対島中学校屋内運動場耐震補強工事
22		湯川保育園が指定管理者への委託となる(平成23年までの2年間) 八幡野幼稚園耐震補強工事	宇佐美小学校給食室改修工事 大池小学校屋内運動場耐震補強工事	南中学校校舎トイレ等改修工事 宇佐美中学校防球ネット改修工事
23		八幡野保育園が指定管理者への委託となる(平成27年度までの5年間) 伊豆栄光富戸保育園設置認可(伊東市立富戸保育園廃止) 富戸幼稚園園舎耐震補強工事	西小学校杉の子教室改修工事	南中学校校舎耐震補強工事 (平成24年度までの2年間) 門野中学校テニスコート改修工事 北中学校特別教室機能移転工事
24		伊豆栄光湯川保育園設置認可 (伊東市立湯川保育園廃止)	池小学校屋内運動場耐震補強工事 富戸小学校屋内運動場耐震補強工事	南中学校校舎耐震補強工事
25	本市初の親子給食が東小・川奈小間で開始される		南小学校校舎トイレ改修工事 川奈小プール塗装工事	
26	本市で2校目となる中学校給食が親子給食(宇佐美小・宇佐美中)により開始される 木下空太郎記念館が国登録有形文化財になる	伊東幼稚園湯川分園休園	西小学校屋内運動場改築工事 大池小学校校舎トイレ改修工事 宇佐美小中給食施設整備工事	南中学校進入路歩道整備工事 南中学校技術科棟及び浄化槽解体工事
27	総合教育会議を開催し大綱を策定 江戸城石垣石丁場跡が国史跡になる 川奈ホテル本館・田舎家が国登録有形文化財になる オレンジビーチマラソン50回目を迎える	子ども・子育て支援新制度施行 園舎窓ガラス飛散防止フィルム貼付(幼:鎌田、南、富士見分、吉田、荻)(保:富士見、玖須美、広野、宇佐美) つくし保育園創立(私立保育園) 野間自由幼稚園が新制度に移行	屋内運動場窓ガラス飛散防止フィルム貼付 (東、川奈、宇佐美、八幡野、旭) 川奈小屋内運動場天井落下防止工事	屋内運動場窓ガラス飛散防止フィルム貼付 (南、北、宇佐美、門野) 大規模空間吊り天井落下防止工事 (南中武道場・宇佐美中屋内プール) 南中学校太陽光発電設備設置工事
28	伊東市学校給食センター完成 市民体育センター耐震化工事	竹の台幼稚園新井分園廃園 川奈幼稚園休園 さくら保育園をさくら園に名称変更 宇佐美幼稚園園舎改修工事	校舎窓ガラス飛散防止フィルム貼付(富戸、池、南) 小学校校舎トイレ改修工事(八幡野、池) 大池小学校駐車場整備工事 南小学校校舎屋上防水工事 小学校プール塗装工事(八幡野、旭)	中学校給食の完全実施 門野中学校校舎窓ガラス飛散防止フィルム貼付 中学校校舎トイレ改修工事(北、対島)
29	市政施行70周年 教育大綱改定 育英奨学制度改正(奨学金の増額、入学一時金・Uターン支援制度の新設) 図書館予約本受取サービス開始(生涯学習センター池会館)	南幼稚園富士見分園園舎耐震補強工事 伊豆栄光なぎさ保育園認可(小規模保育事業A型)	校舎窓ガラス飛散防止フィルム貼付(東、西、川奈、大池、宇佐美、八幡野、旭) 屋内運動場窓ガラス飛散防止フィルム貼付 (南、大池、富戸、池) 小学校校舎トイレ改修工事(東、西) 小学校校舎屋上防水工事(東、池) 南小学校下水道設備接続工事	校舎窓ガラス飛散防止フィルム貼付(南、北、宇佐美、対島) 対島中学校屋内運動場窓ガラス飛散防止フィルム貼付 対島中学校校舎外壁塗装工事
30	伊豆半島ジオパークのユネスコ世界ジオパーク認定 子育て支援センター「つくしんぼ」オープン 教育問題懇話会答申(小・中学校における適正な学校規模及び配置のあり方)	ちゅうりつぷ保育園認可(小規模保育事業A型) 広野保育園保育室改修工事 富士見保育園下水道接続工事 宇佐美幼稚園宮川分園休園 富戸幼稚園休園 幼稚園全園空調設備設置	富戸小学校校舎屋上防水工事、 大池小学校屋内運動場照明LED化工事 旭小学校パソコン室エアコン設置工事	宇佐美中学校校舎トイレ改修工事 中学校校舎屋上防水工事(南、宇佐美) 南中学校屋内運動場照明LED化工事

3 教育施設一覧

(1) 小学校

学 校 名	開設年月	敷地面積				建 物 面 積											プールサイズ	
			建 物 敷 地	運動場 敷 地	その他 敷 地	校 舎				屋内運動場			その他建物（プール附属室、倉庫等）					
							鉄筋	鉄骨	木造		鉄筋	鉄骨		鉄筋	鉄骨	木造	大	小
東小	S5. 8	20, 371	11, 796	8, 575		6, 974	6, 974			1, 522	1, 522		35		35		25×10	
西小	M29. 3	14, 845	8, 990	5, 093	762	7, 254	7, 254			1, 213		1, 213	122		122		25×10	8×3
川奈小	M6. 8	9, 464	4, 014	5, 222	228	1, 882	1, 882			583		583	67		35	32	25×10	
大池小	M6. 11	19, 547	7, 976	6, 774	4, 797	5, 199	5, 199			652		652	66		36	30	25×10	
宇佐美小	M6. 6	15, 613	7, 456	8, 157		7, 885	7, 874	11		1, 233		1, 233	350	128	119	103	25×12	10×4
八幡野小	M6. 6	14, 764	6, 988	7, 278	498	3, 411	3, 411			1, 036		1, 036	96		77	19	25×10	
富戸小	M6. 7	17, 802	6, 385	11, 417		2, 898	2, 898			600		600	31	18		13	25×10	10×6
池小	M6	9, 824	4, 933	4, 057	834	2, 077	1, 850	227		652		652	78			78	25×10	10×3
南小	S44. 4	19, 467	11, 208	8, 259		6, 851	6, 851			1, 222		1, 222	35		35		25×10	
旭小	S48. 4	28, 900	7, 327	6, 973	14, 600	6, 138	6, 138			795	795		76	18	58		25×10	
小 学 校 計		170, 597	77, 073	71, 805	21, 719	50, 569	50, 331	238		9, 508	2, 317	7, 191	956	164	517	275		

※南小屋内運動面積には地下基礎部分の倉庫220㎡を含む

(2) 中学校

学 校 名	開設年月	敷地面積				建 物 面 積											プールサイズ	
			建 物 敷 地	運動場 敷 地	その他 敷 地	校 舎			屋内運動場			その他建物（プール附属室、倉庫等）						
							鉄筋	鉄骨	木造		鉄筋	鉄骨		鉄筋	鉄骨	木造	大	小
南中	S22. 4	40, 510	17, 653	22, 087	770	8, 039	8, 039			2, 700		2, 700	205		4	201	25×17	
北中	S30. 4	21, 512	10, 417	11, 095		5, 603	5, 603			1, 121	1, 121		334	334			25×14	
宇佐美中	S22. 4	11, 240	5, 307	5, 933		4, 282	4, 282			1, 427	1, 427		336	268	68		25×13	
対島中	S22. 5	20, 705	8, 520	12, 185		3, 978	3, 935	43		1, 145		1, 145	361		261	100	25×13	
門野中	S62. 4	30, 494	13, 662	14, 463	2, 369	5, 651	5, 651			1, 609		1, 609	282		282		25×13	
中 学 校 計		124, 461	55, 559	65, 763	3, 139	27, 553	27, 510	43		8, 002	2, 548	5, 454	1, 518	602	615	301		

(3) 幼稚園

幼稚園名	開設年月日	敷地面積					建 物 面 積						
			建 物 敷 地	運動場 敷 地	その他 敷 地		園 舎			その他建物(倉庫等)			木造
							鉄筋	鉄骨	木造		鉄筋	鉄骨	
伊東幼	T15. 4. 21	1, 547	1, 070	477		594	594						
湯川分園	S24. 9. 1	1, 824	907	917		421			421				
竹の台幼	S28. 4. 10	1, 416	788	628		477	477						
鎌田幼	S39. 4. 13	2, 038	1, 035	1, 003		480			480				
川奈幼	S32. 1. 6	5, 734	1, 643	2, 049	2, 042	368			368				
宇佐美幼	S25. 2. 1	2, 040	1, 216	824		552			552	5			5
宮川分園	S50. 4. 1	2, 403	1, 103	1, 300		780	780						
八幡野幼	S28. 7. 1	2, 448	1, 460	988		508		508					
富戸幼	S29. 5. 1	2, 199	1, 007	1, 192		455		455					
池幼	S29. 4. 1	2, 488	628	1, 860		336			336	7			7
南幼	S44. 4. 4	2, 634	1, 091	1, 543		616	616						
富士見分園	S50. 2. 1	2, 500	1, 220	1, 280		756	756						
吉田幼	S47. 4. 11	2, 449	1, 030	1, 419		376			376				
荻幼	S50. 4. 1	1, 665	792	873		709	620	89					
幼 稚 園 計		33, 385	14, 990	16, 353	2, 042	7, 428	3, 843	1, 052	2, 533	12			12

(4) 保育園

保育園名	開設年月日	敷地面積				建 物 面 積				改築年月日
			建 物 敷 地	運動場 敷 地	その他 敷 地	園 舎				
							鉄筋	鉄骨	木造	
富士見保育園	S34. 6. 1	3, 615	682	2, 933		682			682	H1. 3. 6
玖須美保育園	S42. 5. 8	2, 520	1, 034	564	922	1, 262	1, 262			H29. 7. 31
広野保育園	S47. 6. 1	1, 840	579	600	661	579	579			
宇佐美保育園	S51. 4. 1	1, 732	909	823		909	909			
保 育 園 計		9, 707	3, 204	4, 920	1, 583	3, 432	2, 750		682	

4 教職員住宅

市立小中学校の教職員及びその家族に供するため、公立学校共済組合の建設資金を利用して市内４か所に教職員住宅が建設されたが、施設の老朽化に伴い赤坂住宅及び宇佐美住宅を平成２２年度に、富士見住宅及び城星住宅を平成２４年度にそれぞれ使用停止とした。

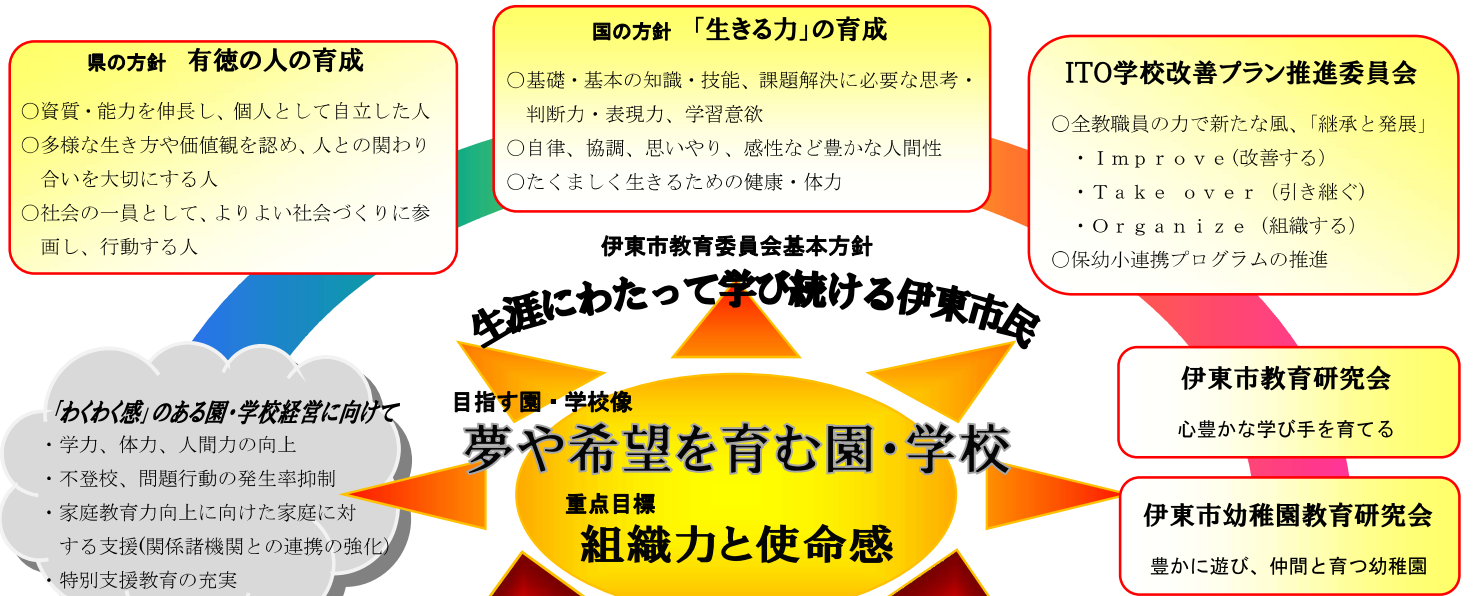
区 分	赤坂住宅	富士見住宅	宇佐美住宅	城星住宅
所 在 地	岡 1292－3	玖須美元和田 729－1	宇佐美 1827－1	玖須美元和田 716－137
建 設 年 度	昭和 39 年度	昭和 40 年度	昭和 43 年度	昭和 38 年度
敷 地 面 積	市 有 地 409. 91 m ²	市 有 地 595. 00 m ²	市 有 地 241. 53 m ²	市 有 地 330. 57 m ²
建 物 構 造	RC 陸屋根 2 階建 1 棟 4 戸 205. 80 m ²	RC 陸屋根 2 階建 1 棟 6 戸 288. 72 m ²	RC 陸屋根 2 階建 1 棟 4 戸 205. 92 m ²	BC 簡易耐火 2 階建 2 棟 4 戸 208. 72 m ²
使 用 停 止 年 度	平成 2 2 年度	平成 2 4 年度	平成 2 2 年度	平成 2 4 年度
備 考	—	平成 2 7 年 5 月 2 9 日 解体完了	—	平成 2 6 年 4 月 2 5 日 用途廃止

5 学校給食センター

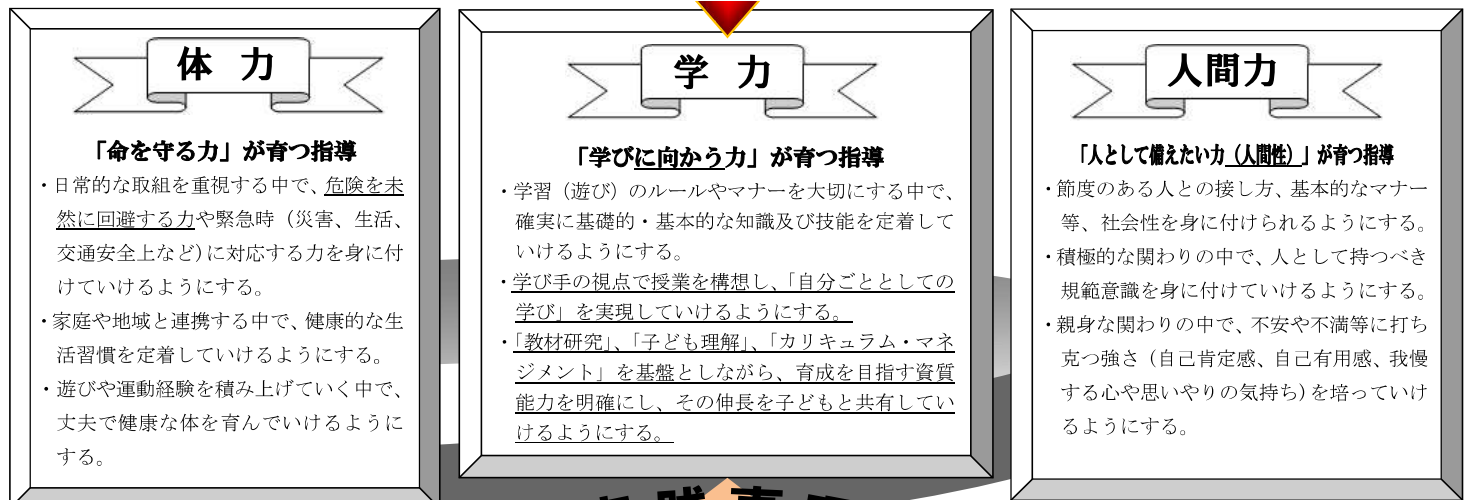
中学校給食の完全実施を行うため伊東市学校給食センターを建設し、平成 2 8 年度 2 学期から小中学校 8 校への給食の調理・配送を開始した。

所 在 地	玖須美元和田 7 2 9 － 1
完 成 年 月	平成 2 8 年 7 月
給 食 開 始	平成 2 8 年 8 月
建 物 構 造	鉄骨造り地下 1 階地上 2 階建
敷 地 面 積	4 , 0 9 3 . 6 2 m ²
延 床 面 積	2 , 5 7 1 . 2 1 m ²
調 理 方 法	ドライ方式
調 理 能 力	1 日最大 3 , 0 0 0 食
給食実施校	東小学校、川奈小学校、大池小学校、南小学校、旭小学校、 南中学校、北中学校、対島中学校

V 学校教育 1 令和元年度 伊東市教育委員会教育指導課 指導の重点



★目指す園・学校像に迫るための指導★



★実践事項★

P
D
C
A

生徒指導に関して

- ◎早くて確実な「報告・連絡・相談」のもと、組織で対応する生徒指導体制を確立する。
- ☆学校の総合力が向上するよう、自己の生徒指導力向上に努める。
- ◎☆自校の不登校・いじめの未然防止及び早期発見・早期対応の取組を確実に実践するとともに、組織としてのシステムを構築する。

- ◎組織としての取組
- ☆教師個々の取組

授業・保育に関して

- ◎「同僚性」を高め、付けたい力に照らして子どもの姿で語り、教員の資質・指導力の向上と授業改善を図る、工夫した園・校内研修を実践する。
- ☆新学習指導要領(幼稚園教育要領)を基にした教材研究と確かな子ども理解<押さえる>から、明確な目標と効果的な手立て<仕掛ける>を構想する。
- ☆子ども自らが学習内容の理解を確かめる場を設定するとともに、評価情報を多面的に収集して子どもの学力を確実に把握し<確かめる>、学力向上に繋げる。
- 【①子ども観 ②教育観 ③教材観 ④指導観 を大切にする】

マネジメントに関して

- ◎子どもの姿から、縦の接続(校種間・学年間)と横の繋がり(学年部)が捉えられる、一体感のある学校を実現する。
- ◎教科等横断的な学習の充実
- ☆緊急時(災害、生活、交通安全上など)に、マニュアルを基に行動できるようにする。
- ☆特別支援教育の理念を正しく理解し、園児・児童生徒への関わり方や授業、環境をユニバーサルデザイン化する。

社会に開かれた特色ある教育課程

きれいな環境・明るい挨拶

★目指す園・学校像を具現化する上での必要条件★

園・学校と地域との信頼関係

組織を機能させる管理職

校長・園長のビジョン 教頭のセンサー

教職員と子どもの信頼関係

2 小・中学校、幼稚園、保育園一覧

(1) 小・中学校一覧

[平成31年4月1日現在]

	施 設 名	電 話	FAX	所 在 地	所 属 長	備 考
小 学 校	東小学校	37-2527	37-2526	大原二丁目2-6	飯 田 俊 光	
	西小学校	37-2049	37-4373	幸町1-5	小 形 丈 晴	
	川奈小学校	45-0279	45-0600	川奈1083-1	鈴 木 義 昭	
	大池小学校	45-0076	45-4579	吉田824-4	井 上 雅 夫	
	宇佐美小学校	48-9014	47-1390	宇佐美1627-1	中 西 直 美	
	八幡野小学校	53-0023	53-4023	八幡野976-1	木 内 健 一	
	富戸小学校	51-0008	51-3963	富戸1203-1	鈴 木 幸 枝	
	池小学校	54-0195	54-0196	池477-2	濱 村 幸 美	
	南小学校	45-0800	45-0801	玖須美元和田716-87	杉 本 博 昭	
中 学 校	旭小学校	36-4000	36-4001	岡1270-1	石 井 晴 彦	
	南中学校	37-2637	37-2842	玖須美元和田729-1	小 田 靖 久	
	北中学校	37-4468	37-5140	湯川360-1	木 梨 晶 功	
	宇佐美中学校	48-9037	48-9975	宇佐美1537-1	齋 藤 秀 輝	
	対島中学校	53-0046	53-1184	八幡野1128-3	稲 葉 高 士	
	門野中学校	37-7746	37-8843	鎌田1281-63	日 吉 基 史	

(2) 幼稚園・保育園一覧

[平成31年4月1日現在]

	施 設 名	電 話	所 在 地	所 属 長	備 考
幼 稚 園	伊東幼稚園	37-2182	桜木町一丁目1-17	三 枝 真 理 子	
	鎌田幼稚園	37-1179	岡66-1	池 田 千 栄 子	
	宇佐美幼稚園	48-9064	宇佐美1602-2	岩 沢 幸 代	
	八幡野幼稚園	53-0395	八幡野1189-55	相 馬 恵 美	
	池幼稚園	54-0296	池469-4	稲 葉 有 芽	
	南幼稚園	45-0802	川奈1190-3	山 田 さ つ き	
	富士見分園	36-6103	玖須美元和田729-1	山 田 さ つ き	
	吉田幼稚園	45-0430	吉田452	近 持 ゆ う 子	
	荻幼稚園	36-6227	荻18-1	大 川 彩 子	
	野間自由幼稚園	37-4503	竹の内1-3-57	吉 久 知 延	私立幼稚園
	伊東聖母幼稚園	37-6099	桜木町1-7-2	マルシャン・ジョフロア	私立幼稚園
保 育 園	富士見保育園	37-2179	玖須美元和田716-129	鈴 木 さ と 子	
	玖須美保育園	36-6380	和田二丁目1-23	稲 本 眞 由 美	
	広野保育園	37-0575	広野三丁目3-28	上 村 眞 理 子	
	宇佐美保育園	47-3004	宇佐美610-20	高 橋 安 子	
	八幡野保育園	54-2700	八幡野1189-170	小坂谷恵美子	公設民営
	伊豆栄光荻保育園	36-6603	荻601-13	根 津 教 一	民設民営
	川奈愛育クラブ	44-1400	川奈1267	林 英 美	民設民営
	伊豆栄光富戸保育園	51-1780	富戸45-1	根 津 宣 孝	民設民営
	伊豆栄光湯川保育園	37-5488	湯川三丁目8-10	力 石 敦 子	民設民営
	つくし保育園	48-7747	吉田584	平 澤 幸 子	民設民営
	伊豆栄光なぎさ保育園(小規模)	55-7473	静海町3-20	大 橋 桂 子	民設民営
	ちゅうりつ保育園(小規模)	55-7855	吉田370	澤 井 伊 佐 子	民設民営
	小規模保育所えん	32-0030	松原771-13	池 田 千 鶴	民設民営

3 令和元年度 教職員配置数

(1) 小中学校教職員数

令和元年5月1日現在(学校基本調査)

学 校 名	教員数													職員数								教職員 合計 (A)+(B)	市臨時職員					総合計		
	本 務 者									兼務者			計 (A)	県職員		市職員							計 (B)							
	校 長	教 頭	主 幹 教 諭	教 諭	養 護 教 諭	養 護 助 教 諭	栄 養 教 諭	講 師	計	教 諭	栄 養 教 諭	講 師		事 務 員	栄 養 士	事 務 員	養 護 教 諭	栄 養 士	調 理 員	用 務 員										
東 小	1	1		10	1				13		1	1	15	1						1	2	17							17	
西 小	1	1		20	1			1	2	26			1	27	1		1			4	1	7	34			1		1		36
川 奈 小	1	1		3	1				1	7	1	1		9	1						1	10						1		11
大 池 小	1	1		15	1				4	22	2	1		25	1		1				1	3	28							28
宇佐美小	1	1		15	1		1	1	3	23			2	25	1							1	26					1		27
八幡野小	1	1		14	1				3	20	1		1	22	1		1		4		7	29					1			30
富 戸 小	1	1		7	1				2	12			1	13	1					2	1	4	17							17
池 小	1	1		7	1				1	11				11	1				1	1		3	14					1		15
南 小	1	1	1	22	1			1	4	31			3	34	2		1				1	4	38							38
旭 小	1	1		7	1				2	12			1	14	1						1	2	16							16
小 計	10	10	1	120	10	1	3	22	177	4	4	10	195	11		4		2	11	6	34	229			1		1	4		235
南 中	1	1	1	30	1			1	6	41	1		1	43	1						1	2	45	1	1					47
北 中	1	1		10			1		2	15			1	18	1							1	19					1		20
宇佐美中	1	1		10			1		1	14			1	18	1							1	19					1		20
対 島 中	1	1		15	1					18	1	1		20	1						1	2	22							22
門 野 中	1	1		15	1				1	19	1			20	1				1			2	22	1				1		24
小 計	5	5	1	80	3	2	1	10	107	3	3	6	119	5				1			2	8	127	1	1				3	132
合 計	15	15	2	200	13	3	4	32	284	7	7	16	314	16		4		3	11	8	42	356	1	2			1	7		367

(2) 幼稚園教職員数

令和元年5月1日現在

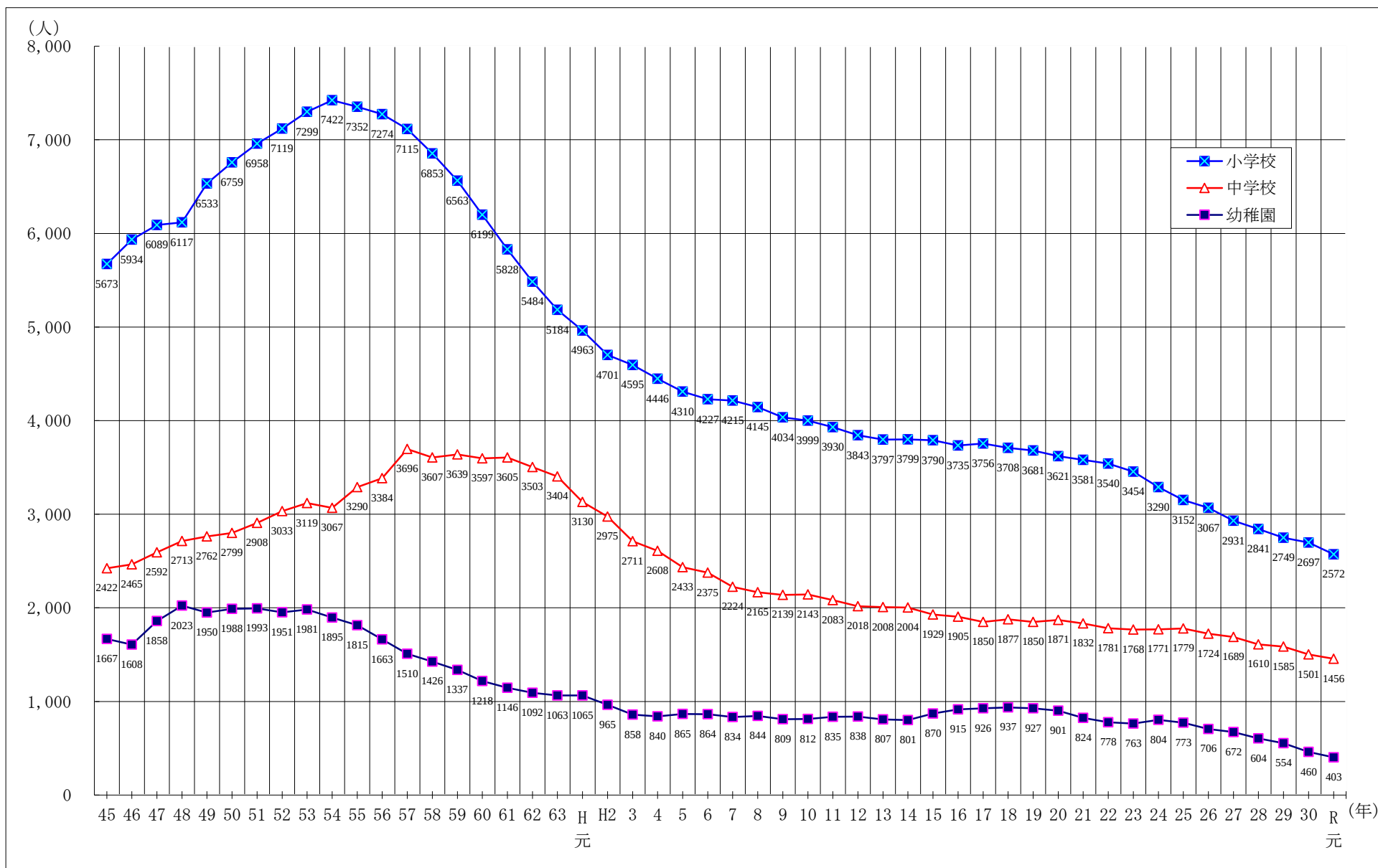
園名	教員数												職員数			教職員 合計 (A)+(B)	教育 補助員	臨時 用務員	委託 用務員	総合計	
	本 務 者								兼務者				計 (A)								計 (B)
	園 長	教 頭	主 幹 教 諭	教 諭	養 護 教 諭	養 護 助 教 諭	講 師	計	園 長	教 頭	教 諭	講 師									
														養 護 教 諭	用 務 員						
伊東幼稚園	1			3				4			1		5		1	1	6	7		13	
湯川分園		(休 園 中)																			
竹の台幼稚園		(休 園 中)																			
新井分園		(廃 園)																			
鎌田幼稚園	1			2			1	4					4				4	1	1	6	
川奈幼稚園		(休 園 中)																			
宇佐美幼稚園	1	1		4				6					6		1	1	7	4		11	
宮川分園		(休 園 中)																			
八幡野幼稚園	1			4			1	6					6		1	1	7	5		12	
富戸幼稚園		(休 園 中)																			
池幼稚園	1			3				4					4				4		1	5	
南幼稚園		1		2			1	4					4				4		1	5	
富士見分園	1	1		4				6					6		1	1	7	4		11	
吉田幼稚園	1			3				4					4		1	1	5	2		7	
荻幼稚園	1			4			1	6					6		1	1	7	4		11	
合 計	8	3		29			4	44			1		45		6	6	51	27	1	2	81

(3) 保育園職員数

令和元年5月1日現在

園名	職 員								臨時職員								合計
	園長	保育副園長	保育士	看護師	栄養士	調理員	用務員	小計	保育士	看護師	保育補助者	子育て支援員	栄養士	調理員	用務員	小計	
富士見保育園	1	1	11			1		14	6		1			4	1	12	26
玖須美保育園	1	1	16	1		2	1	22	7	1	1		1	2		12	34
広野保育園	1	1	8			2		12	5		1	3		2	1	12	24
宇佐美保育園	1	1	14			1		17	4		1			3	1	9	26
計	4	4	49	1		6	1	65	22	1	4	3	1	11	3	45	110

4 園児・児童・生徒数の推移



5 令和元年度 児童・生徒・園児数及び学級数集計表

(1) 小学校

令和元年5月1日現在

学年別 学校別		1 学年				2 学年				3 学年				4 学年				5 学年				6 学年				計			
		男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL
東	普通	17	16	33	1	13	18	31	1	14	16	30	1	13	19	32	1	14	22	36	2	19	12	31	1	90	103	193	7
	知的	1		1		1		1		3	1	4			2	2			1	1		3	2	5	2	8	6	14	2
	計	18	16	34	1	14	18	32	1	17	17	34	1	13	21	34	1	14	23	37	2	22	14	36	3	98	109	207	9
西	普通	17	14	31	1	29	21	50	2	31	17	48	2	24	19	43	2	29	23	52	2	23	28	51	2	153	122	275	11
	知的		1	1						1		1		1		1		1	2	3	1	2	1	3	1	5	4	9	2
	情緒	4	1	5			1	1		2		2	1	1	1	2		2	1	3		2		2	1	11	4	15	2
	計	21	16	37	1	29	22	51	2	34	17	51	3	26	20	46	2	32	26	58	3	27	29	56	4	169	130	299	15
川奈		2	3	5	1	2		2	1	1		1	1		5	5	1	4	5	9	1	5	3	8	1	14	16	30	4
大池		20	30	50	2	40	31	71	3	37	35	72	3	28	39	67	2	28	30	58	2	41	43	84	3	194	208	402	15
宇佐美	普通	28	25	53	2	37	27	64	2	30	20	50	2	23	35	58	2	42	15	57	2	39	31	70	2	199	153	352	12
	知的	2		2						1		1						2		2		3	1	4	2	8	1	9	2
	計	30	25	55	2	37	27	64	2	31	20	51	2	23	35	58	2	44	15	59	2	42	32	74	4	207	154	361	14
八幡野	普通	21	21	42	2	26	22	48	2	24	28	52	2	31	29	60	2	21	30	51	2	34	33	67	2	157	163	320	12
	知的	1	1	2						1		1						1		1		1		1	1	4	1	5	1
	計	22	22	44	2	26	22	48	2	25	28	53	2	31	29	60	2	22	30	52	2	35	33	68	3	161	164	325	13
富戸		5	7	12	1	10	15	25	1	8	5	13	1	11	11	22	1	6	13	19	1	10	11	21	1	50	62	112	6
池		6	6	12	1	9	5	14	1	6	6	12	1	4	3	7	1	7	5	12	1	2	4	6	1	34	29	63	6
南		42	46	88	3	47	39	86	3	62	54	116	4	50	51	101	3	45	65	110	4	52	46	98	3	298	301	599	20
旭		10	7	17	1	22	14	36	2	17	9	26	1	18	10	28	1	13	13	26	1	18	23	41	2	98	76	174	8
計	普通	168	175	343	14	235	192	427	18	230	190	420	17	202	221	423	16	209	221	430	18	243	234	477	18	1,287	1,233	2,520	101
	知的	4	2	6		1		1		6	1	7		1	2	3		4	3	7	1	9	4	13	6	25	12	37	7
	情緒	4	1	5			1	1		2		2	1	1	1	2		2	1	3		2		2	1	11	4	15	2
	計	176	178	354	14	236	193	429	18	238	191	429	18	204	224	428	16	215	225	440	19	254	238	492	25	1,323	1,249	2,572	110

(2) 中学校

令和元年5月1日現在

学年別 学校別		1 学年				2 学年				3 学年				計			
		男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL
南	普通	96	97	193	6	94	82	176	6	119	92	211	7	309	271	580	19
	知的	6		6	1	3	1	4	1	3	3	6	1	12	4	16	3
	情緒				0	1	3	4		2		2	1	3	3	6	1
	計	102	97	199	7	98	86	184	7	124	95	219	9	324	278	602	23
北		25	21	46	2	25	28	53	2	22	22	44	2	72	71	143	6
宇佐美		28	20	48	2	27	22	49	2	31	39	70	2	86	81	167	6
対島		41	31	72	3	52	40	92	3	49	54	103	3	142	125	267	9
門野		50	47	97	3	38	54	92	3	45	43	88	3	133	144	277	9
計	普通	240	216	456	16	236	226	462	16	266	250	516	17	742	692	1,434	49
	知的	6		6	1	3	1	4	1	3	3	6	1	12	4	16	3
	情緒				0	1	3	4		2		2	1	3	3	6	1
	計	246	216	462	17	240	230	470	17	271	253	524	19	757	699	1,456	53

(3) 幼稚園

令和元年5月1日現在

年齢別 園別		3 歳児				4 歳児				5 歳児				計			
		男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL
伊東		7	7	14	1	19	11	30	1	10	10	20	1	36	28	64	3
	湯川	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
竹の台																	
鎌田						2	2	4		5	6	11	1	7	8	15	1
川奈		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
宇佐美		5	9	14	1	10	13	23	1	11	10	21	1	26	32	58	3
	宮川	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
八幡野		12	9	21	1	13	5	18	1	14	16	30	1	39	30	69	3
富戸		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
池		2	5	7	1	2	3	5	1	9	5	14	1	13	13	26	3
南		2	4	6	1					7	5	12	1	9	9	18	2
	富士見	7	12	19	1	7	17	24	1	13	10	23	1	27	39	66	3
吉田		6	3	9	1	3	7	10	1	7	10	17	1	16	20	36	3
荻		5	8	13	1	12	11	23	1	9	6	15	1	26	25	51	3
計		46	57	103	8	68	69	137	7	85	78	163	9	199	204	403	24

(4) 私立幼稚園

令和元年5月1日現在

年齢別 園別		3 歳児				4 歳児				5 歳児				計			
		男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL
野間		28	12	40	2	19	19	38	2	19	20	39	2	66	51	117	6
聖母		1	4	5		5	3	8		3	5	8	1	9	12	21	1
計		29	16	45	2	24	22	46	2	22	25	47	3	75	63	138	7

(5) 保育園(広域受託児童含む)

令和元年5月1日現在

年齢別 園別	0歳児				1歳児				2歳児				3歳児				4歳児				5歳児				計				備 考
	男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL	
富士見					6	7	13	1	5	10	15	1	13	7	20	1	11	12	23	1	15	8	23	1	50	44	94	5	1・2歳児は混合
玖須美	2	1	3	1	6	10	16	1	6	8	14	1	8	9	17	1	12	12	24	1	11	10	21	1	45	50	95	6	
広野					3	4	7	1	9	1	10	1	9	4	13	1	7	11	18	1	7	10	17	1	35	30	65	5	
宇佐美					3	5	8	1	10	10	20	1	12	6	18	1	5	15	20	1	8	13	21	1	38	49	87	5	
八幡野	4	3	7	1	6	6	12	1	8	5	13	1	7	8	15	1	9	9	18	1	10	8	18	1	44	39	83	6	公設民営（指定管理者）
伊豆栄光荻	3	5	8	1	10	5	15	1	8	6	14	1	6	10	16	1	7	9	16	1	11	5	16	1	45	40	85	6	私立保育園
川奈愛育クラブ	2	0	2	1	3	3	6	1	3	3	6	1	5	7	12	1	7	5	12	1	10	5	15	1	30	23	53	6	私立保育園
伊豆栄光富戸	2	2	4	1	6	6	12	1	6	7	13	1	11	7	18	1	7	10	17	1	9	7	16	1	41	39	80	6	私立保育園
伊豆栄光湯川	5	2	7	1	9	4	13	1	9	9	18	1	4	14	18	1	13	5	18	1	8	10	18	1	48	44	92	6	私立保育園
つくし	0	1	1	1	7	5	12	1	9	3	12	1	7	6	13	1	9	6	15	1	8	7	15	1	40	28	68	6	私立保育園
伊豆栄光なぎさ	3	1	4	1	6	1	7	1	5	3	8	1													14	5	19	3	私立小規模保育園
ちゅうりっぷ	1	1	2	1	4	3	7	1	6	2	8	1													11	6	17	3	私立小規模保育園
えん	1	2	3	1	4	1	5	1	1	0	1	1													6	3	9	3	私立小規模保育所
合 計	23	18	41	10	73	60	133	13	85	67	152	13	82	78	160	10	87	94	181	10	97	83	180	10	447	400	847	66	

6 平成30年度 中学校等卒業生の進路

(平成31年3月卒業生)

学校名			南 中	北 中	宇佐美中	対島中	門野中	合計
A 進学者	全 日 制 県 内	公立	133	31	38	80	76	358
		私立	35	12	15	12	18	92
		小計	168	43	53	92	94	450
	全 日 制 県 外	公立		1				1
		私立	2	1	2	1	1	7
		小計	2	2	2	1	1	8
	計		170	45	55	93	95	458
	定時制		6	2		1	3	12
	通信制		7	1	1	3	2	14
	高 専		2		2	1	1	6
	特別支援高等部		7					7
	合計		192	48	58	98	101	497
専修B・ 等入C・ 学D者	専修(高等)							
	一般各種							
	職業能力開発校							
	計							
E	A～Dを除く就職者					1	1	2
F	上記以外のもの		1	1	4	2		8
G	不詳死亡							
H	卒業者総数		193	49	62	101	102	507
就 職 者	Aの内							
	Bの内							
	Cの内							
	計							
進 学 率	A/H		99.5%	98.0%	93.5%	97.0%	99.0%	98.0%
	(A+B+C)/H		99.5%	98.0%	93.5%	97.0%	99.0%	98.0%

7 平成30年度 就学猶予・免除・死亡

学校 区分	小 学 校			中 学 校			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
就学猶予・ 免 除	0	0	0	0	0	0	0	0	0
死 亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0

8 平成30年度 転入・転出児童生徒数

校名 区分		小学校											中学校							総計
		東	西	川奈	大池	宇佐美	八幡野	富戸	池	南	旭	小計	南	北	宇佐美	対島	門野	小計		
市外	転入	4	10	(1) 5	2	(1) 5	8	0	2	2	0	(2) 38	2	1	(2) 2	3	1	(2) 9	(4) 47	
	転出	9	5	1	10	4	0	0	3	5	(1) 3	(1) 40	3	0	1	0	2	6	(1) 46	
市内	転入	3	1	(1) 1	0	1	3	1	1	5	0	(1) 16	4	0	0	0	0	4	(1) 20	
	転出	1	0	0	7	1	2	0	0	1	3	15	0	0	(1) 3	1	1	(1) 5	(1) 20	

※（ ）内は、海外学校及び県立特別支援学校の転入出者数（内数）

9 学 校 給 食

平成30年度 給食内容別実施内訳

区分	調理場	運営 方法	実施校	児童生徒数 (H30.5.1現在)	説明
完全 給食	単独校調理場	直営	注1 西小学校	315人	①小学校 ・1食単価260円（牛乳代を含む。） ・年間平均180回実施 ・月額給食費4,300円11か月徴収
			八幡野小学校	321人	
			富戸小学校	122人	
			池小学校	61人	
		委託	門野中学校	284人	②中学校（門野中学校を除く。） ・1食単価320円（牛乳代を含む。） ・年間平均182回実施 ・月額給食費5,300円11か月徴収

完全 給食	注2 宇佐美小学校 共同調理場	委託	宇佐美小学校	366人	③門野中学校 ・1食単価300円（牛乳代別） ・年間190回稼働・事前予約制
			宇佐美中学校	184人	
	注3 給食センター	委託	東小学校	217人	注釈1 西小学校 ・自校の給食のほか、併設する県立東 部特別支援学校伊東分校の給食も調 理
			川奈小学校	32人	
			大池小学校	438人	
			南小学校	622人	注釈2 宇佐美小学校共同調理場 ・平成26年2学期から開始
			旭小学校	203人	
			南中学校	594人	注釈3 給食センター ・平成28年2学期から開始
			北中学校	145人	
			対島中学校	294人	

10 特別支援学級

障害のある児童・生徒に対する教育のため、伊東市就学支援委員会により、適切な就学支援を行っており、東小学校、西小学校、宇佐美小学校、八幡野小学校及び南中学校に特別支援学級を開設している。また、西小学校に言語通級指導教室及び自閉症及びLD、ADHD 通級指導教室を開設している。

平成31年度の特別支援学級の状況は、小学校4校（東小、西小、宇佐美小及び八幡野小）で9学級52人、中学校（南中）で4学級22人が在籍している。

なお、この他、静岡県立東部特別支援学校伊東分校及び川奈分校がある。

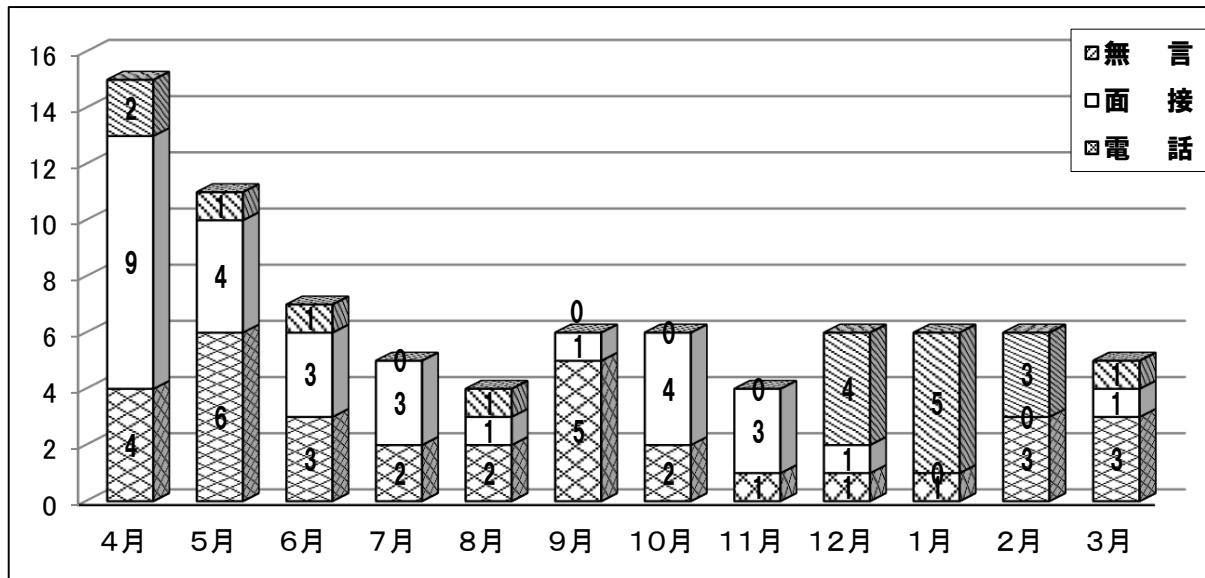
11 研究指定校

伊東市教育委員会研究指定校

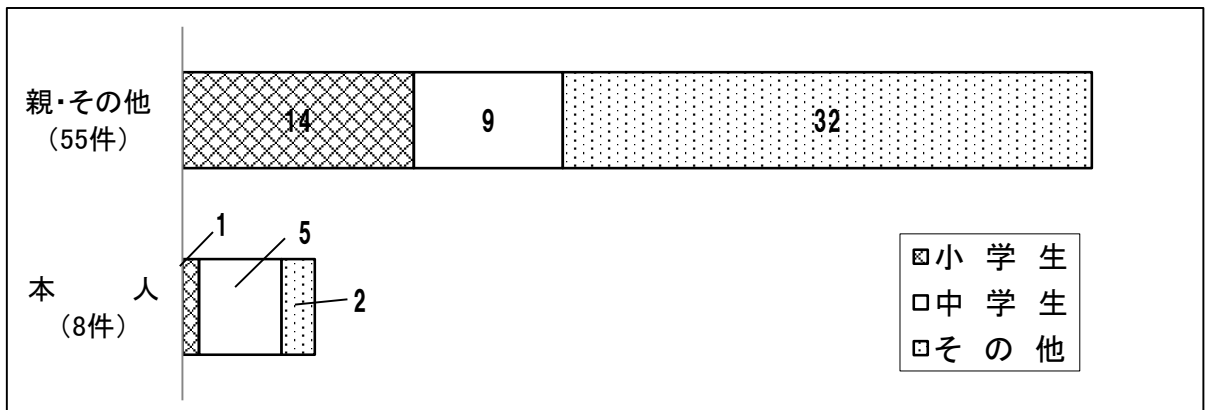
- | | |
|-------------|-------------|
| ・伊東市立池小学校 | 平成30年度～31年度 |
| ・伊東市立対島中学校 | 平成30年度～31年度 |
| ・伊東市立八幡野幼稚園 | 平成30年度～31年度 |

12 平成30年度 教育相談室利用状況

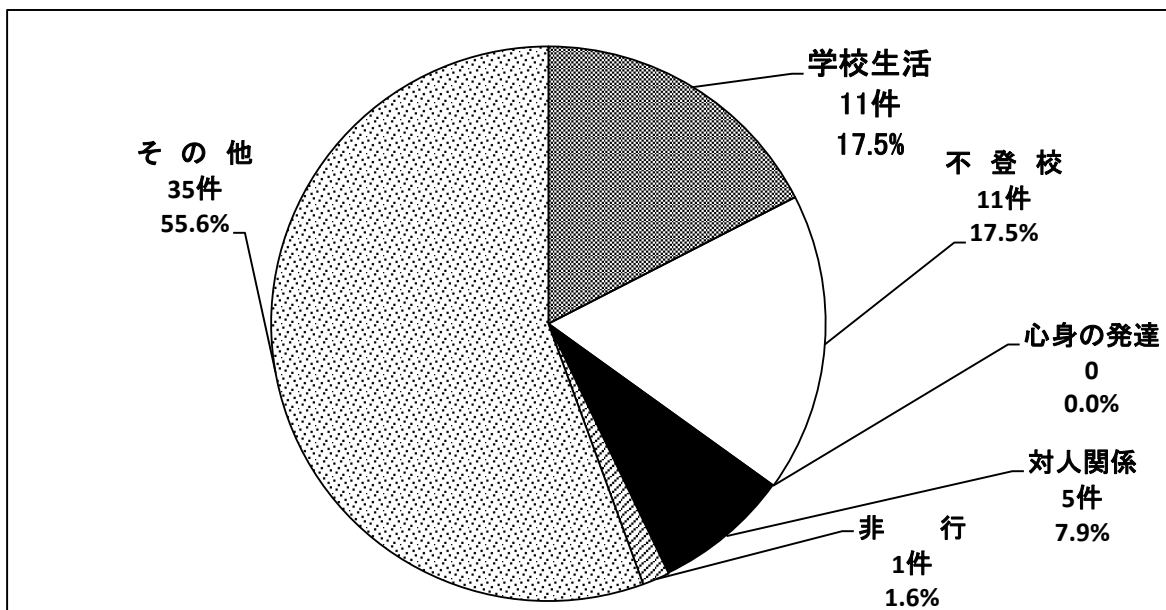
利用状況内訳 電話 33 件、面接 30 件、無言電話 18 件、総計 81 件



相談者内訳 (相談件数 63 件 ※無言電話を除く)



相談内容別割合 (相談件数 63 件 ※無言電話を除く)



13 平成30年度 就学援助費及び奨励費

種 別		小 学 校		中 学 校		合 計	
		人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額
入 学 準 備 費		人 76	円 3,378,000	人 4	円 189,600	人 80	円 3,567,600
学用品及び通学用品費		229	2,784,454	137	3,105,274	366	5,889,728
校外活動費	宿泊あり	37	169,985	0	0	37	169,985
	宿泊なし	212	377,471	72	190,838	284	568,309
給 食 費		229	9,834,772	133	7,135,096	362	16,969,868
修 学 旅 行 費		48	1,219,434	49	2,522,693	97	3,742,127
通 学 費		0	0	6	161,260	6	161,260
体 育 実 技 用 具 費		0	0	16	76,600	16	76,600
医 療 費		36	215,348	5	13,270	41	228,618
特別支援教育就学奨励費		37	885,328	14	1,317,937	51	2,203,265
計		291	18,864,792	158	14,712,568	449	33,577,360

(表中、計欄の人数は実数)

14 平成30年度 日本スポーツ振興センター掛金及び給付金

種 別		掛 金				給 付 金	
		人 数	保護者負担	市負担金	計	件数	金 額
小学校	一 般	2,471	1,037,820	1,297,275	2,335,095	222	1,153,964
	要 保 護	39	0	2,145	2,145		
	準 要 保 護	198	0	141,570	141,570		
	計	2,708	1,037,820	1,440,990	2,478,810		
中学校	一 般	1,355	569,100	711,375	1,280,475	265	1,353,901
	要 保 護	25	0	1,375	1,375		
	準 要 保 護	121	0	127,685	127,685		
	計	1,501	569,100	840,435	1,409,535		
幼稚園	一 般	469	84,420	53,935	138,355	16	107,728
保育園	一 般	415	120,535	35,090	155,625	8	46,212
	要 保 護	4	0	260	260		
	計	419	120,535	35,350	155,885		
合 計	一 般	4,710	1,811,875	2,097,675	3,909,550	511	2,661,805
	要 保 護	68	0	3,780	3,780		
	準 要 保 護	319	0	269,255	269,255		
	計	5,097	1,811,875	2,370,710	4,182,585		

15 令和元年度 使用教科書一覽

(1) 小 学 校

教 科	発 行 所	記 号	学 年
国 語	学校図書(株)	国 語	1・2・3・4・5・6
書 写	学校図書(株)	書 写	1・2・3・4・5・6
社 会	東京書籍(株)	社 会	3・4・5・6
地 図	(株)帝国書院	地 図	4・5・6
算 数	学校図書(株)	算 数	1・2・3・4・5・6
理 科	東京書籍(株)	理 科	3・4・5・6
生 活	東京書籍(株)	生 活	1・2
音 楽	(株)教育芸術社	音 楽	1・2・3・4・5・6
図 工	日本文教出版(株)	図 工	1・2・3・4・5・6
家 庭	開隆堂出版(株)	家 庭	5・6
保 健	東京書籍(株)	保 健	3・4・5・6
道 徳	学校図書(株)	道 徳	1・2・3・4・5・6

(2) 中 学 校

教 科	発 行 所	記 号	学 年
国 語	学校図書(株)	国 語	1・2・3
書 写	学校図書(株)	書 写	1・2・3
社 会	東京書籍(株)	地 理	1・2
	東京書籍(株)	歴 史	1・2・3
	東京書籍(株)	公 民	3
地 図	(株)帝国書院	地 図	1・2・3
数 学	学校図書(株)	数 学	1・2・3
理 科	大日本図書(株)	理 科	1・2・3
音 楽	(株)教育芸術社	一 般	1・2・3
	(株)教育芸術社	器 楽	1・2・3
美 術	日本文教出版(株)	美 術	1・2・3
保 健 体 育	東京書籍(株)	保 体	1・2・3
技 術 家 庭	東京書籍(株)	技 術	1・2・3
	東京書籍(株)	家 庭	1・2・3
英 語	開隆堂出版(株)	英 語	1・2・3
道 徳	東京書籍(株)	道 徳	1・2・3

16 令和元年度 教科指導員

教 科 等	氏 名	校 名	教 科 等	氏 名	校 名
国 語	木 村 岳 則	南 小	技 術 ・ 家 庭	石 井 晴 美	南 中
社 会	吉 良 浩 典	宇 佐 美 小	外 国 語	鈴 木 公 英	北 中
算 数 ・ 数 学	元 矢 記 代 子	南 小	生 活 ・ 総 合	木 村 三 枝 子	富 戸 小
理 科	神 山 健 太 郎	宇 佐 美 中	道 徳	石 井 清 記	八 幡 野 小
音 楽	今 村 圭	南 中	特 別 活 動	高 橋 雪 山	大 池 小
図 工 ・ 美 術	山 口 純 矢	対 島 中	特別支援教育	嶋 田 友 美	宇 佐 美 小
保 健 体 育	鈴 木 美 雪	門 野 中			

17 令和元年度 学校関係団体

団 体 名	代 表 者	事 務 局 所 在 地	団 体 名	代 表 者	事 務 局 所 在 地
校 長 会	小 田 靖 久	南 中	中 体 連	日 吉 基 史	門 野 中
教 頭 会	山 下 晃 広	南 小	中 文 連	木 梨 晶 功	北 中
教 育 研 究 会	杉 本 博 昭	南 小	園 長 会	岩 沢 幸 代	宇 幼 佐 稚 美 園
学 校 保 健 会	山 本 佳 洋	教 委 員 会	P T A 連 絡 協	佐 藤 周	対 島 中

18 令和元年度 伊東市校長会組織分担表

H31.4.1

伊東市校長会

役	氏 名
会 長	小田
副 会 長	木梨
幹 事	小 小形
	中 齋藤
庶務・会計	鈴木幸
監 査	木梨
	井上
厚 生	飯田
	石井
	鈴木幸
	木内
教 頭 会	鈴木義
教務主任会	濱村
教育課程	小 濱村
	中 齋藤
研 修	中西
ITO学校改善	日吉
	稲葉
	中西
幹事会	
会長 副会長・小中幹事・教研会長	

東豆校長会(伊東)

役	氏 名
会 長	小田
幹 事	小 小形
	中 齋藤
研究推進委員	中西
専 門 委 員 会	研究部会
	学校経営 鈴木義
	教育課程 濱村
	生徒指導 稲葉
	特別支援 飯田
	対策・特別委
	人・定・給 木内
	福利・厚生 井上
	進路対策 稲葉
	研究構想 鈴木幸
	顕 彰 会 石井
特別支援学級設置校幹事会	
県校長会代議員	飯田
	小田
人 事	小田
	木梨
中 体 連	日吉
中 文 連	木梨
教員指導力向上	稲葉
東豆教育講演会	小形
厚 生	飯田
会 計	鈴木幸
会計監査	齋藤

市教研

役	氏 名
会 長	杉本
副 会 長	小形
文集編集	齋藤
経 営	鈴木義
国 語	小形
書 写	井上
社 会	木梨
算数・数学	鈴木義
理 科	木内
音 楽	中西
図工美術	井上
保健体育	日吉
技術・家庭	石井
英 語	鈴木幸
生活総合	鈴木幸
道 徳	中西
特別活動	木内
学校保健	稲葉
図 書 館	齋藤
情報教育	石井
特別支援	飯田
生徒指導	稲葉
学校給食	濱村
事 務	濱村

外部団体(市)

役	氏 名
市 P 連 副	稲葉
公民館運営兼社会教育	井上
福 祉 評 協	木梨
交 通 安 全	鈴木幸
青 少 年 委	稲葉
	鈴木義
補導センター 運営委	稲葉
	鈴木義
学 警 連	稲葉
	鈴木義
要保護児童対策 地域協議会	委・稲葉(中)
	担・鈴木義(小)
	担・(養教)
児童館運営	井上
なぎさ協議会	石井(小)
	小田(中)
国税モニター	小形
民生委員推薦	木梨
男女共同参画	中西
子供子育て会議	井上
スポーツ団体担当	飯田(小)
	日吉(中)
総合戦略推進委員会	小田
市文化振興委員会	齋藤
育英奨学選考委	中学校長

外部(県・東部)

役	氏 名
静 教 研	杉本
県教育会館	小田
県学校保健会	稲葉
県学校給食会	濱村
東豆中体連	日吉
東豆中文連	木梨
日本教育会	小田
東豆教育協議会	小田
東豆租税協議会	小田
	井上
学生協組織運営委員会	鈴木
静教研東豆地区 評議員	
(校長代表)	(伊東)
(教員代表)	(熱海)
東豆互助組合	小田

19 大規模・突発地震発生による学校・家庭の対応

●印 突発地震が起きたとき

居場所		登校中	学校にいるとき			下校中	家にいるとき
			授業中	休み時間	放課後		
学校の対応	児童生徒	●家に帰った方が近い者はそのまま家に帰る ●学校に近い者、すでに登校している者は教室へ入る ●大きな塀や屋根の下からはなれる ●海岸に近い場合は、津波を避けるため、できるだけ高い所へ避難する	●机の下に身をかがめる ●教員の指示に従う ●引き渡しにより保護者と下校する	●外にいる場合は、校舎からできるだけはなれる ●教室にいた人は、机の下に身をかがめる ●ゆれがすんだら、教員の指示に従う	●外にいた人は、校舎からできるだけはなれる ●教室にいた人は、机の下に身をかがめる ●ゆれがすんだら、教員の指示に従う	●大きな塀や屋根の下からはなれる ●ゆれがすんだら学校か家の近い方へ行く ●海岸に近い場合は、津波を避けるため、できるだけ高い所へ避難する	●家の人の指示に従う ●自宅に待機する
	職員	●そのまま出勤し、すでに登校した児童の掌握に当たり、人数を正確に把握する ●学校周辺にいる児童生徒を学校に誘導する ●保護者に引き渡す準備をする ●担任以外は係分担に従って行動する	●児童生徒を机の下にもぐらせ、安全を確かめる（被害状況確認） ●児童生徒を運動場へ誘導する ●担任以外は係分担に従って行動する（防災点検） ●児童生徒の人数を確認して「引き渡し」の準備をする	●担任以外は係分担に従って行動する（防災点検） ●ゆれがすんだら教室へ戻り安全を確かめる（被害状況確認）	●学校に残っている児童の人員、安全を確かめる（被害状況確認） ●教室に戻って残留者の有無を確かめる	●学校周辺にいる児童の帰宅指導に当たる ●帰宅不能者の指導管理に当たる ●災害応急対策要員は学校に引返し、学校長の指示に従う ●応援要員は自宅待機	●災害応急対策要員は出勤し、応援要員は学校の指示を待つ（被害状況確認）
居場所		登校中	学校にいるとき			下校中	家にいるとき
家庭の対応	保護者		●火のしまつをする。（ガス栓をしめる、コンセントを抜く） ●学校へ児童を「引き取り」に行く				●火のしまつをする ●津波やがけくずれの恐れのあるところは避難する
	児童生徒		友達の家にいるとき	塾やけいこごとのとき			
避難場所	1次						
	2次						
連絡先							

VI 生涯学習

1 生涯学習の主要施策

(1) 生涯学習社会の進展に向けて

教育行政は「人づくり、地域づくり」のための社会教育のあり方を基調としつつ、地域と家庭、そして学校がそれぞれの役割を明確にし、更なる連携を強化し、生涯学習の基盤充実や各種事業の拡充に努め、生涯学習社会の構築を図っていく。

本市教育委員会では、「心豊かな人を育み、生涯にわたって学習できるまち」を目標に、市民が生涯を通じていつでも、どこでも、いつまでも自由に学習機会を選択して学ぶことができるよう、生涯学習大綱に基づく施策の実施、時代に即応した社会教育の充実、市民一人一文化・スポーツの実践、更にあいさつ運動を日常生活の中で展開すべく、次に掲げる諸施策を積極的に進め、本市教育の振興を図っていく。

(2) 人間形成の基盤を培う家庭教育の充実

近年は、核家族化などもあり親の育児に対する知識や経験が不足し、「わが子を育てる」ことに不安を抱く親が増加していると考えられるため、親の責任意識の醸成を図り、人として生きていくための家庭におけるしつけや思いやりの心を育てるための教育として、地域や学校と連携し、家庭教育や子育てなどの講座や相談体制の充実に努める。

① 家庭教育学級の開設

市内小・中学校及び幼稚園に家庭教育学級を開設するよう呼びかける。

学習課題は、家庭におけるわが子のしつけや一般教養、健康講座などテーマを幅広く取り上げ、学級生相互の情報交換とコミュニケーションの場とする。

② 楽しく学ぶ子育て講座の開設

核家族化や、地域とのつながりが薄れている現代においては、育児への示唆を受ける機会が少ない上、同じ年の子を持つ親同士が触れ合う機会さえ少なくなっている。また年々育児に関する考え方は変わってきており、積極的に育児に関わる父親も増えてきた。

そこで学習を通し、男女を問わず子育てに関わる人の知識を深め、また親の育児への不安を解消するため、同じ育児に関わる人たちの仲間づくりの場として「楽しく学ぶ子育て講座」を開設する。

③ 家庭教育支援活動の実施

すべての親が安心して家庭教育を行えるよう家庭教育支援アドバイザーによる講座を開設し、幼稚園、小・中学校等との連携により、保護者への学習機会の提供等を行う。

ア 家庭教育支援講座

幼稚園、小・中学校における懇談会や家庭教育学級等において静岡県教育委員会が作成した家庭教育ワークシート「つながるシート」を活用した講座を実施する。

イ 親学講座

小・中学校の入学説明会等で新入生保護者を対象とした講座を実施する。

(3) 地域と一体になった青少年の健全育成

子どもの活動の場を地域へ求めているが、青少年の健全育成を目的とした多くの団体は、少子化などもあり活動することが難しくなっている現状がある。

SNS などの普及で青少年を取り巻く環境は急激に変化し、様々な問題が潜在化しているほか、近年は非行の凶悪化や低年齢化、また不登校などの問題もある。こうした事態を重大に受け止め、青少年の問題を大人の問題としてとらえ、まず大人が姿勢を正し、モラルの向上や地域の教育力を高めていくための運動を推進し、青少年の心を育てる大人の輪を広げるための活動を展開していくよう努める。

① 青少年問題協議会

青少年の指導・育成・保護及び総合的施策の樹立のため関係機関及び団体相互の連携を図る。

② 青少年補導センター

青少年の非行・被害を防止するために、各地域及び関係機関などから選任された補導員により街頭補導を実施している。また、地域の有害環境等を調査し、地域の実態に即した環境整備に努める。

③ 青少年の健全育成（組織活動の支援）

青少年の健全育成は、市民すべての願いである。広く市民総ぐるみの運動を展開し、次代を担う青少年の心身の健全な育成が図れるよう、青少年育成市民会議、PTA 連絡協議会等の活動を支援する。

④ あいさつ運動の推進

住民相互のあいさつや声かけは、地域づくりや安全な環境づくりという観点からも、大きな効果が認められることから、青少年にとって、明るく健全な社会環境をつくるため、「あいさつの声が響きあうまちづくり」をキャッチフレーズに、市全体で「あいさつ運動」を推進する。

そこで、趣旨の賛同者を募集するとともに、学校や各団体及び事業所等と連携を図り、組織的にあいさつの輪を広げていき、地域住民一人一人が地域への所属感をもち、より良い人間関係を構築するための一助として、この「あいさつ運動」を展開していく。

また、県の「青少年の非行・被害防止強調月間（7月）」と「子ども・若者育成支援強調月間（11月）」に併せて「伊東市あいさつ運動市民一斉活動」を年2回開催する。

⑤ 少年教育

近年の子どもたちは室内での遊びを好み、地域に出て、自然や文化に触れる機会や地域の仲間と一緒に遊ぶといった直接体験をすることが少なくなっている。

将来に向けて、少年たちの人間性豊かな人格の形成を図るため、市主催事業などを通じて、集団的な体験学習を通じてのルールへの尊重、責任感、協調性などを学ぶ機会を提供する。

ア 小学生ふるさと教室

小学5・6年生を対象に、郷土の史跡や文化に触れるとともに、園芸や漁業、伝統行事など様々な体験を通じ、郷土・伊東を学び、伊東を愛する心を育てることを目的として、年間を通じた教室を開催する。

イ わたしの主張発表会

市内5中学から選抜された10人の中学生たちが、日ごろ、家庭・学校・地域及び仲間について思っていることを広く市民に訴え、社会の一員としての自覚を高める契機とし青少年の健全育成に対する市民の理解と関心を深める。

ウ 小学生の船

小学5・6年生を対象に、大島での2泊3日の船旅を体験させ、海洋についての学習のほか、仲間を通じて友情・責任・協調・忍耐の精神と社会性を養う。

エ 放課後子ども教室推進事業

少子化や核家族化の進行、就労形態の多様化及び家庭や地域の子育て機能・教育力の低下など、子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、放課後等に子どもが安心して活動できる場の確保とともに、次世代を担う児童の健全育成として支援していく。

オ リーダー養成事業「夢チャレンジくらぶ」

年少者を指導育成する能力を備えるため、小学生ふるさと教室にリーダーとして参加し、共に郷土を学びながら活動を通して社会性やリーダーシップを培う。

カ 善行賞

子どもたちの善い行いを、できるだけ多く認め、励まし、その行いの輪を広げるとともに、人や社会のために進んで行動しようとする意欲を高めるため、各校及び地域から推薦された児童・生徒を表彰する。

⑥ 青少年健全育成活動応援補助金

本市の未来を担う青少年の健全育成を推進するために行う活動に対し、伊東市青少年健全育成活動応援補助金を交付する。（平成30年度新規事業）

⑦ 成人式

新成人の晴れの門出を祝うため、平成11年4月2日～平成12年4月1日生まれの方を対象に、成人式を開催する。

(4) 心豊かな人生をつくり出す生涯学習講座の充実

市民が「いつでも、どこでも、いつまでも」生涯にわたって学べるよう、生涯学習講座の充実を目指す。急速な科学技術の発達、少子高齢化、多様な情報化などにより、私たちの生活環境は大きく変化し、市民は、より高度で多様な生涯学習の機会を求めている。これらの要求に応えるため、生涯学習センター中央会館を学習拠点とし、ひぐらし、池、赤沢、荻の各会館や各コミュニティセンターを活用した成人向けの講座・教室・学級を開設するとともに、生涯学習自主グループの活動についても支援していく。

① 市民大学講座の開設

公民館事業の一環として、昭和56年度から開設した市民大学講座は、講座修了者のアンケートから希望の講座を把握し、次回以降の講座で取り入れるほか、市民の生涯学習ニーズに応えられる内容も取り入れるよう努める。

② 女性教育

女性の個性と能力があらゆる分野で発揮されることが、社会の安定と発展のた

めにますます重要となっていることから、女性連盟の活動に対して補助を行い、女性リーダーとしての資質の向上を図る。

③ いでゆ大学

高齢者の豊富な人生経験を社会に活かしながら、自らも余暇を楽しむための学習機会を提供することを目的として「いでゆ大学」を開設する。

また、講座の卒業者が自主的に運営する「いでゆ大学 OB 会」も支援していく。

④ 市民憲章の実践

昭和42年8月市制施行20周年を記念して制定された「伊東市民憲章」の実践活動は、社会教育活動でもあるので、機会あるごとに市民憲章の唱和をし、周知を図る。

⑤ 生涯学習施設

名 称	開設年月日	敷地面積	建物面積	施 設 内 容
生涯学習センター 中央会館	昭和55年 10月1日	m ² 2,123	m ² 1,520	鉄筋4階建、 第1・2会議室、第1・2和室、 第1・2研修室、視聴覚室、 美術工芸室、トレーニング室兼展示室
生涯学習センター ひぐらし会館	平成6年 12月1日	463	1,787	鉄筋3階建 第1・2会議室、ホール・楽屋 トレーニング室、和室、 幼稚園遊戯室
生涯学習センター 池会館	平成8年 8月2日	2,676	1,102	鉄筋3階建 大会議室、小会議室、和室、 ホール、図書コーナー、 健康コーナー、調理室
生涯学習センター 赤沢会館	平成10年 7月1日	561	703	鉄筋3階建 大会議室、和室、調理室、 図書コーナー、健康コーナー
生涯学習センター 荻会館	平成13年 12月1日	1,283	1,286	鉄筋3階建 大会議室、児童室兼会議室 図書コーナー、和室、調理室、 トレーニング室

(5) 図書館・文化ホール建設に向けた検討会

平成30年10月17日に図書館及び文化ホールの建設候補地及び建設形態について検討する有機者会議を発足した。

本検討会においては、平成30年3月に策定した『図書館・文化ホール建設に向けた整備の方向性』をたたき台として、地域タウンミーティングや未来ビジョン会議の情報を共有しつつ、多様化及び高度化する利用者ニーズ等に対応した本市にふさわしい施設建設に向けた検討を進めた。【平成30年度、計4回開催】

(6) 郷土に根ざした香り高い文化の振興

市民の生涯学習に対する関心はますます高くなり、心豊かで生き甲斐のある生活を創造するための芸術文化の振興は大きな役割を担っている。

地域の香り高い文化を創造するため、「市民一人一文化」を掲げ、芸術祭、姉妹都市との交流など、文化協会をはじめとする関係団体等の協力を得る中で、より多くの市民の文化活動への参加を求める一方、関係団体の活動を援助する。

また、文化財の保護、保存に努めるとともに、市民が文化財に愛着をもち、身近に接することができるよう、「文化財講座」などを通じ、文化財に親しむ機会を拡充し、文化財愛護の精神を育てる。

① 芸術祭の開催

市民が芸術・文化に触れる機会を提供するため、市芸術祭を開催する。

② 姉妹都市との交流

市文化協会をはじめ、市内関係団体による姉妹都市「諏訪市」との交流を図り、両市民の文化の交流・発展に努める。

③ 観光会館文化芸術事業の開催

観光会館での文化芸術事業として、舞台公演等を実施する。

④ 全国絵画公募展 I Z U B I ファイナルの開催

「I Z U B I F I N A L」と題し、I Z U B I 最後の審査会・展覧会を開催する。

⑤ 拓本コンクールの開催

本市所在の文学碑を対象に、全国公募の拓本コンクールを開催し、文学碑の有効利用を図る。

⑥ 文化団体の育成

市民の自主文化活動を支援するため、諸文化団体を包括する文化協会の活動を援助し、その育成に努める。

⑦ 文化財の保護

文化財は、先人から受け継がれた市民の共有財産である一方、時の経過とともに失われるものも多いため、有形無形の文化財の現状を把握し、保護対策に努めるとともに、文化財に対する理解を深め、愛護思想を普及し郷土愛を育む。

また、埋蔵文化財については、包蔵地を把握して広く一般に周知するとともに、開発行為との調整により保護が困難である場合は、発掘調査を実施し、記録保存の形で先人の遺産を永く後世に伝える。

⑧ 文化財管理センター

伊東市文化財管理センターにおいては、市内から出土した埋蔵文化財や市民から寄贈された民俗資料などを集中的に管理保管し、その一部を展示公開している。

また、小学生を対象に夏休みに古代体験教室を実施している。

(月曜日休館)

名 称	開設年月日	敷地面積	建物面積	施 設 内 容
文化財管理センター	平成 8 年 4 月 1 日	2,178㎡ 幼稚園園 庭を含む	1,836㎡	鉄筋地下 1 階地上 3 階建 展示室・収蔵室・図書資料室 ・編集室・展開室・写真資料 庫・暗室・機材庫

平成 30 年度の文化財管理センター入館の状況

開館日数 310 日 入館者 1,601 人 1 日平均入館者 5.2 人

⑨ 郷土資料館

郷土資料館の建設については、観光資源としての活用も含め、構想を具体化するための研究協議を継続していく。

⑩ 木下奎太郎記念館

昭和 60 年度に開館した市立木下奎太郎記念館の整備を進め、資料の収集充実を図るとともに、特別展を初め、ミニ展示・特集展示等を開催する。

平成 30 年度木下奎太郎記念館入館者状況

開 館 日 数		306 日
有料入館者	大 人	3,741 人
	小 人	48 人
無料入館者	大 人	1,979 人
	小 人	412 人
合 計		6,180 人
一 日 平 均		20.2 人



木下奎太郎記念館

(7) 伊東市史資料管理事業

伊東市の原始時代から現代にいたる先人の歩みを明らかにし、これまでに発見された新たな歴史資料や研究の成果を取り入れ、市民の郷土に対する理解を深め、次の世代に歴史、文化を継承していくことを目的として、平成 11 年度から伊東市史編さん事業として、伊東市史資料編等を発刊してきた。

平成 29 年度からは市史資料管理事業として、収集された歴史資料の管理や公開を行うとともに、より伊東の歴史をわかりやすく解説する通史編を刊行しており、平成 30 年度は『伊東市史通史編 伊東の歴史Ⅱ江戸時代』を刊行した。

市史編さん事業で刊行された出版物

伊東市史 史料編 『考古・文化財』、『古代・中世』、 『近世Ⅰ』、『近世Ⅱ』、『近現代Ⅰ』、『近現代Ⅱ』	
伊東市史別編 『伊東の自然と災害』	図説 伊東の歴史
市史調査報告 第 1 集～第 3 集	伊東市史研究 1 号～11 号
伊東市史叢書 第 1 集～第 6 集	伊東市史通史編Ⅰ、Ⅱ

2 平成30年度 生涯学習講座参加実績

(1) 市民大学講座

	開設講座名	種類	講師	開設時期・時間	回数	募集人数	申込人数	受講人数	皆勤者出席率	備考
前期	パソコン講座1 初めてのキーボード入力！	講・実	片山 博幸	6月26日、7月3日、10日、17日、24日、31日 火曜日 13:00～14:30	6回	20人	4人	4人	4人 100.0%	平均年齢67.0歳 会場 ひぐらし会館
	パソコン講座2 基本からしっかり学ぼう Excel2016	講・実	片山 博幸	6月26日、7月3日、10日、17日、24日、31日 火曜日 15:00～16:30	6回	20人	11人	11人	8人 92.4%	平均年齢59.8歳 会場 ひぐらし会館
	初めての川柳	講・実	増田 國雄	6月27日、7月4日、11日、18日、25日 水曜日 13:30～15:30	5回	20人	11人	11人	8人 96.4%	平均年齢69.8歳 会場 ひぐらし会館
	Let's身につく 旅行英会話	講・実	野田 誠	6月27日、7月4日、11日、18日、25日、8月1日、8日 水曜日 10:00～12:00	7回	15人	29人	22人	6人 81.8%	平均年齢66.2歳 会場 中央会館
	タルヘテリア	講・実	栗木 紘子	6月29日、7月6日、13日、20日、27日、8月3日 金曜日 10:00～12:00	6回	10人	15人	15人	9人 92.2%	平均年齢65.9歳 会場 ひぐらし会館
後期	パソコン講座1 はじめてのウィンドウズ10	講・実	片山 博幸	10月31日、11月7日、14日、21日、28日、12月5日 水曜日 13:00～14:30	6回	20人	8人	9人	5人 92.6%	平均年齢67.6歳 会場 ひぐらし会館
	パソコン講座2 ワードで暮らしの書類にチャレンジ	講・実	片山 博幸	10月31日、11月7日、14日、21日、28日、12月5日 水曜日 15:00～17:00	6回	20人	7人	6人	5人 97.2%	平均年齢68.1歳 会場 ひぐらし会館
	魚のさばき方 教室	講・実	福田 素士	10月29日、11月16日、12月13日 9:30～12:00	3回	16人	34人	16人	14人 95.8%	平均年齢61.8歳 会場 健康福祉センター
	Let's 身につく 基本の日常英会話	講・実	野田 誠	10月31日、11月7日、14日、21日、28日、12月5日 水曜日 10:00～12:00	8回	20人	16人	16人	4人 73.4%	平均年齢63.3歳 会場 ひぐらし会館
	生活に役立つ アロマ	講・実	近藤 恵美	11月1日、15日、29日、12月6日、20日 木曜日 13:30～15:00	5回	20人	22人	22人	15人 97.3%	平均年齢59.3歳 会場 ひぐらし会館 一部 中央会館

合 計	10講座	58回	受講者総数	152人	58回	181人	157人	132人 (26人)	78人 91.9%	平均年齢 64.9歳
-----	------	-----	-------	------	-----	------	------	---------------	--------------	---------------

(2) その他講座等

教室・講座	講師名	開設期間	回数	主な内容	参加人員
小学生ふるさと教室	生涯学習課職員 ほか	H30年5月 ～H31年2月	15	キャンプ・農林園芸 体験・お飾りづく り、まくら投げ体験 ほか	受講生 42 人 延べ 481 人
平成 30 年度わたしの主張発表会	藤田弓子	H30 年 11 月	1	中学生 11 人による 意見発表会	191 人
夢チャレンジくらぶ	生涯学習課職員 ほか	H30 年 5 月 ～H31 年 2 月	15	青少年リーダーの 養成を目的とする 年少者への指導育 成	受講生 8 人 延べ 76 人
小学生の船	生涯学習課職員 ほか	H30 年 8 月	1	伊豆大島での体験 活動と宿泊訓練等 事前・事後研修	参加者 33 人 24 人（児童） 9 人（指導員）
楽しく学ぶ子育て講座	上原佐恵子 ほか	H30 年 5 月 ～H30 年 11 月	14	子育てに関する講 話 一般教養（料理等）	受講生 25 人 延べ 247 人
いでゆ大学	加藤好一 ほか	H30 年 5 月 ～H31 年 2 月	20	趣味教養の充実、 仲間づくり	受講生 55 人 延べ 937 人
家庭教育学級	学級長ほか	H30 年 5 月 ～H31 年 2 月	26 講座	7 小学校の父母が学 習	参加者 568 人
家庭教育支援講座	家庭教育支援 アドバイザー	H30 年 5 月 ～H31 年 2 月	13	つながるシートを 活用した講座等	参加者 延べ 362 人

3 伊東の文化財

(1) 指定・登録・記録選択文化財一覧

指定区分	種 別	名 称	指定年月日	備 考（所在など）
国	天 然 記 念 物	葛見神社の大クス	昭和 8 年 2 月 28 日	岡
〃	天 然 記 念 物	八幡宮来宮神社社叢	昭和 9 年 8 月 9 日	八幡野
〃	天 然 記 念 物	蓮着寺のヤマモモ	平成 11 年 1 月 14 日	富戸
〃	天 然 記 念 物	大室山	平成 22 年 8 月 5 日	池、富戸
〃	史 跡	江戸城石垣石丁場跡	平成 28 年 3 月 1 日	宇佐美
県	工 芸 品	太刀銘大和則長作	昭和 30 年 4 月 19 日	玖須美
〃	天 然 記 念 物	天照皇大神社社叢	昭和 42 年 10 月 11 日	玖須美・芝町
〃	天 然 記 念 物	林泉寺のフジ	昭和 45 年 6 月 2 日	荻
〃	天 然 記 念 物	比波預天神社のホルトの木	昭和 57 年 2 月 26 日	宇佐美
〃	無 形 民 俗	新井の大祭り諸行事	平成 5 年 3 月 26 日	新井・西暦奇数年 1 月 7 日
〃	有 形 民 俗	富戸の魚見小屋	平成 7 年 3 月 16 日	富戸
〃	建 造 物	八幡宮来宮神社本殿・渡殿及び拝殿	平成 11 年 3 月 15 日	八幡野
〃	彫 刻	木造宝冠阿弥陀如来坐像	平成 21 年 3 月 23 日	宇佐美・花岳院
市	史 跡	伊東家の墓	昭和 40 年 10 月 23 日	玖須美・音無町
〃	史 跡	河津三郎祐泰の血塚	昭和 41 年 7 月 25 日	八幡野
〃	天 然 記 念 物	ヒメユズリハ群落	昭和 42 年 1 月 11 日	富戸・城ヶ崎門脇駐車場付近
〃	天 然 記 念 物	音無神社のタブの木	昭和 43 年 6 月 7 日	玖須美・音無町
〃	天 然 記 念 物	最誓寺のソデツ	昭和 44 年 6 月 23 日	玖須美・音無町
〃	天 然 記 念 物	山神社のムクの木(群落)	昭和 45 年 5 月 12 日	荻
〃	天 然 記 念 物	伊吹ビヤクシン	昭和 45 年 5 月 12 日	池・旧ホテル伊豆高原
〃	工 芸 品	八幡宮来宮神社神輿（2 基）	昭和 45 年 5 月 12 日	八幡野
〃	史 跡	木下奎太郎生家	昭和 45 年 5 月 12 日	湯川・木下奎太郎記念館奥の建物
〃	工 芸 品	八幡宮来宮神社屋台	昭和 50 年 9 月 8 日	八幡野
〃	天 然 記 念 物	高見のシイの木	昭和 51 年 5 月 12 日	八幡野
〃	工 芸 品	杉崎神社の鰐口	昭和 51 年 12 月 2 日	松原神社内
〃	建 造 物	天照皇大神社本殿	昭和 54 年 2 月 27 日	玖須美・芝町
〃	天 然 記 念 物	音無神社のシイの木	昭和 54 年 9 月 26 日	玖須美・音無町
〃	史 跡	伝・伊東祐親の墓所	昭和 54 年 9 月 26 日	玖須美・大原町
〃	彫 刻	浜崎家の木造毘沙門天立像	昭和 63 年 4 月 26 日	宇佐美
〃	建 造 物	旧木造温泉旅館東海館	平成 11 年 3 月 30 日	松原・東松原町
〃	建 造 物	三島神社本殿 附棟札 2 枚	平成 11 年 3 月 30 日	富戸
〃	工 芸 品	阿原田八幡神社の鰐口	平成 14 年 3 月 28 日	宇佐美(市に寄託)
〃	天 然 記 念 物	かんのん浜ポットホール	平成 14 年 3 月 28 日	八幡野・自然研究路
〃	史 跡	吉田隧道	平成 15 年 5 月 22 日	吉田・東大池
〃	典 籍	鳴戸吉兵衛写本「伊東誌」	平成 15 年 5 月 22 日	玖須美・物見が丘
〃	歴 史 資 料	元禄地震津波供養塔(行蓮寺、佛現寺、恵鏡院)	平成 18 年 3 月 28 日	宇佐美、玖須美・物見が丘、川奈
〃	天 然 記 念 物	大室山スコリアラフト	平成 22 年 5 月 26 日	池・さくらの里内
〃	史 跡	江戸城に係る石丁場遺跡	平成 23 年 9 月 16 日	宇佐美・洞ノ入 I・II 遺跡
〃	天 然 記 念 物	城ヶ崎海岸燕島のアマツバメ集団生息地	平成 27 年 6 月 30 日	富戸
〃	無 形 民 俗	伊東市内の鹿島踊(宇佐美八幡、初津、湯川、新井、富戸)	平成 27 年 6 月 30 日	宇佐美、湯川、新井、富戸
〃	建 造 物	比波預天神社本殿 附棟札 2 枚	平成 29 年 4 月 18 日	宇佐美
〃	史 跡	鎌田城跡	平成 29 年 10 月 19 日	鎌田
〃	史 跡	東浦路(朝善寺道標-網代峠区間)	平成 30 年 4 月 19 日	宇佐美
国・登録有形	建 造 物	旅館いな葉	平成 10 年 9 月 2 日	松原・(現)ケイズハウス伊東温泉
〃	建 造 物	旧伊東警察署松原交番(伊東観光番)	平成 21 年 1 月 8 日	松原・(現)伊東観光番
〃	建 造 物	伊東市立木下奎太郎記念館	平成 27 年 3 月 26 日	湯川
〃	建 造 物	川奈ホテル本館	平成 28 年 2 月 25 日	川奈
〃	建 造 物	川奈ホテル田舎家	平成 28 年 2 月 25 日	川奈
国・記録選択	無 形 民 俗	東伊豆地方に伝わる伝統芸能「鹿島踊」	平成 17 年 1 月 21 日	宇佐美、湯川、新井、富戸

(2) 埋蔵文化財

番号	遺 跡 名	時 代	種 別	所 在 地	地 目	主な遺物等	備考(発掘調査年など)
1	桜 田	中・近世	散布地	宇佐美字桜田	小学校ほか	陶磁器・木器	1990、2000
2	小 丸	縄文(早・前)	〃	宇佐美字小丸	宅地・山林	土器・石器	
3	洞ノ入	縄文(早・前)	〃	宇佐美字洞ノ入	山 林	石 冠	
4	北 田	中 世	〃	宇佐美字北田	宅 地	陶磁器	1992
5	離山峡	縄 文	〃	宇佐美字平戸	山 林	土器・石器	
6	寺中・金草原	奈良・平安	生産遺跡	宇佐美字稲田	宅地・畑地	土器・製鉄炉	1992、2007
7	安立寺	縄 文	散布地	宇佐美字桑原	境 内	土 器	
8	池ノ段古墳	古 墳	古 墳	宇佐美字池ノ段	山 林		
9	寺久保	縄・古・奈・平	散布地	宇佐美字寺久保	宅地・畑地	土 器	
10	留田天神	縄文・古墳	〃	宇佐美字宮の脇ほか	宅地・畑地	土 器	2015 試掘
11	宇佐美城	縄文・古墳・中世	散布地・城跡	宇佐美字城山	宅地・山林	土塁、土器	1988 試掘
12	離山横穴群	古 墳	横穴墓	宇佐美字ハナレ山	山 林	横穴式石室6基	
13	東留田海中	縄文(早)	散布地	宇佐美字磯部	海 浜	土 器	1957、1999、2000
14	宇佐美	縄文・古墳・中世	集落跡	宇佐美字横枕ほか	宅 地	土器・石製品・住居跡	1987～88、1992～93、1998～2004、2008
15	宇佐美中学校	古墳・近現代	〃	宇佐美字杉本	中学校ほか	土器・軍施設	1995、2001、2003、2005
16	円応寺	縄 文	散布地	宇佐美字峰坂	宅 地	磨製石斧	2009
17	田 中	縄・古・奈・平	集落・製鉄	宇佐美字田中	宅地・畑地	土器、住居跡	2011 試掘
18	上ノ山	古 墳	散布地	宇佐美字上ノ山	畑地・山林	土 器	
19	宇佐美田代	縄文・古墳	〃	宇佐美字田代	宅地・畑地	土器・石器	
20	天神畑	縄文(中)	〃	湯川字天神畑	山 林	土器・石器	2014 試掘
21	伊東駅構内古墳	古 墳	古 墳	湯川三丁目	駅構内	直刀・土器	1938(消滅)
22	湯川幼稚園	古・奈・平・中・近世	散布地	湯川二丁目	幼稚園・宅地	土 器	1986、1996、2002
23	湯川幼稚園古墳群	古 墳	古 墳	〃	〃	横穴式石室2基	1913、2001、2003、2004
24	湯端町	古 墳	散布地	松原湯端町	宅 地	土 器	
25	寺 山	縄文(中・後)、古代	〃	松原字寺山	〃	土器・石器	
26	西小学校	古 墳	集落跡	岡広町ほか	〃	土 器	1989、1994、1996、2005、2012、2015、2017
27	日 暮	縄・弥・古・中世	〃	桜木町一丁目	〃	環濠、住居跡	1990、1992、1997、2000、2004、2016、2017
28	上の坊	縄・古・中世	散布地	音無町	〃	土器・石器	1937、1976、2009、2013
29	水道山	縄文(早・前)	〃	岡字水落	〃	土器・石器	2008
30	広 野	古 墳	〃	広野一丁目	〃	土 器	2004、2006、2013
31	竹の台	縄・弥・古・奈・平	〃	岡字竹の台	〃	住居跡、石製品	1989、1992、1997、1999
32	玖須美館	中 世	城館跡	和田二丁目	境 内		
33	井戸川	縄・古・奈・平・中	集落跡	〃	宅 地	和同開称・土偶	1981、1983、1989、2010、2012、2014、2017
34	妙隆寺経塚	古墳・中世	経 塚	〃	境 内	一字一石経塚	1984
35	塚 畑	縄・古・中世	散布地	新井一丁目	宅地・畑地	土器・石器	
36	塚畑古墳	古 墳	古 墳	〃	畑 地	直刀・玉類	1957
37	東小学校	縄 文	集落跡	〃	宅地、学校、役所	住居跡	1991～92、1994、1997、2014、2017
38	東小学校古墳	古 墳	古 墳	大原二丁目	役 所	周 溝	1993
39	大 原	縄文(早・前・中)	集落跡	大原一丁目	宅地・畑地	土器・石器	1989、2012、2014、2016、2018
40	猪 戸	〃	散布地	松原字寺山	〃	土器・石器	1969、1974
41	保代口C	縄文・弥生・古墳	集落跡	玖須美元和田字保代口	宅 地	方形周溝墓、管玉	1996

42	東林寺朝日山経塚	中世	経 塚	岡字寺の上	山 林	鏡・陶磁器	1909
43	瓶 山	古 墳	散布地	岡字寺の上	山 林	土器・石器	
44	蔵が久保	縄文(早)	〃	鎌田字蔵ヶ久保	畑地、山林	土器・石器	
45	土が久保	縄文(早・前)	〃	〃	〃	土器・石器	
46	柏 峠	〃	〃	鎌田字阿原ヶ沢ほか	山林、原野	土器・石器	2001 確認
47	長美代	縄文(前・中)	集落跡	玖須美元和田字長美代	宅地、畑地	住居跡・土器	1991、2010、2014、2016
48	逆 川	縄文(早・前・中)	散布地	玖須美元和田字逆川	〃	土器・石器	
49	南中学校	縄文(早)	〃	玖須美元和田字茶野	中学校	土器・石器	1983、2004
50	赤 坂	縄文(中)	集落跡	岡字藤曲り	宅地、畑地	土器・石器	2006
51	水無田	〃	散布地	玖須美元和田字水無田	宅 地	土器・石器	2016、2017
52	西鬼ヶ窪	縄文(中)	集落跡	川奈字西鬼ヶ窪	宅地、畑地	住居跡・土器	1995、2009、2012、2015
53	保代口	〃	散布地	玖須美元和田字保代口	〃	土器・石器	
54	城 星	〃	〃	玖須美元和田字右城星	〃	土器・石器	
55	滝が沢	縄文(前)	〃	玖須美元和田字滝ヶ沢	〃	土器・石器	
56	泉	縄文(中)	〃	岡字石原田	〃	土器・石器	
57	見返し	〃	〃	鎌田字見返し	畑 地	土器	
58	西門野	〃	集落跡	鎌田字西門野	畑地、山林、球場	土器・石器	1984、1986、1988、1991、1992
59	前城平	縄文(前・中)	〃	鎌田字城平	宅 地	土器・石器	1993、1994
60	門 野	縄 文	〃	鎌田字門野	畑 地	土 器	2010、2015
61	鎌田城	中 世	城館跡	鎌田字田平ほか	水田、山林	空 堀・土 塁	2002、2003 確認
62	奥 野	縄文(早)	散布地	鎌田字新林	畑 地	土器・石器	1990
63	養護老人ホーム	縄文(早～中)	〃	荻字笹原	宅地、原野	土器・石器	1989、2007
64	ジンジ山	縄文・古墳・奈良	集落跡	吉田字北川	宅地、公園	炭化米・住居跡	1995～1997
65	コウドウ	縄文・古墳・中世	散布地	川奈字コウドウ	宅地、畑地	土器・石器	2008 試掘
66	川奈台場	近 世	砲台跡	川奈字燈明平	ゴルフ場敷地	土 塁	
67	三の原	縄文(早・前)	集落跡	富戸字大平	宅地、畑地	土器・石器	1989、2003、2005
68	芦田原	縄文(早・中)	散布地	富戸字芦田原	畑地、山林	土 器	1999
69	クズレ	縄文(早・前)	集落跡	富戸字クズレ	宅 地	土器・石器	1988
70	門脇台場	近 世	砲台跡	八幡野字牛戸背	海 岸	石積遺構	
71	法華塚	〃	積石塚	富戸字先原	山 林	石積の塚	
72	上和田	古 墳(前)	散布地	池字上和田	水田、畑地	土 器	
73	下 畑	縄 文	〃	八幡野字下畑	宅地、水田		
74	伊東館	中 世	城館跡	馬場町一丁目	宅 地	土器	2009、2017
75	禰宜畑	縄文(早～中)	集落跡	岡字禰宜畑	マンション	土器・石器	1989
76	中 野	縄文(中)	散布地	岡字中野	畑地、山林	土器・石器	
77	桑 原	弥・古・奈・平・中世	〃	宇佐美字桑原	宅地、畑地	土器・石器	2018
78	芝 草	縄 文	〃	赤沢字芝草	畑地、山林	土 器	
79	松 尾	〃	〃	八幡野字松尾	宅地、畑地	土 器	
80	向 沢	〃	〃	川奈字向沢	畑 地	土器・石器	
81	奈 尾	旧石器	〃	富戸字奈尾	畑 地	局部磨製石斧	
82	水頭A	縄 文	〃	赤沢字水頭	山 林	石 器	1995 確認
83	水頭B	〃	〃	〃	〃	石 器	1995 確認
84	長 畑	縄文・古墳・奈良	〃	吉田字長畑	宅地、畑地	土 器	
85	宇佐美八幡神社	中 世	〃	宇佐美字八幡	境 内	土 器	
86	宇佐美北部石丁場群	近 世	石丁場	宇佐美字御石ヶ沢他	林・海	矢穴石、刻印石	「松平宮内少石場」標識石、2017
87	宇佐美南部石丁場群	近 世	〃	宇佐美字中ノ沢他	宅・林	矢穴石、刻印石	1990
88	湯川山石丁場群	近 世	〃	湯川字桜ヶ洞他	宅・林	矢穴石、刻印石	

89	松原石丁場群	近 世	〃	松原字猪山他	林・海	矢穴石、刻印石	2002
90	小川沢石丁場群	近 世	〃	岡字堀ノ口他	山 林	矢穴石、刻印石	
91	鎌田石丁場群	近 世	〃	鎌田字伊豆ケ木他	宅・林	矢穴石、刻印石	「竹中伊豆守」標識石、2001
92	大平山石丁場群	近 世	〃	岡字片岡他	林		
93	岡・玖須美石丁場群	近 世	〃	玖須美字萩坂他	宅・林	矢穴石、刻印石	「いよ松山」標識石、2013、2014
94	新井石丁場群	近 世	〃	新井字前山丁場他	林・海	矢穴石、刻印石	「いよ松山」標識石
95	川奈石丁場群	近 世	〃	川奈字扇山他	宅・海	矢穴石、刻印石	
96	富戸石丁場群	近 世	〃	富戸字根原他	宅・海	矢穴石、刻印石	
97	枝堀遺跡	縄文(早・前)	集落跡	八幡野字枝堀	山 林	土器・石器	2018 試掘
98	倉骨沢遺跡	縄文	散布地	八幡野字倉骨沢	山 林	土器・石器	2018 試掘

4 生涯学習センター

(1) 中央会館施設概要

設置年月日	敷地面積	建物面積	施設内容
S 55. 9. 30	2123.40 m ²	1,520.091 m ²	第1・2（会議室 研修室 和室） 視聴覚室 美術工芸室 展示兼トレーニング室

(2) 平成30年度 中央会館の利用状況

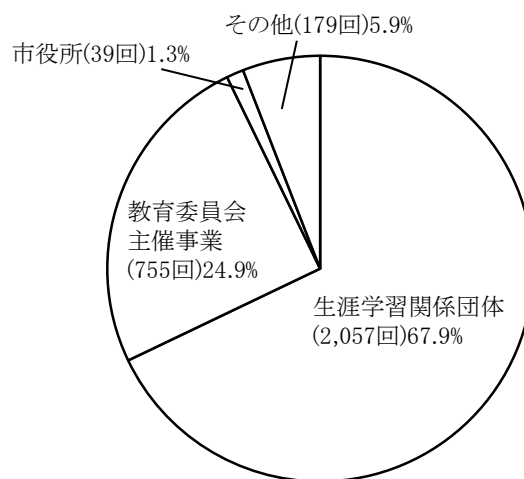
① 利用回数・人員・利用率

	利用人員	利用回数	利用率
21年度	43,582	3,551	42.8
22年度	38,337	3,352	40.6
23年度	40,589	3,363	40.6
24年度	48,782	3,474	42.0
25年度	44,967	4,424	53.7
26年度	40,653	4,489	54.3
27年度	39,365	3,375	40.6
28年度	37,796	3,359	40.7
29年度	35,170	3,370	40.8
30年度	30,136	3,030	36.7

② 平成30年度利用の状況

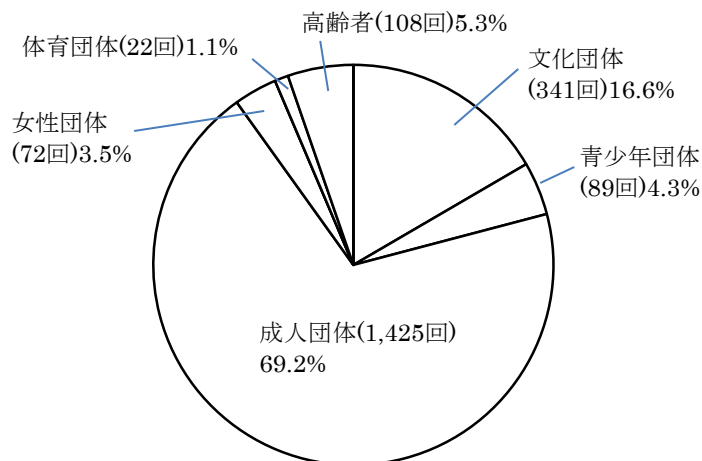
ア 団体別利用状況

（総利用回数 3,030）



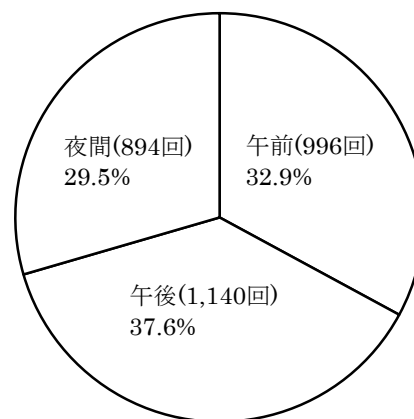
イ 生涯学習関係団体種類別利用状況

（総利用回数 2,057）



ウ 時間帯別利用状況

（総利用回数 3,030）



(3) ひぐらし会館施設概要

設置年月日	敷地面積	建物面積	施設内容
H6.11.30	463.21 m ²	1,787.73 m ²	ホール（204席）、第1・第2会議室、トレーニング室、幼稚園遊戯室、楽屋（洋室・和室）

(4) 平成30年度 ひぐらし会館の利用状況

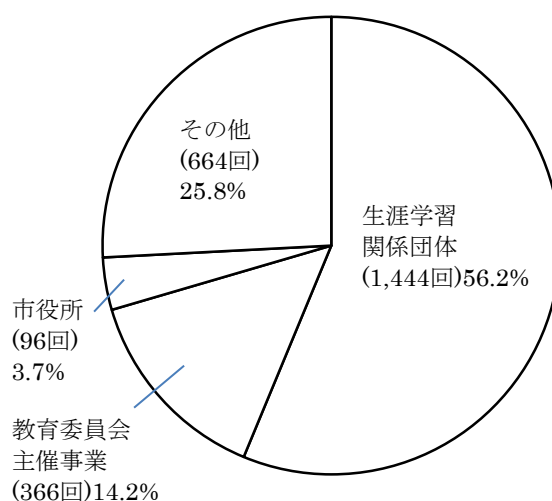
① 利用回数・人員・利用率

	利用人員	利用回数	利用率
21年度	52,851	2,692	41.8
22年度	47,386	2,544	39.6
23年度	43,321	2,373	36.8
24年度	44,857	2,657	41.3
25年度	43,773	2,561	40.0
26年度	44,280	2,610	40.6
27年度	46,052	2,885	44.6
28年度	44,744	2,754	42.9
29年度	41,765	2,600	40.5
30年度	42,532	2,570	40.0

② 平成30年度利用の状況

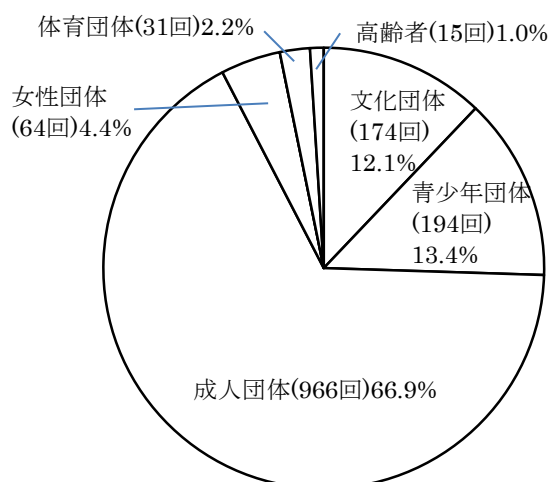
ア 団体別利用状況

（総利用回数 2,570）



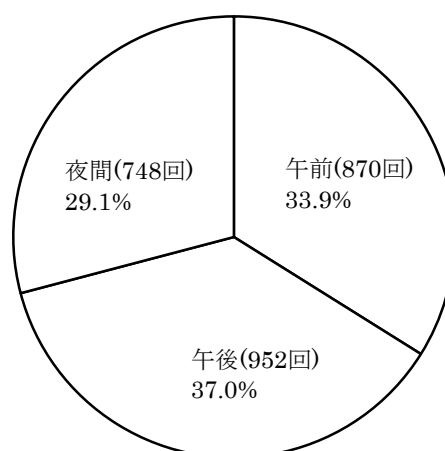
イ 生涯学習関係団体種類別利用状況

（総利用回数 1,444）



ウ 時間帯別利用状況

（総利用回数 2,570）



(5) 平成30年度 生涯学習センター各室利用状況

(平成30年4月～31年3月)

① 生涯学習センター池会館

年度	開館 日数	生涯学習 活 動		会 議 (研 修)		調理実習		図書 コーナー	その他		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	人数	回数	人数	回数	人数
28	306	997	11,144	191	3,990	1	17	991	857	5,364	2,046	21,506
29	306	1,074	11,492	186	3,497	—	—	874	410	3,869	1,670	19,732
30	306	992	10,520	212	3,359	—	—	757	583	4,356	1,787	18,992

② 生涯学習センター赤沢会館

年度	開館 日数	生涯学習 活 動		会 議 (研 修)		調理実習		図書 コーナー	その他		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	人数	回数	人数	回数	人数
28	304	325	2,408	37	410	1	5	165	4	52	367	3,040
29	301	329	2,511	24	450	—	—	205	2	20	355	3,186
30	303	305	2,773	16	222	—	—	228	6	112	327	3,335

③ 生涯学習センター荻会館

年度	開館 日数	生涯学習 活 動		会 議 (研 修)		調理実習		図書 コーナー	その他		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	人数	回数	人数	回数	人数
28	300	1,627	12,957	15	254	16	215	2,116	109	7,101	1,767	22,643
29	303	1,546	12,363	16	414	21	228	1,079	102	10,780	1,685	24,864
30	288	1,466	13,485	22	343	15	171	1,463	73	3,909	1,576	19,371

5 図書館

情報提供拠点としての図書館機能を十分発揮するため、図書館資料の充実を図るとともに利用環境の整備に努め、利用しやすい、開かれた図書館をめざす。

(1) 郷土資料の収集

郷土に関する資料・情報は、広く収集するよう努め、市民の利用に供する。

(2) 視聴覚資料等

CD・DVD等の視聴覚資料の充実に努め、市民の新しい学習要求に応える。

(3) 企画展の開催・特集コーナーの設置

企画展示の定期的なテーマ替えを行い、図書館への来館を呼び掛ける。

一般、児童書別に特集コーナーを設け、資料の紹介、提供に努める。

(4) 読み聞かせ会、講演会等の実施

伊東図書館おはなし会や市民ボランティアの協力により、毎週土曜日と、春夏秋冬におけるおはなし会、こども読書週間や読書週間に講演会等を開催することにより、幼児期から図書館に親しむ機会を提供する。

(5) 出張読み聞かせ「おはなしともだち号」の実施

学校、幼稚園、福祉施設などからの依頼を受け、社会教育指導員が児童や通所者に読書の楽しさを広める。

(6) 移動図書館「ともだち号」の運行・巡回貸出文庫の実施

図書館から遠隔地にある地域住民の読書活動の利便性の向上を図るとともに、市民の学習意欲に応えるため、市内21か所のステーションを、月2回巡回し、図書館サービスの拡充に努める。

地域、職域、学校などの利用者グループへ30冊を一括で貸出し、2か月に一度入れ替える。

(7) ブックスタート事業の実施

乳児期からの読み聞かせを通じて、本に親しみ読書の楽しさを広めるとともに、親子のスキンシップ・コミュニケーションを深めることが子育て支援の一環となるため、乳児を対象に読み聞かせを行いながら、絵本を贈呈する。

(8) インターネット蔵書検索の実施

家庭のパソコンや携帯電話から本市の蔵書を検索、予約するシステムにより、利便性を向上し、図書館の利用を促進する。

(9) 障害者サービス用資料の充実、読書支援機器の設置

大活字本、点字付き絵本を定期的に購入し、資料の充実を図る。

音声拡大読書機「よむべえ」の設置により視覚障害者の読書支援に努める。

(10) 図書館相互利用・図書館相互貸借協定の実施

沼津市・熱海市・伊豆市・東伊豆町の各館との相互利用及び県内各協定加盟館と相互貸借を実施し、図書館活動の拡大と振興を図る。

① 施設の概要

名称	設置年月日	床面積	施 設 内 容
伊東市立伊東図書館	T 4. 11. 10 設置 S 55. 11. 1 移転	954m ²	音無町 5－1 4 中央公民館 1、2 階部分
大原児童図書館	S 53. 12. 27	75m ²	大原 3－1 8－3（物見が丘公園内） 地域の運営委員会により運営

② 蔵書冊数及び貸出冊数

分 類	蔵書冊数	構成比%	貸出冊数	構成比%
総 記	8, 033	3. 9	1, 035	0. 5
哲 学	5, 214	2. 5	3, 025	1. 4
歴 史	12, 792	6. 2	6, 442	3. 1
社会科学	19, 498	9. 5	7, 339	3. 6
自然科学	8, 755	4. 3	6, 162	3. 0
技 術	7, 180	3. 5	8, 460	4. 1
産 業	3, 985	2. 0	2, 323	1. 1
芸 術	9, 163	4. 5	5, 891	2. 9
言 語	1, 949	0. 9	856	0. 4
文 学	54, 032	26. 3	74, 147	35. 9
郷土資料	9, 806	4. 8	1, 175	0. 6
児 童 書	46, 828	22. 8	66, 146	32. 0
視聴覚資料 (CD・VTR・DVD)	3, 511	1. 8	9, 549	4. 6
洋 書	684	0. 3	156	0. 1
点 字 本	201	0. 1	63	0. 0
大活字本	364	0. 2	1, 036	0. 5
雑 誌	13, 190	6. 4	11, 233	5. 4
その他（他館資料）	0	0. 0	1, 620	0. 8
合 計	205, 185	100. 0	206, 658	100. 0

③ 本館貸出冊数（開館日数 280日 1日平均貸出冊数 639冊）

区分	一般成人		高校生・中学生		小学生以下		団体等	合 計		
冊数	男	56,615	男	1,286	男	12,210	3,955	男	70,111	団体等
	女	88,661	女	2,452	女	13,636		女	104,749	3,955
	145,276		3,738		25,846			178,815		

④ 大原児童図書館貸出冊数（開館日数 141日 1日平均貸出冊数 17冊）

区分	一般書	児童書	雑誌	視聴覚	郷土	その他	合計
冊数	67	1,914	64	339	0	1	2,385

⑤ 巡回貸出文庫貸出冊数

川奈小学校	東部特別支援学校 川奈分校	富戸小学校	南小学校	計
181	180	180	179	720

⑥ 移動図書館「ともだち号」貸出冊数

巡回日	巡回ステーション名	年 間 巡回数	貸 出 冊 数							
			一般書	児童書	雑誌	視聴覚	郷土	その他	計	一日当
第一・第三 火曜日	芝原公園	21	290	75	54	2	0	3	424	20
	大池小学校	18	217	1,896	2	0	1	0	2,116	118
第一・第三 水曜日	元ナガヤ川奈店駐車場	19	318	187	78	0	0	0	583	31
	宇佐美小学校	19	1,387	2,440	62	5	0	40	3,934	207
第一・第三 木曜日	川奈小学校	15	86	189	22	0	0	0	297	20
第一・第三 金曜日	伊豆急伊豆高原管理事務所	19	881	146	169	1	2	50	1,249	66
	東小学校	16	98	659	5	0	0	4	766	48
	生涯学習センター荻会館	18	429	428	30	0	1	8	896	50
第二・第四 火曜日	伊豆高原十字の園	22	478	72	92	13	0	15	670	30
	ゆうゆうの里	22	746	117	15	0	4	19	901	41
	富戸小学校	20	233	1,187	1	2	0	0	1,423	71
第二・第四 火曜日	南小学校	21	361	2,754	2	0	0	1	3,118	148
	吉田公園	21	457	602	9	0	0	8	1,076	51
第二・第四 木曜日	旭小学校	16	229	1,781	0	0	0	0	2,010	126
第二・第四 金曜日	イトーピア管理事務所	18	615	35	29	4	5	21	709	39
	大室高原自治会館	18	347	18	19	0	3	2	389	22
	八幡野小学校	18	854	1,928	51	1	1	2	2,837	158
	生涯学習センター池会館	18	123	187	6	0	1	4	321	18
第二・第四 日曜日	角折住宅	18	25	195	1	0	0	0	221	12
	城平住宅	18	573	16	28	6	4	1	628	35
	鎌田公園	14	51	76	7	0	1	0	135	10
	その他	3	0	34	4	0	0	0	38	13
合 計		392	8,798	15,022	686	34	23	178	24,741	63

6 コミュニティ

住民の交流により相互の連帯を深め、心の触れ合う明るく豊かな活気あるまちづくりの実現を目指し、地域住民のコミュニティ活動と生涯学習活動を積極的に推進する拠点施設として、管理運営を、地域に設立された管理運営協議会（指定管理者）に委託し、地域住民自らが自主的に運営している。

(1) コミュニティ施設の整備

昭和63年12月に宇佐美コミュニティセンター、平成3年4月に小室コミュニティセンター、平成5年1月に八幡野コミュニティセンター、平成7年7月に富戸コミュニティセンターが開設した。

(2) コミュニティ活動の推進

各地域のコミュニティ関係団体との連携を図り、自主的な活動を積極的に展開するためにコミュニティサークル活動の輪をさらに広げ、質の向上と連帯の推進を図る。

(3) コミュニティセンター施設

名 称	設置年月日	敷地面積	建物面積	施 設 内 容
宇佐美コミュニティセンター	昭和63年 12月12日	m ² 1,464	m ² 1,433	鉄筋3階建 大会議室、児童室、図書室 ほか
小室コミュニティセンター	平成3年 4月17日	1,388	1,232	鉄筋3階建 体育室、児童室、図書室 ほか
八幡野コミュニティセンター	平成5年 1月22日	1,795	1,383	鉄筋3階建 大会議室、児童室、図書室 ほか
富戸コミュニティセンター	平成7年 7月9日	2,010	1,545	鉄筋3階建 大会議室、児童室、図書室、 地震観測データ室ほか

(4) 平成30年度 コミュニティセンター各室利用状況

(平成30年4月～31年3月)

① 宇佐美コミュニティセンター

年度	開館 日数	コミュニティ 活 動		会議（研修）		調理実習		図書 コーナー	その他		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	人数	回数	人数	回数	人数
28	298	168	11,283	91	1,130	40	603	1,666	1,093	16,273	1,392	30,955
29	298	193	11,590	82	1,080	48	648	1,941	1,037	15,279	1,360	30,538
30	291	91	6,880	120	2,378	37	629	1,598	1,130	18,771	1,378	30,256

② 小室コミュニティセンター

年度	開館 日数	コミュニティ 活 動		会議（研修）		調理実習		図書 コーナー	その他		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	人数	回数	人数	回数	人数
28	304	518	5,760	41	993	1	10	83	303	4,371	863	11,217
29	304	424	4,322	40	800	—	—	551	299	3,746	763	9,419
30	309	337	3,562	36	889	1	4	51	307	3,722	681	8,228

③ 八幡野コミュニティセンター

年度	開館 日数	コミュニティ 活 動		会議（研修）		調理実習		図書 コーナー	その他		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	人数	回数	人数	回数	人数
28	300	1,471	27,028	407	7,835	102	1,147	7,258	180	6,629	2,160	49,897
29	297	1,494	26,917	441	9,567	105	1,170	6,905	237	13,418	2,277	57,977
30	297	1,421	26,417	465	10,106	79	874	8,144	189	4,337	2,154	49,878

④ 富戸コミュニティセンター

年度	開館 日数	コミュニティ 活 動		会議（研修）		調理実習		図書 コーナー	その他		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	人数	回数	人数	回数	人数
28	306	1,195	20,814	145	2,342	59	941	582	—	43	1,399	24,722
29	306	1,150	19,455	130	2,718	28	496	476	—	71	1,308	23,216
30	306	1,101	18,673	88	1,603	17	252	236	—	73	1,206	20,837

7 社会教育関係委員・団体

(1) 伊東市公民館運営審議会委員兼社会教育委員

任期：平成 31 年 4 月 15 日～令和 3 年 3 月 31 日

	氏 名	選出区分
委員長	大 村 涛 子	社会教育関係者
副委員長	船 吉 鉄 男	社会教育関係者
委 員	三 枝 俊 次	学識経験者
委 員	井 上 雅 夫	学校教育関係者
委 員	鈴 木 美津江	社会教育関係者
委 員	原 田 稔 子	社会教育関係者
委 員	日 吉 節	社会教育関係者
委 員	鈴 木 伸 彦	学校教育関係者
委 員	高 田 京 子	家庭教育の向上に資する活動者
委 員	渡 邊 禮 子	家庭教育の向上に資する活動者

(2) 伊東市青少年問題協議会委員 任期：令和元年 7 月 1 日～令和 3 年 6 月 30 日

氏 名	選出・所属	氏 名	選出・所属
高橋 雄幸	市教育長	大城 一朗	伊東商工会議所代表
鳥居 康子	市議会常任福祉文教委員長	石井 清之	伊東地区保護司会会長
宮田 頌平	伊東警察署生活安全課長	大石 勝	地域行政連絡調整協議会会長
大村 涛子	市社会教育委員長	森 知子	伊東市女性連盟理事長
鈴木 伸彦	伊東高等学校長	佐藤 龍彦	伊東市 P 連代表
川口 喜弘	伊東商業高等学校長	高嶋 裕一	伊東青年会議所代表
鈴木 義昭	市立川奈小学校長	稲葉 高士	伊東市立対島中学校長

(3) 伊東市青少年問題協議会幹事 任期：令和元年 7 月 1 日～令和 3 年 6 月 30 日

氏 名	選出・所属	氏 名	選出・所属
野田 貴史	伊東警察署生活安全課係長	太田 将城	小学校代表（川奈小）
戸塚 雅晴	伊東高校生徒課長	吉崎 恭之	危機対策課長
深澤 祐介	伊東商業高校生徒指導	操上 俊樹	教育指導課長
永田 守人	中学校代表（対島中）	杉山 宏生	生涯学習課長

(4) 伊東市青少年補導センター運営協議会委員

任期：令和元年7月1日～令和3年6月30日

氏 名	選出・所属	氏 名	選出・所属
高橋 雄幸	市教育長	大木 基至	市P連代表
宮田 頌平	伊東警察署生活安全課長	稲葉 義彰	民生委員児童委員協議会会長
操上 俊樹	教育指導課長	大川 俊幸	スポーツ少年団指導者協議会会長
稲葉 祐人	幼児教育課長	大橋 現	少年警察連絡協議会会長
土屋 喜生	青少年育成市民会議会長	吉岡 マサエ	伊東市女性連盟代表

(5) 伊東市文化振興会議委員

任期：平成30年7月5日～令和2年7月4日

	氏 名	選出・所属
委員長	鳥居 康子	市議会
副委員長	丸井 重孝	市社会教育指導員
委 員	大川 あづみ	伊東市文化協会
委 員	遠山 敬二	伊東市自然歴史案内人会
委 員	稲本 多津郎	伊東市体育協会
委 員	佐々木 睦代	伊東市女性連盟
委 員	大村 湊子	市社会教育委員会
委 員	齋藤 秀輝	市校長会
委 員	佐藤 康	市文化財保護審議会

(6) 伊東市文化財保護審議会

任期：平成29年10月1日～令和元年9月30日

	氏 名		氏 名
会 長	佐藤 康	委 員	田島 整
副会長	斎藤 俊仁	委 員	建部 恭宣
委 員	小林 一之	委 員	石渡 美智代
委 員	野田 悦基	委 員	加藤 好一
委 員	中池 敏之	—	—

(7) 伊東市文化財保護監視員会 任期：平成 31 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

	氏 名		氏 名
会 長	石田 晃一	委 員	山本 勝
副会長	稲葉 常久	委 員	遠山 敬二
委 員	大野 弘之	委 員	林 則雄
委 員	後藤 武久	—	—

(8) 伊東市郷土資料館建設協議会

	氏 名		氏 名
会 長		委 員	永濱 眞理子
副会長	平澤 哲	委 員	稲葉 常久
委 員	後藤 武久	委 員	鳥居 康子
委 員	佐藤 康	委 員	浅田 良弘

(9) 伊東市史編さん委員会

	氏 名	選出・所属
委員長	小野 達也	市 長
副委員長	若山 克	副市長
委 員	井戸 清司	市議会議長
委 員	坂詰 秀一	伊東市史編集委員長
委 員	田上 繁	伊東市史編集副委員長
委 員	田口 節子	学識経験者
委 員	加藤 清志	学識経験者
委 員	高橋 雄幸	教育長
委 員	大村 湊子	社会教育委員長
委 員	佐藤 康	文化財保護審議会会長
委 員	杉本 仁	企画部長兼市長戦略監
委 員	浜野 義則	総務部長
委 員	富士 一成	教育部長

VII スポーツの振興

1 スポーツ振興の重点施策

「市民一人一スポーツ」をめざし、市民だれもが健康的にスポーツを楽しむことができるよう、スポーツ事業の推進に努める。また、しずおか型地域スポーツクラブの設立など生涯スポーツの普及に努めるとともに、健康保養地づくり事業との連携を図り、スポーツを取り入れた健康づくりに努める。

(1) 地域スポーツの振興

スポーツを介し、地域住民のコミュニティ意識を高めるため、各地域の体育振興会と連携を密にし、地域に密着した地域スポーツの振興を推進する。

(2) スポーツ推進委員会

市民が気軽に参加できるスポーツによる健康づくりの方策を検討するとともに、ニュースポーツの実技指導等を行い、生涯スポーツの推進に努める。

(3) スポーツ祭の開催

按針祭協賛市民スポーツ祭や伊東市スポーツ祭を体育協会加盟競技団体の協力のもとに開催し、各種スポーツを通して、明るく健康な日常生活が求められるよう市民の参加を求める。

(4) スポーツ大会等の実施

スポーツ活動の促進と市民のスポーツ実践の場として、伊東オレンジビーチマラソン（伊東市健康保養地づくり事業として実施）や伊東駅伝競走大会を開催するとともに、体育協会の主催する陸上カーニバルを支援する。

(5) スポーツ施設の整備、充実

市民に親しまれ使用しやすい施設とするため、市民体育センターをはじめ、市民運動場、かどの球場、大原武道場等の社会体育施設の円滑な管理運営に努める。

令和元年度は、市民運動場に人工芝や周回遊歩道を整備するための実施設計及び測量・地質調査等を行い、令和2年度の施工に向け準備を進める。

(6) 学校開放事業の促進

市民のスポーツ活動促進のため、市内の小・中学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲において市民に開放し、スポーツの振興を図る。

令和元年度は、南中学校に夜間照明設備を設置し、学校開放事業での施設利用者の利便性を向上させる。

(7) スポーツ少年団の育成

スポーツ少年団指導者の研修会を通じ指導者を養成するとともに、スポーツを通して健やかな少年・少女の育成に努める。

(8) スポーツ関係団体の育成・奨励

体育協会の自主活動を奨励していく中で、団体意識を高めるとともに主催事業の支援を図る。

(9) 市町対抗駅伝競走大会への参加

静岡市を会場に開催される「第20回記念静岡縣市町対抗駅伝競走大会」に参加するため、伊東市陸上競技協会主催の陸上競技教室を支援するとともに、代表候補選手の合同練習会を開催し、市内の長距離ランナーの発掘・育成を図る。

(10) 総合型地域スポーツクラブの育成

地域住民が積極的に参画し、「多種目・多世代・多目的」な活動を行う地域スポーツクラブを支援し、新たな生涯スポーツの普及と地域コミュニティの形成を図る。



ニュースポーツ研修会（ビーチボールバレー）



第53回伊東オレンジビーチマラソン2019

2 令和元年度 スポーツ振興事業計画

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
スポーツ大会	日程全般			スポーツ推進委員 熱海・伊東地区 合同研修会 8日(土)	按針祭協賛 市民スポーツ祭		体力・運動 能力調査 11日(水)	第63回伊東市 スポーツ祭 陸上カーニバル 20日(日)	スポーツ少年団 交流体育大会 16日(土) 第20回記念 静岡県市町対抗 駅伝競走大会 30日(土)		第54回 伊東レンジ ビーチマラソン2020 19日(日)	第48回 伊東駅伝 競走大会 2日(日)	
	事業詳細1 静岡県市町対抗駅伝競走大会 (市体育協会委託事業)			第1回 実行委員会 代表候補 選手公募			強化 練習	第2回 実行委員会 代表選手 選考	大会 30日(土)				
	事業詳細2 伊東オレンジビーチマラソン (健康保養地づくり実行委員会主催事業)							申込期間 (受付開始日、締切日は未定)			大会 19日(日)		
	事業詳細3 伊東駅伝競走大会 (市体育協会委託事業)							申込期間 (受付開始日、締切日は未定)			第1回監督会議 上旬	大会 2日(日)	
スポーツ推進委員会	定例会	定例会	熱海・伊東 地区合同 研修会 8日(土)	表彰式 27日(土) 定例会			定例会		定例会	定例会	定例会	東海四県 研究大会 14、15日 (金、土) 定例会	
スポーツ指導者養成	スポーツ少年団 指導者協議会 理事会	スポーツ少年団 指導者協議会 総会						スポーツ少年団 指導者協議会 理事会	スポーツ少年団 交流体育大会 16日(土)				
通年事業	スポーツ賞賜金、体育施設整備基金積立、社会体育施設修繕及び点検等、社会体育施設年間利用調整												
委託事業	社会体育施設管理（指定管理者：伊東市振興公社）、学校施設開放受付業務（委託先：伊東市体育協会）												

3 平成30年度 スポーツ振興事業

大会名	主管団体名	開催期間	内 容	延参加者
按針祭協賛 市民スポーツ祭	伊東市体育協会 加 盟 団 体	6/16～ 8/26	バドミントン大会など17種目 会場 伊東市民体育センターほか	3,834人
第62回 伊東市スポーツ祭	伊東市体育協会 加 盟 団 体	9/1～ 2/10	ソフトテニス大会など16種目 会場 小室山公園市営テニスコートほか	3,393人
第16回伊東陸上 カーニバル陸上記録会	伊東市体育協会 伊東市陸上競技協会	10/21	走・跳・投の陸上競技 小中学生、高校生、一般 会場 伊東高校グラウンド	501人
第19回 静岡縣市町 対抗駅伝競走大会	静岡陸上競技協会 静岡新聞社・静岡放送	12/1	会場 静岡県庁～静岡市清水～草薙陸上競技場 42.195km 12区間 参加チーム数：38(県内全市町) 成績：市の部 第23位/26チーム	798人
第53回 伊東オレンジビーチ マラソン2019	(伊東市健康保養地づくり) 実行委員会主催 伊東市教育委員会 伊東市体育協会	1/20	会場 観光会館前～国道135号バイパス 5km (小学生、中学生、一般男子39歳以下・40歳以上、一般女子39歳以下・40歳以上) 10km (一般男子39歳以下・40～59歳・60歳以上、一般女子39歳以下・40歳以上) 2km (小学3年生以下、ファミリー、車いす)	1,931人 (完走者)
第47回 伊東駅伝競走大会	静岡東部 陸上競技協会	2/3	伊豆高原旅の駅ぐらんばるぼーと～対島中学校～富戸小学校～川奈ホテル～汐吹駐車場～市役所 20.7km 5区間・5部門 高校男子 7チーム 一般・高校女子 7チーム 一般男子 18チーム 中学男子 8チーム 中学女子 7チーム	356人

4 平成30年度 スポーツ施設等の利用状況

(1) 市民体育センター S54.2.18設置

年度	開放 日数	体 育 室		卓 球 室		多 目 的 室		合 計		平 均 (1日当たり)
		件 数	人 数	件 数	人 数	件数	人 数	件 数	人 数	
26	341	2,432	49,372	826	6,827	470	9,975	3,728	66,174	194
27	344	2,442	49,575	745	6,134	478	11,049	3,665	66,758	194
28	91	648	12,575	183	1,404	119	2,793	950	16,772	184
29	336	2,326	44,514	716	6,570	480	10,124	3,522	61,208	182
30	337	2,415	45,679	699	6,578	451	11,837	3,565	64,094	190

(2) 市民運動場 S 45. 11. 30設置

年度	昼 間		夜 間		合 計		種 目 別 利 用 内 訳					
							サッカー		軟式野球		ソフトボールほか	
	件数	人 数	件数	人 数	件数	人 数	件数	人 数	件数	人 数	件数	人 数
26	634	25,770	418	16,440	1,052	42,210	566	22,480	165	6,720	321	13,010
27	595	24,638	347	14,905	942	39,543	441	19,271	178	7,490	323	12,782
28	571	31,042	337	15,661	908	46,703	439	23,665	168	7,635	301	15,403
29	593	24,117	363	16,879	956	40,996	435	20,152	173	7,176	348	13,668
30	536	20,971	356	15,477	892	36,448	432	18,721	160	7,674	300	10,053

(3) かどの球場 H7. 4. 8設置

年度	昼 間		夜 間		合 計		種 目 別 利 用 内 訳					
							軟式野球		ソフトボール		サッカーほか	
	件数	人 数	件数	人 数	件数	人 数	件数	人 数	件数	人 数	件数	人 数
26	246	15,544	62	1,300	308	16,884	240	14,188	11	301	56	2,275
27	261	19,804	62	1,543	323	21,347	261	19,103	3	165	59	2,079
28	262	19,682	53	1,217	315	20,899	251	18,307	10	272	54	2,320
29	264	21,754	66	1,803	330	23,557	257	19,740	3	90	70	3,727
30	276	22,396	63	2,000	339	24,396	255	21,086	10	267	74	3,043

(4) 大原武道場 H8. 11. 1設置

年度	開放 日数	第 1 道 場		第 2 道 場		トレーニング室		合 計
		件数	人 数	件数	人 数	人 数	1 日当り	
26	309	376	4,766	656	8,569	22,682	73	36,017
27	310	440	5,253	626	8,274	26,592	86	40,119
28	281	431	6,190	681	9,635	27,066	88	42,891
29	281	406	5,872	619	8,768	29,000	103	43,640
30	281	383	6,214	611	7,141	29,788	106	43,143

(5) 青少年キャンプ場 S 57. 7. 25設置

年度	利用件数	利用日数	利用者数
26	102	150	3,552
27	99	172	3,483
28	99	169	2,864
29	111	204	2,636
30	113	201	2,757

※ キャンプのほかに、桜まつり、森の露天市、クラフトの森等のイベントで利用されている。

(6) 学校開放

施設名 学 校 名	屋 内		屋 外			
			昼 間		夜 間	
	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数
東 小 学 校	582	10,919	121	4,655	55	2,610
西 小 学 校	446	11,056	164	1,436	105	5,100
旭 小 学 校	261	3,623	106	1,901		
南 小 学 校	568	11,165	100	6,730		
川 奈 小 学 校	282	6,778	102	5,840		
大 池 小 学 校	256	3,781	124	3,485		
宇佐美小学校	451	7,607	123	2,428		
富 戸 小 学 校	136	1,321	124	1,897		
八幡野小学校	533	10,125	218	7,134		
池 小 学 校	221	2,936	3	30		
南 中 学 校	503	11,729	4	695		
北 中 学 校	189	2,854	3	45		
門 野 中 学 校	453	7,682	4	60		
宇佐美中学校	416	4,952	0	0	77	2,960
対 島 中 学 校	162	2,232	57	1,452	120	4,800
合 計	5,459	98,760	1,253	37,788	357	15,470

2 6 年 度	4,601	92,089	1,250	45,288	327	11,592
2 7 年 度	4,770	91,972	1,474	50,698	282	12,960
2 8 年 度	5,529	105,684	1,223	38,214	299	15,265
2 9 年 度	5,952	109,890	1,453	44,384	369	17,070
3 0 年 度	5,459	98,760	1,253	37,788	357	15,470

5 スポーツ施設

施設名	設置年月日	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	施設内容
市民運動場	S45.11.30	24,800	49	運動場(兼用)・野球場2面 H22.3トイレ建替 (夜間照明施設2面、S55.7・4基、H12.1・2基)
市民体育 センター	S54.2.18	3,562	1,965	バレーボールコート3面・バドミントンコート 6面・バスケットボールコート2面・多目的室 (H19.4.1～)・卓球室(2面)(H15.4.1施設名称変 更、H18.12フロア増床、H29.3耐震補強)
青 少 年 キャンプ場	S57.7.25	10,000		流し2・調理台2・野外炉2か所12炉・四阿2棟・ 水洗トイレ(洗浄水循環型)1棟・管理棟
かどの球場	H7.4.8	25,066	1,440	野球場(ロングパイル人工芝 H23.3張替)・夜間照 明設備・スコアボード・スタンド(観覧席1,004 席)・放送席・シャワー付更衣室・駐車場
大原武道場	H8.11.1	20,888	951	第1道場(畳敷 H19.12畳取替)・第2道場(板張 り)・トレーニング室・ミーティングルーム

6 スポーツ推進委員会

(1) スポーツ推進委員会研修会

日 程	会 場	内 容
平成30年 6月 9日	熱海市立桃山小学校	熱海・伊東地区スポーツ推進委員合同研修会
平成30年 7月22日	静岡県武道館(藤枝市)	静岡県スポーツ推進委員実技研修会
平成30年 8月19日	伊東市観光会館	静岡県スポーツ推進委員研究大会

- ・その他
定例会(年10回程度)

(2) 派遣事業

- ・ (公財)伊東市振興公社主催のフィットネス教室等へ派遣
- ・ 伊東陸上カーニバル、伊東オレンジビーチマラソン、伊東駅伝競走大会へ派遣

(3) 伊東市スポーツ推進委員名簿（令和元年度）

（任期：平成 30 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）

No.	氏 名	役 職	性別	特 技	経験 年数
1	八代 佳世		女	一 般 体 育	28
2	里吉 康二		男	硬 式 野 球	26
3	杉山 英樹	委員長	男	水 泳	26
4	古屋 親代	副委員長	女	陸 上 競 技	21
5	鈴木 章雄	副委員長	男	野 球 ・ ス キ ー	19
6	木部 良治		男	球 技 全 般	14
7	木村 美甫		女	一 般 体 育	14
8	土屋 順子		女	一 般 体 育	13
9	杉村 浩美		女	テ ニ ス	4
10	杉山 潮美		女	バスケットボール	2
11	南 静渚		女	一 般 体 育	2
12	村上 智子		女	バスケットボール	2

VIII 所轄外学校等

1 所轄外学校等

(1) 高等学校

① 生徒数・学級数・教職員数等の状況

(令和元年5月1日現在)

区 分		県立伊東高等学校			県立伊東商業 高等学 校
		全 日 制	定 時 制	城ヶ崎分校	
設 立 年 月 日		昭和8年2月16日	昭和23年9月1日	昭和58年4月1日 分校 平成18年4月1日	昭和38年4月1日
所 在 地		岡1229-3		八幡野1120	吉田748-1
校 長 氏 名		鈴木 伸彦			川口 喜弘
電 話 番 号		37-8811	36-2143	54-1914	45-0350
F A X 番 号		38-1229	38-1229	54-2591	45-5743
生 徒 数 (人)	1 年 生	118	12	33	123
	2 年 生	145	5	25	120
	3 年 生	145	10	39	113
	(4 年 生)		7		
	計	408	34	97	356
ク ラ ス 数	1 年 生	3	1	1	3
	2 年 生	4	1	1	3
	3 年 生	4	1	1	3
	(4 年 生)		1		
	計	11	4	3	9
教 室 数	普通教室	23 室	共用	8 室	15 室
	特別教室	19 室	共用	16 室	18 室
教員数(人)		27	9	13	31
職員数(人)		8	1	2	3

(注) 県立伊東高等学校の創立記念日は、県立伊東高等女学校を記載。その後、昭和22年9月5日静岡県伊東市立伊東高等女学校、昭和23年4月1日県立伊東高等学校となる。

② 学校建物等の状況

(令和元年5月1日現在)

区 分		県立伊東高等学校			県立伊東商業 高等学 校
		全日制	定時制	城ヶ崎分校	
建 物 校 地	校 舎	7,877㎡	} 共 用	6,536㎡	9,098㎡
	屋内運動場	1,421㎡		2,546㎡	1,610㎡
	運 動 場	25,349㎡		14,508㎡	20,608㎡
	校舎敷地等	31,470㎡		26,225㎡	23,219㎡

③ 卒業後の状況

(令和元年5月1日現在)

区 分		県立伊東高等学校						県立伊東商 業高等学校		合 計	
		全日制		定時制		城ヶ崎分校					
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
卒 業 者		163		6		38		128		335	
進学者数	大 学	104	63.8	0	0.0	6	15.8	19	14.8	129	38.5
	短 大	12	7.4	0	0.0	0	0.0	6	4.7	18	5.4
	専 修 各 種	25	15.3	3	50.0	13	34.2	50	39.1	91	27.2
就 職 者 数		8	4.9	2	33.3	14	36.8	50	39.1	74	22.1
そ の 他		14	8.6	1	16.7	5	13.2	3	2.3	23	6.9

(2) 私立幼稚園

(令和元年5月1日現在)

幼稚園名	所在地	園長氏名	電話番号	園児数	教職員数	建物面積	敷地面積
野間自由幼稚園	竹の内一丁目3-57	吉久知延	37-4503	117	18	1,095㎡	16,630㎡
伊東聖母幼稚園	桜木町一丁目7-2	マルシャ・ジョフロア	37-6099	21	4	563㎡	768㎡

(3) 専修学校

(令和元年5月1日現在)

学 校 名	所在地	校長氏名	電話番号	生徒数	教職員数	建物面積	敷地面積
日本書道芸術専門学校	吉田1022番地	石橋智子	45-4194	1	9	1,499㎡	8,945㎡

(4) 特別支援学校

① 静岡県立東部特別支援学校川奈分校

ア 教職員数等の状況

(令和元年5月1日現在)

創立年月日	所在地	校長氏名	電話番号 (FAX)	教員数	職員数
昭30.11.15	川奈510番地の7	上村一成	45-3983 (45-4038)	23 人	2 人

イ 児童生徒数

小・中学校別児童数		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
小学校	児童数			1		1	1	3 人
	学級数			1			1	2 組
中学校	生徒数	3	4	4				11 人
	学級数	1	1	1				3 組

ウ 学校建物等の状況

校舎建物面積	1,724.78㎡	校舎敷地等	1,218.41㎡
--------	-----------	-------	-----------

② 静岡県立東部特別支援学校伊東分校（小・中学部）

ア 教職員数等の状況

(令和元年5月1日現在)

創立年月日	所在地	校長氏名	電話番号 (FAX)	教員数	職員数
平11.4.1	幸町1番5号	上村一成	32-3150 (32-3151)	30 人	3 人

イ 児童生徒数

小・中学校別児童数		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
小学部	児童数	5	4	5	6	5	3	28 人
	学級数	2	1	2	3	2	2	12 組
中学部	生徒数	4	4	6				14 人
	学級数	1	1	2				4 組

③ 静岡県立東部特別支援学校伊豆高原分校（高等部）

ア 教職員数等の状況

(令和元年5月1日現在)

創立年月日	所在地	校長氏名	電話番号 (FAX)	教員数	職員数
平18.4.1	八幡野1120番地	上村一成	55-2850 (55-2851)	22 人	3 人

イ 児童生徒数

生徒数		1年生	2年生	3年生		計
高等部	生徒数	18	14	16		48 人
	学級数	3	3	2		8 組